

# 第三編

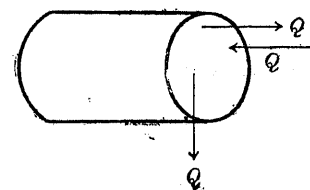
## 彈體靜力學

# 第一章

## 物體ノ強弱

80. 張力, 壓力及裁力. 物體ノ面ニ垂直ニ面ヨリ外ニ向ヘル方

第 48 圖

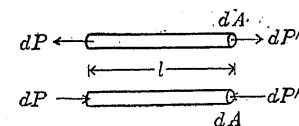


向, 又ハ外ヨリ面ニ向ヘル方向ニ働クカラソレソレニ張力又ハ壓力ト謂ヒ, 面内ニ於テ之ニ切觸シテ働クカラ裁力ト謂フ. 張力又ハ壓力ハ垂面力ノ一種ニシテ裁力ハ切面力ナリ(第 50 節).

上記ノ力應カナルトキハソレソレノ場合ニ之ヲ應張力, 應壓力及應裁力ト謂フ

81. 應變率. 第 49 圖ノ如ク長サ  $l$  ヲ有スル物體ニ張力又ハ壓力ヲ加フルトキハ物體ハソレソレノ場合ニ於テ延伸又ハ短縮サ

第 49 圖



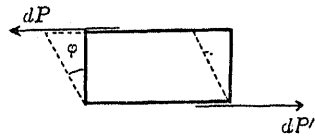
ルベシ. 此伸縮セル長サヲ  $\Delta l$  トスルトキハ

$$\frac{\Delta l}{l}$$

ヲ物體ノ伸縮率ト謂フ。

第50圖ノ如キ物體ニ裁力ヲ加フルトキハ物體ハ點線ニテ示セル如キ形ヲナスベシ。φナル角ヲ物體ノ歪率ト謂フ。

第50圖



伸縮率ト歪率トヲ總稱シテ應變率ト謂フ。

82. 應力強度ト應變率トノ關係. 前節ノ場合ニ於テ物體靜止ノ状態ニアルトキハ  $dP, dP'$  ノ大サハ相等シカルベシ. 今此等ノ力ヲ應力ナリト考ヘ其働ク面ノ面積ヲ  $dA$  トスルトキハ應力強度  $p$  ハ

$$p = \frac{dP}{dA}$$

ナリ.

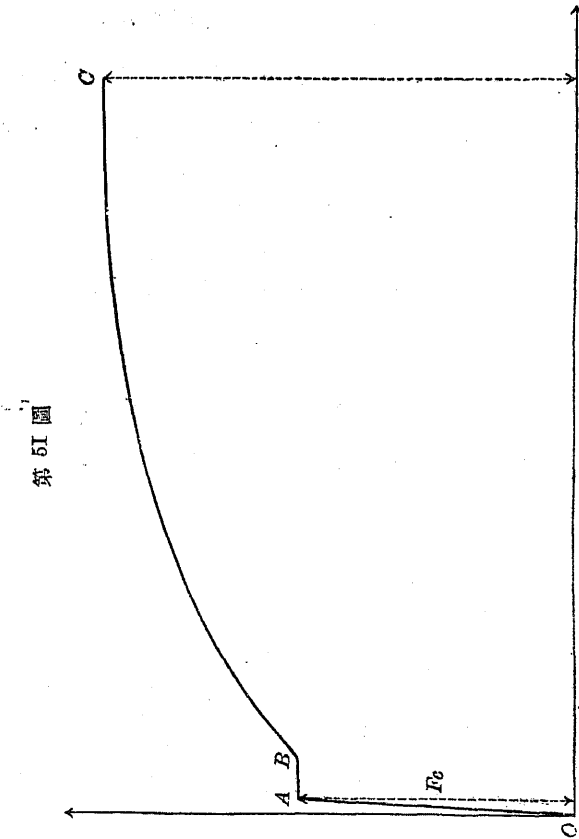
矩坐標軸ヲ取り其一軸ニ沿ヒテ應力強度ヲ計リ,他軸ニ沿ヒテ應變率ヲ計ルトキハ其關係ヲ示セル線ヲ應力強度對應變率線ト謂フ.

鋼又ハ鍊鐵ノ如キ物體ニ於テハ應力強度對應變率線ハ第51圖ノ如キ形ヲナシ其中  $OA$  ハ直線,  $ABC$  ハ曲線ナリ. 應力強度ノ値  $F_0$  以下ニ於テハ若シ該應力ヲ去ルトキハ  $d$  又ハ  $\phi$  ハ全ク消失シテ物體ハ完全ナル舊態ニ復スベク, 應力強度ノ値或ル一定ノ値  $F$  ニ達スルトキハ物體ハ遂ニ破壞スベシ.  $F$  ヲ破壞強度ト謂ヒ大凡

65)

$$F = 2F_0$$

ナリ.



鑄鐵,木材,石材ノ如キ物體ニ於テハ  $OABC$  ハ總テ曲線ニシテ又應力強度ノ如何ナル値タルニ拘ラズタトヒ該應力ヲ去ルモ  $d$  又ハ  $\phi$  ハ其一部分ヲ消失スルニ止マリ從テ物體ハ完全ナル舊態ニ復歸スルコトナシ.

83. ふっくの法則. 鋼又ハ鍊鐵ニ於テハ第51圖ノ  $OA$  直線ナルガ故ニ此間ニ於テハ

$$\frac{\text{應力強度}}{\text{應變率}} = \text{常數}$$

ナリ. 此關係ヲふっくの法則ト謂フ.

應力應張力又ハ應壓力ニシテ應變率伸縮率ナルトキハ上記ノ  
 常數ヲ伸縮係數ト謂ヒ、應力應裁力ニシテ應變率歪率ナルトキハ  
 之ヲ歪係數ト謂フ。E, μヲ以テソレソレニ之ヲ示ストキハ

$$66) \quad \frac{p}{\frac{\Delta l}{l}} = E \quad p \leq F_c$$

$$67) \quad \frac{p}{\varphi} = \mu \quad p \leq F_c$$

ヲ得。

應力強度對應變率線ノ此ノ如キ區間 OAニ於テハ應力ト共ニ  
 Δl 又ハ φノ消失シ去ルコト恰モ彈條ノ如キ働ヲナスガ故ニ此  
 ノ如キ物體ヲ彈體ト謂フ。

鋼又ハ鍊鐵ハ

$$p \leq F_c$$

ナルトキハ彈體ニシテ、鑄鐵、木材、石材等ハ前節ニ於テ述ベタル如  
 ク常ニ彈體タルコトヲ得ザレドモ工學上ニ於テハ應力強度小ナ  
 ルトキハ亦彈體ナリト假定スルヲ常トス。

ふっノ法則ハ第76節ノ原理及第78, 79節ノ二公理ト相俟テ彈  
 體靜力學ノ基礎ヲナセルモノナリ。

84. 物體ノ破壞強度。第82節ニ於ケル破壞強度 Fハ其應力ノ  
 應張力タルト應壓力又ハ應裁力タルトニヨリソレソレニ之ヲ破  
 壞抗張強度、破壞抗壓強度、破壞抗裁強度ト謂フ。從來行ハレタル  
 諸種ノ實驗ニヨルニ此等ノ値ハ大凡次ノ如シ：-

W = 物體 1 立方呎ノ重量(斤)

E = 伸縮係數(斤/平方吋)

μ = 歪係數(斤/平方吋)

F<sub>t</sub> = 破壞抗張強度(斤/平方吋)

F<sub>c</sub> = 破壞抗壓強度(斤/平方吋)

F<sub>s</sub> = 破壞抗裁強度(斤/平方吋)

F<sub>b</sub> = 破壞抗曲強度(斤/平方吋)

F<sub>l</sub> = 破壞長柱強度(斤/平方吋)

破壞抗曲強度及破壞長柱強度ノ意義ハ第103及129節ニ於テ明ナ  
 ルニ至ルベシ。

材 料	W	E	μ	F <sub>t</sub>	F <sub>c</sub>	F <sub>s</sub>	F <sub>b</sub>	F
中 鋼	490	29,000,000	13,000,000	65,000		60,000	80,000	52,500
鍊 鐵	480	28,000,000	12,500,000	50,000	55,000	40,000	55,000	42,000
鑄 鐵	450	14,000,000	6,500,000	20,000	8,000	20,000	50,000	80,000
杉	25	900,000		7,000	4,000	800	8,000	
檜	30	1,100,000		13,000	6,000	900	10,000	
松	35	1,200,000		15,000	7,000	1,200	11,000	
栗	45	1,200,000		15,000	8,000	1,200	11,000	
をーく								5,400
花崗石	170				12,000		2,000	
石灰石	160				7,000		1,500	
砂 石	150				5,000		1,500	
煉 瓦	125			200	2,500			
煉瓦工	120				1,500			
膠 灰	80			500				
膠泥1:1				350				
膠泥1:2				300				
膠泥1:3				250				
膠泥1:4				150				
混凝土 1:2-3:5-6	140			300	3,500	500		

註。I。ヲ定ムベキ實驗未ダ我國ニ於テ施行サレタルモノナキガ故ニ姑ク米國産ノ木ニ關スルモノヲ示ス。木ノ強サハ大凡我國ノ檜松等ノ者ト相伯仲セリ。

其他ノ木材ニ關スルモノハ我國産ノモノニ於テハ實驗ノ結果ニシテI。ハ木ノ纖維ニ沿ヘルモノヲ示ス。

膠泥 1:2ノ如ク記セルモノハ容積ニ於テ膠灰 1, 砂 2ノ割合ニテ製セルモノナルヲ示シ、混凝土 1:2-3:5-6ト記セルモノハ容積ニ於テ膠灰 1, 砂 2乃至 3, 砂利 5乃至 6ノ割合ニテ製セルモノナリ。

85. 物體破壊ノ原因。物體破壊ノ原因ハ未ダ確知サル、ニ至ラズ從來此點ニ關シ諸種ノ理論及實驗ノ世ニ公ニサレタルモノアレドモ本書ノ程度ニ於テ之ヲ説クコト稍々困難ナルノミナラズ實地上之ヲ確定セザルモ甚シキ不便ナキガ故ニ故ラニ其巨細ニ涉ルヲ忌避スベシ。

86. 急激ナル外力ノ物體ニ及ボス影響。或ル外力ヲ極メテ急激ニ物體ニ加フルトキハ其極メテ靜カニ加ハル時ニ比シ二倍ノ影響ヲ與フベク、又現ニQナル外力ノ加ハレル物體ニ-Qナル外力ヲ極メテ急激ニ加フルトキハ初ヨリQノ極メテ靜カニ加ハレル時ニ比シ三倍ノ影響ヲ與フベシ。此事實ヲ完全ニ證センニハ非常ニ複雑ナル理論ヲ要スルガ故ニ之ヲ省略スベシ。

橋上ニ疾走シ來レル鐵道列車ノ重量又ハ蒸汽機械ノ動部ニ加ハレル力ノ如キハ上記ノ如キ急激ナルモノニアラズト雖モ極メテ靜カニ加ハレル同大ノ力ニ比スレバ其以上ノ影響ヲ與フベシ。

87. 反覆セル外力ノ物體ノ破壊強度ニ及ボス影響。知られるノ有名ナル實驗ニヨルニ一定ノ外力ヲ一タヒ靜カニ加フルトキト反覆シテ加フルトキト其物體ノ破壊強度ニ及ボス影響ニ大差

アリ。Qナル外力ヲ一タヒ靜カニ加フルトキノ物體ノ破壊強度ヲFトスルトキハ知られるノ實驗ノ結果次ノ如シ:-

第一。Qハ物體ノ破壊ヲ生ズベキ外力ナルガ故ニ $Q' < Q$ ノ如キ $Q'$ ナル外力ヲ一タヒ靜カニ加フルトキハ物體ハ破壊スルコトナカルベシ。然レドモ $Q'$ ヲ非常ノ度數(數百萬回)ニ反覆シテ加フルトキハ該物體ハ亦破壊スベク此際ニ於ケル破壊強度ヲ $F'$ トスレバ大凡

$$F = 2F'$$

ナリ。

第二。 $Q'' < Q' < Q$ ノ如キ $Q''$ ナル外力ヲ取り $Q''$ ト-Q''ナル外力ヲ交互ニ反覆シテ加フルトキハ該物體ハ亦破壊スベク此際ニ於ケル破壊強度ヲ $F''$ トスレバ大凡

$$F = 3F''$$

ナリ。

第三。一般ニ $R, S, |R| \leq |S| < |Q|$ (第一ノ場合ニ於テハ $R = 0, S = Q'$ , 第二ノ場合ニ於テハ $R = -Q'', S = Q''$ )ノ如キ $R, S$ ナル二外力ヲ取り之ヲ交互ニ反覆シテ加フルトキハ該物體ハ遂ニ破壊スベク此際ニ於ケル破壊強度ヲ $F'''$ トシ、 $R, S$ ノ一タヒ靜カニ加ハル時ニ於ケル應力強度ヲソレソレニ $A, B, |A| \leq |B| < |F|$ トスレバ $B - A$ ナル差ノ増加スルニ從ヒ $F'''$ ノ値ハ減少シ大凡

$$68) \quad F''' = F' \left( 1 + \frac{F - F'}{F'} \frac{A}{B} \right) \quad A, B \text{ 同號ナルトキ}$$

$$69) \quad F''' = F' \left( 1 - \frac{F' - F''}{F'} \frac{A}{B} \right) \quad A, B \text{ 異號ナルトキ}$$

ナル關係ヲ有ス。68)式ヲらうんはるとノ公式ト謂ヒ、69)式ヲがい

らうふノ公式ト謂フ。

5. されるノ上記ノ實驗ニ於テハ  $Q', Q'', R, S$  等ノ力ハ一分間ニ約百回ノ割合ヲ以テ物體ニ加ヘタルガ故ニ稍々急激ナル外力ノ性質ヲ有セリ。

88. 物體ノ保安。 安全率。 外力ヲ受クル物體ニ於ケル應力強度ハ一般ニ物體ノ各所ニ於テ相異ルベク而シテ該物體ヲシテ該外力ノ爲メニ破壊サル、コトナカラシメンニハ其最大應力強度ヲシテ該物體ノ破壊強度ヲ超過セシムベカラズ。 然ルニ第84節ノ表ニ於ケル如キ物體ノ破壊強度ノ値ハ極メテ佳良ナル材料ニ對セルモノニシテ吾人ノ日常用ユルモノハ常ニ此ノ如キ良好ナルモノハ、ミニアラズ又此破壊強度ハ第86,87節等ノ狀況ノ下ニ於テハ相當ノ減値ヲ要スベキガ故ニ物體保安ノ途トシテ  $m > 1$  ノ如キ  $m$  ナル或ル數ヲ以テ物體ノ破壊強度ヲ除シタル商ヲ求メ物體ニ於ケル最大應力強度ヲシテ少クモ此商以下ニアラシメザルベカラズ。

$m$  ナル數ヲ 安全率 ト稱シ、之ヲ以テ物體ノ破壊強度ヲ除シタル商ヲ其物體ノ 許容強度 ト謂ヒ、各種ノ破壊強度ニ對シ 許容抗張強度、許容抗壓強度 等ノ語ヲ用ユ。

以上ノ語ヲ用ユルバ物體保安ノ途ヲ次ノ如ク述ブルコトヲ得ベシ：—

物體ノ最大應力強度ハ少クモ其許容強度以下ニアラシムベシ。

安全率ヲ確定センニハ特殊ノ事項例ヘバ家屋、橋梁、機械等ノ各論ノ詳細ニ涉ラサルベカラズ。 此ノ如キハ本書ノ如キ一般概括セル事項ニ關セルモノ、能クスベキニアラズ次ニ示セルモノハ

今日用ヒラル、標準安全率ノ一例ナリ：—

材 料	家 屋	橋 梁	機 械
中 鋼	5	7	15
鍊 鐵	4	6	10
鑄 鐵	6	15	20
木 材	8	10	15
煉瓦及石	15	25	30

## 第二章

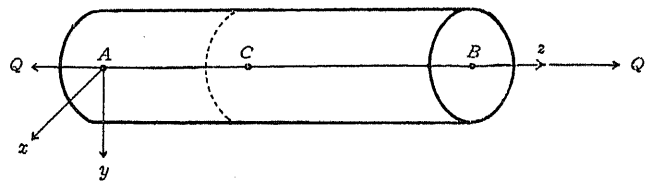
### 抗張材及短柱

89. 抗張材及短柱。張力ヲ受クル物體ヲ抗張材ト謂ヒ、壓力ヲ受クル短カキ物體ヲ短柱ト謂フ。

90. 断面ノ圖心ヲ通過セル張力又ハ壓力ヲ受クル抗張材又ハ短柱。

第一. 應力強度。第52圖ニ於テ抗張材(又ハ短柱)靜止ノ状態ニ

第52圖



アルトキハ之ニ働ク張力(又ハ壓力) $Q, Q'$ ノ大サハ相等シ。任意ノ断面  $C$  ハ此等ノ外力ヲ受クルノ後尙之ニ平行ナル平面ナリト假定シ。

$$AC = z$$

$\Delta z$  = 外力又ハ應力ニヨリテ生セル  $z$  ノ伸縮ノ長サ

$A$  = 断面  $\sigma$  ノ面積

$p$  = 断面ノ一點  $(x, y, z)$  ニ於ケル應力強度

トスルトキハ  $p$  ハ此断面ニ垂直ニシテ 66) 式ニヨリ

$$p = E \frac{\Delta z}{z}$$

ナルガ故ニ  $p$  ハ一定ノ断面内ニ於テハ常數ナリ。

矩坐標軸ノ  $z$  軸ヲシテ断面ノ圖心ヲ通過セシメ、 $x, y$  軸ヲ  $A$  端ノ断面内ニ取リ、 $AC$  部ニ對シ  $C$  ニ於ケル應力ヲ外力ナリト考フルトキハ此部分ハ靜止ノ状態ニアルベキガ故ニ 64) 式ト第52節ノ第二ノ場合ニヨリ

$$\mathcal{R}_z = -Q + \int_{(a)} p dA = -Q + pA = 0$$

$$\mathcal{M}_x = \int_{(a)} p y dA = p G_x = 0$$

$$-\mathcal{M}_y = \int_{(a)} p x dA = p G_y = 0$$

從テ

$$70) \quad p = \frac{Q}{A}$$

ヲ得。故ニ求ムル  $p$  ノ値ハ總テノ断面ノ總テノ點ニ於テ常數ナリ。

第二. 應變率。此場合ニ於ケル應變率ハ伸縮率ニシテ 66), 70) 式ニヨリ

$$71) \quad \frac{\Delta z}{z} = \frac{p}{E} = \frac{Q}{AE}$$

ナリ。

91. 断面ノ圖心ヲ通過セザル張力又ハ壓力ヲ受クル抗張材又ハ短柱。  $x, y$  軸ヲ断面  $A$  ノ主軸トシ、張力(又ハ壓力)ノ働ク點ヲ  $(x_0, y_0)$  トシ、任意ノ断面  $C$  ハ外力ヲ受クルノ後尙一ノ平面ヲナシ

$$\Delta z = \alpha + \beta x + \gamma y, \quad \alpha, \beta, \gamma \text{ハ常數}$$

ナル伸縮ヲナセルモノトセバ總テ前節ト同様ノ方法ニヨリ

$$p = \frac{E}{z} \Delta z = \frac{E}{z} (a + \beta x + \gamma y)$$

$$= p_0 + m x + n y, \quad p_0, m, n \text{ 常數}$$

從テ64式ト第53節ノ第一ノ場合ノ其二ニヨリ

$$\mathcal{M}_z = -Q + \int_{(\sigma)} p dA = -Q + p_0 A = 0.$$

$$\mathcal{M}_x = -Q y_0 + \int_{(\sigma)} p y dA = -Q y_0 + n I_x = 0$$

$$-\mathcal{M}_y = -Q x_0 + \int_{(\sigma)} p x dA = -Q x_0 + m I_y = 0$$

ヲ得ベシ。故ニ

$$72) \quad p = \frac{Q}{A} \left( 1 + \frac{x_0 x}{r_y^2} + \frac{y_0 y}{r_x^2} \right)$$

ヲ得。

92. 抗張材及短柱ノ設計 抗張材及短柱ハ第88節ニ從ヒテ設

計スルヲ常トス。故ニ今

$p' = 70)$ 式ノ $p$ , 又ハ $72)$ 式ノ $p$ ノ値ノ最大ナルモノ

$p'' = 72)$ 式ノ $-p$ ノ數値ノ最大ナルモノ

$f_t$  = 許容抗張強度

$f_c$  = 許容抗壓強度

トレスバ抗張材及短柱ノ設計ニ用ユル一般公式ハ

$$73) \quad \begin{cases} p' \leq f_t & p'' \leq f_c & \text{抗張材ニ對シ} \\ p' \leq f_c & p'' \leq f_t & \text{短柱ニ對シ} \end{cases}$$

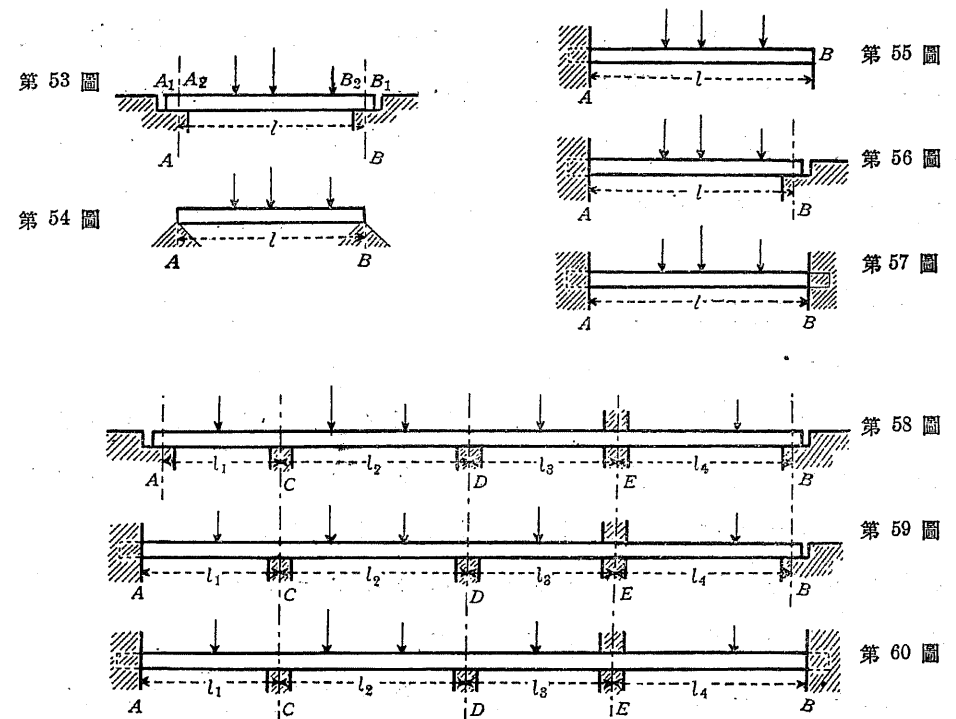
ナリ。

第 三 章

單 桁

1. 總 說。

93. 桁。第53圖ノ如ク其兩端ヲ支ヘ圖ノ如キ荷重(第94節)ヲ加



ヘタル物體ヲ單桁ト謂ヒ、其兩端ヲ各支端ト謂フ。

第55圖ノ如ク其一端Aヲ確固不動ノモノニ固定シ、他端Bニハ何等ノ支承ヲ與ヘズ、而シテ圖ノ如キ荷重ヲ加ヘタル物體ヲ突桁



ト謂ヒ、 $A$ ヲ定端  $B$ ヲ放端ト謂フ。

第 56, 57 圖ノ如ク一定端及一支端又ハ兩定端ヲ有シ、及ビ第 58, 59, 60 圖ノ如ク兩支端、一定端及一支端、又ハ兩定端ト其間ニ一個以上ノ  $C, D$ ノ如キ單純ナル支承又ハ  $E$ ノ如キ確固不動ノモノニ固定サレタル支承ヲ有シ、而シテ圖ノ如キ荷重ヲ受クル物體ヲ總テ連桁ト謂ヒ、 $C, D$ ヲ放支點、 $E$ ヲ定支點ト稱シ、放支點、定支點ヲ總稱シテ支點ト謂フ。

單桁、突桁及連桁ヲ總稱シテ桁ト謂フ。

第 53 及第 55 ヨリ 60 圖ニ示セル如ク一定端又ハ一支點ノ中央又ハ一定端、一放端ヨリ次ノ一定端又ハ一支點ノ中央又ハ一定端一放端ニ至ル  $l_1, l_2, l_3, l_4$ ノ如キ距離ヲ徑間ト謂ヒ、第 53 圖ノ如キ桁ハ第 54 圖ノ如キモノトシテ之ヲ研究スルヲ常トス其他亦類推スベシ。

桁ノ支端及支點ハ常ニ平滑(第 152 節第四ノ末項)ナリト假定スルヲ常トス。

94. 集中荷重及等布荷重。鐵道列車ノ重量ハ其車輪ニヨリテ支ヘラル、ガ故ニ列車桁ノ上ニ來ルトキハ其重量ハ車輪ニヨリテ桁ニ加ヘラルベシ。列車ノ各車輪ニ來ルベキ重量ハ或ル方法ニヨリテ一々之ヲ定ムルコトヲ得ベキモノニシテ此ノ如キ重量桁ニ働クトキハ之ヲ集中荷重ト謂フ。

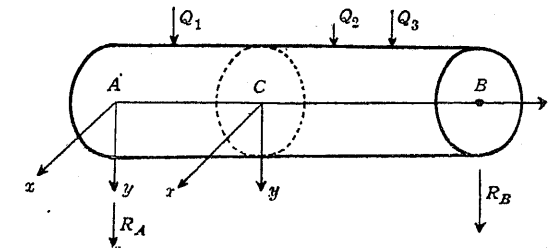
橋上ニ一様ニ積レル雪ノ重量ノ如キハ之ヲ等布荷重ト謂ヒ、橋上ニ於ケル人ノ密集ニヨリテ生ズル荷重ハ實ハ吾人個々ノ重量ニヨリテ生ズルモノナレドモ之ヲ平均シテ亦一ノ等布荷重ナリトスルヲ常トス。桁ノ長サノ單位ニ於ケル等布荷重ノ値ヲ其ノ

強度ト謂フ。

2. 單桁ニ於ケル外力。

95. 彎曲率及裁力。第 61 圖ニ於テ矩坐標軸ノ  $z$  軸ヲシテ單桁

第 61 圖



ノ断面ノ圖心ヲ通過セシメ、 $x, y$  軸ヲ一端  $A$ ノ主軸トシ、單桁ノ中途ニ於テ任意ノ断面  $C$ ト其圖心  $C$  點ヨリ  $x, y$  軸ニ平行セル  $Cx, Cy$  線ヲ取ルトキハ  $AC$ (又ハ  $BC$ ) 間ニアル總テノ外力ノ  $Cx$  線ニ對スル力率ノ和ヲ  $C$ ニ於ケル  $AC$ (又ハ  $BC$ ) 側ノ彎曲率ト謂ヒ、 $Cy$  線ニ於ケル分力ノ和ヲ  $C$ ニ於ケル  $AC$ (又ハ  $BC$ ) 側ノ裁力ト謂フ。

今  $C$ ニ於テ

$$M = AC \text{ 側ノ彎曲率}$$

$$M' = BC \text{ 側ノ彎曲率}$$

$$S = AC \text{ 側ノ裁力}$$

$$S' = BC \text{ 側ノ裁力}$$

トスルトキハ 64) 式ニヨリ

$$\mathfrak{M}_{Cx} = M + M' = 0$$

$$\mathfrak{N}_y = S + S' = 0$$

ナルガ故ニ

$$74) \quad \begin{cases} M = -M' \\ S = -S' \end{cases}$$

ヲ得ベク、又力率及分力ナルモノ、定義ニヨリ

$$75) \quad \begin{cases} \frac{dM}{dz} = S \\ \frac{dM'}{dz} = S' \end{cases}$$

ヲ得ベシ。

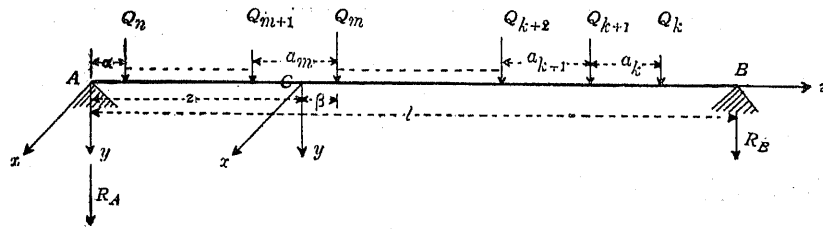
75)式ニヨリ裁力零ナル断面ニ於ケル彎曲率ハ最大、最小又ハ常数ナリ。

96. 集中荷重ニ對スル反力、彎曲率及裁力

第一。解析解法。

其一。反力。第62圖ニ於テ集中荷重  $Q_1, Q_2, \dots, Q_k, \dots, Q_m, \dots, Q_n, \dots$

第62圖



ノ中單桁  $AB$ ニ加ハレルモノヲ  $Q_1, \dots, Q_m, \dots, Q_n$ トシ、 $A, B$ ニ於ケル反力ヲソレソレニ  $R_A, R_B$ トストキハ64)式ニヨリ

$$-M_{Ax} = R_B l + Q_k(a_k + a_{k+1} + \dots + a) + Q_{k+1}(a_{k+1} + \dots + a) + \dots + Q_n a = 0$$

$$R_y = R_A + R_B + Q_k + Q_{k+1} + \dots + Q_n = 0$$

ナルガ故ニ

$$76) \quad \begin{cases} R_B = -\frac{1}{l} \left[ a_k Q_k + a_{k+1} \sum_k^{k+1} Q + a_{k+2} \sum_k^{k+2} Q + \dots + a \sum_k^n Q \right] \\ R_A = -\sum_k^n Q - R_B \end{cases}$$

ヲ得、但シ  $\sum_k^{k+1} Q$ ノ如ク記セルモノハ  $Q_k + Q_{k+1}$ ノ意ナリ。

$R_A, R_B$ ハ共ニ負數ナルガ故ニ  $A$ 又ハ  $B$ ニ於ケル反力ハ上ニ向ヘリ。

總テノ  $a$ ヲ常數、 $a$ ヲ變數ナリトスルトキハ  $R_A$ ハ  $Q_n$ ガ  $A$ ニアリ、 $R_B$ ハ  $Q_k$ ガ  $B$ ニアルトキ其數値最大ナリ、但シ集中荷重ガ此位置ニ來ル爲メ前ノ場合ニ於テ  $Q_k$ ヨリ前ノ荷重後ノ場合ニ於テ  $Q_n$ ヨリ後ノ荷重ガ桁  $AB$ ニ加ハレルコトアルベシ。此等ノ最大數値ヲ有スル  $R_A$ 又ハ  $R_B$ ヲソレソレニ  $A$ 又ハ  $B$ ニ於ケル最大反力ト謂ヒ、最大  $R_A$ 、最大  $R_B$ ヲ以テ之ヲ示ストキハ

$$77) \quad \begin{cases} \text{最大 } R_A = -\sum_k^n Q + \frac{1}{l} \left[ a_k Q_k + a_{k+1} \sum_k^{k+1} Q + \dots + a_{n-1} \sum_k^{n-1} Q \right] \\ \text{最大 } R_B = -\frac{1}{l} \left[ a_k Q_k + a_{k+1} \sum_k^{k+1} Q + \dots + (l - \sum_k^{n-1} a) \sum_k^n Q \right] \end{cases}$$

ヲ得。

$A$ 又ハ  $B$ ニ於ケル最大反力ノ數ハ一般ニ數多アリ。其總體ニ於テ最大數値ヲ有スル反力ヲ桁ノ絕對最大反力ト謂フ。

其二。彎曲率。前節ト同一ノ記號ヲ用ユルトキハ

$$-M' = R_B(l - z) + Q_k(a_k + a_{k+1} + \dots + \beta) + Q_{k+1}(a_{k+1} + \dots + \beta) + \dots + Q_m \beta$$

ヲ得。然ルニ

$$M' = -M \quad 74) \text{式ニヨリ}$$

$$R_B = -\frac{1}{l} \left[ a_k Q_k + a_{k+1} \sum_k^{k+1} Q + \dots + a \sum_k^n Q \right] \quad 76) \text{式ニヨリ}$$

$$\beta = \sum_m^{n-1} a + a - z$$

ナルガ故ニ之ヲ上式ニ代用シテ

$$78) \quad M = -\frac{l-z}{l} \left[ a_k Q_k + a_{k+1} \sum_k^{k+1} Q + \dots + a \sum_k^n Q \right] \\ + \left[ a_k Q_k + a_{k+1} \sum_k^{k+1} Q + \dots + \left( \sum_m^{n-1} a + a - z \right) \sum_k^m Q \right]$$

ヲ得尙

$$79) \quad \begin{cases} M < 0 \\ M = 0, \quad A \text{ 及 } B \text{ ニ 於 テ} \end{cases}$$

ヲ得。

z 及 總テノ a ヲ常數, a ヲ變數ナリトスルトキハ

$$M = -C + \frac{a}{l} \left[ -(l-z) \sum_k^n Q + l \sum_k^m Q \right] \quad C \text{ ハ 常數}$$

ナルガ故ニ

$$80) \quad \frac{\sum_k^n Q}{l} = \frac{\sum_k^m Q}{l-z}$$

ナルトキハ M ハ 荷重ノ位置ノ變化ニヨリテ其値ヲ變化サル、コトナシ。

$Q_{m-1}$  ヲ BC 間ノ終リノ荷重トスルトキハ

$$M = -C' + \frac{a'}{l} \left[ -(l-z) \sum_k^n Q + l \sum_k^{m-1} Q \right] \quad \begin{matrix} C' \text{ ハ 常數} \\ a' \text{ ハ 此時ノ } a \end{matrix}$$

ナルガ故ニ

$$-(l-z) \sum_k^n Q + l \sum_k^m Q > 0 \quad \text{即} \quad \frac{\sum_k^n Q}{l} < \frac{\sum_k^m Q}{l-z}$$

$$-(l-z) \sum_k^n Q + l \sum_k^{m-1} Q < 0 \quad \text{即} \quad \frac{\sum_k^n Q}{l} > \frac{\sum_k^{m-1} Q}{l-z}$$

從テ

$$81) \quad \frac{\sum_k^{m-1} Q}{l-z} < \frac{\sum_k^n Q}{l} < \frac{\sum_k^m Q}{l-z}$$

ナルトキハ a 最小ニシテ a' 最大ナルトキ即  $Q_m$  ガ C ニアルトキ M ノ數值最大ナリ。此 M ヲ C ニ於ケル AC 側ノ最大彎曲率ト謂ヒ  $M_1$  ヲ以テ之ヲ示ストキハ

$$a = z - \frac{\sum_m^{n-1} a}{m}$$

ヲ 78) 式ニ代用シテ

$$82) \quad M_1 = -\frac{l-z}{l} \left[ a_k Q_k + a_{k+1} \sum_k^{k+1} Q + \dots + \left( z - \frac{\sum_m^{n-1} a}{m} \right) \sum_k^n Q \right] \\ + \left[ a_k Q_k + a_{k+1} \sum_k^{k+1} Q + \dots + a_{m-1} \sum_k^{m-1} Q \right]$$

ヲ得。

更ニ z ヲ變數ナリトスルトキハ

$$\frac{d M_1}{d z} = 0$$

從テ

$$83) \quad \begin{cases} z = \frac{-a_k Q_k - a_{k+1} \sum_k^{k+1} Q - \dots - a_{m-1} \sum_k^{m-1} Q + \left( l + \frac{\sum_m^{n-1} a}{m} \right) \sum_k^n Q}{2 \sum_k^n Q} \\ \sum_m^{n-1} a \leq z \leq l - \sum_k^{m-1} a \end{cases}$$

ナルトキ  $M_1$  ノ數值最大ニシテ  $Q_m$  ハ C ニアリ。此  $M_1$  ヲ桁ノ AC 側ノ最大彎曲率ト謂ヒ、 $M_0$  ヲ以テ之ヲ示ストキハ 82), 83) 式ニヨリ

$$84) \quad \begin{cases} M_0 = -\frac{\left[ a_k Q_k + a_{k+1} \sum_k^{k+1} Q + \dots + \left( l - \frac{\sum_m^{n-1} a}{m} \right) \sum_k^n Q \right]^2}{4l \sum_k^n Q} \\ \quad + \left[ a_k Q_k + a_{k+1} \sum_k^{k+1} Q + \dots + a_{m-1} \sum_k^{m-1} Q \right] \\ = -\frac{(l-z)^2}{l} \sum_k^n Q + \left[ a_k Q_k + a_{k+1} \sum_k^{k+1} Q + \dots + a_{m-1} \sum_k^{m-1} Q \right] \end{cases}$$

ヲ得 83)式ノ第一式ニヨリ

$$z = \frac{-a_k Q_k - a_{k+1} \sum_k^{k+1} Q - \dots + (l-a) \sum_k^n Q}{\sum_k^n Q}$$

$$= \frac{Q_k(l-a_k - a_{k+1} - \dots - a) + Q_{k+1}(l-a_{k+1} - \dots - a) + \dots + Q_n(l-a)}{\sum_k^n Q}$$

ナルガ故ニ荷重ノ總代力ノ働線ハ B 端ヨリ z ナル距離ニアリ。

83)式ノ第一式ニヨリテ求メタル z ノ値第二式ヲ満足セザルトキハ新シキ荷重ニ對シ同様ノ方法ヲ反覆スベシ。

$M_1, M_0$ ノ數ハ一般ニ數多アリテ其數値ノ最大ナルモノヲソレンレニ  $C =$  於ケル AC 側ノ絶對最大彎曲率及桁ノ AC 側ノ絶對最大彎曲率ト謂フ。

其三。裁力。前節ト同一ノ記號ヲ用ユルトキハ

$$S' = R_B + Q_k + Q_{k+1} + \dots + Q_m$$

ナルガ故ニ 74), 76) 式ニヨリ

$$85) \quad S = \frac{1}{l} \left[ a_k Q_k + a_{k+1} \sum_k^{k+1} Q + \dots + a \sum_k^n Q \right] - \sum_k^m Q$$

ヲ得。

z 及總テノ a ヲ常數, a ヲ變數ナリトシ,

$$S > 0$$

ナルトキハ a 最大ナルトキ即  $Q_{m+1}$  ガ C = 極近ク AC 内ニアルトキ(集中荷重此位置ニ來ル爲メ新荷重 AC = 入り, 現荷重 BC ヨリ出ヅルモ妨ナシ) S ノ値最大ニシテ,

$$S < 0$$

ナルトキハ a 最小ナルトキ即  $Q_m$  ガ C = 極近ク BC 内ニアルトキ(集中荷重此位置ニ來ル爲メ新荷重 BC = 入り, 現荷重 AC ヨリ出ヅルモ妨ナシ) S ノ數値最大ナリ。此等ノ S ノ値ヲ  $C =$  於ケル AC 側ノ最大裁力ト謂ヒ,  $S_1$  ヲ以テ之ヲ示ストキハ 85) 式ニヨリ

$$86) \quad \begin{cases} S_1 = \frac{1}{l} \left[ a_k Q_k + a_{k+1} \sum_k^{k+1} Q + \dots + (z - \sum_{m+1}^{n-1} a) \sum_k^n Q \right] - \sum_k^m Q, \\ S > 0 \text{ ナルトキ} \\ S_1 = \frac{1}{l} \left[ a_k Q_k + a_{k+1} \sum_k^{k+1} Q + \dots + (z - \sum_m^{n-1} a) \sum_k^n Q \right] - \sum_k^m Q, \\ S < 0 \text{ ナルトキ} \end{cases}$$

ヲ得。

更ニ z ヲ變數ナリトシ,

$$S_1 > 0$$

ナルトキハ z 最大ナルトキ即 C ハ B ト相合シ  $Q_k$  ハ B = 極近ク AB 内ニアルトキ  $S_1$  ノ値最大ニシテ,

$$S_1 < 0$$

ナルトキハ z 最小ナルトキ即 C ハ A ト相合シ  $Q_n$  ハ A = 極近ク AB 内ニアルトキ  $S_1$  ノ數値最大ナリ。此等ノ  $S_1$  ヲ桁ノ AC 側ノ最大裁力ト謂ヒ,  $S_0$  ヲ以テ之ヲ示ストキハ 86) 式ニヨリ

$$87) \quad \begin{cases} S_0 = \frac{1}{l} \left[ a_k Q_k + a_{k+1} \sum_k^{k+1} Q + \dots + (l - \sum_k^{n-1} a) \sum_k^n Q \right] \\ B = \text{於テ}, S_0 > 0 \text{ ナルトキ} \\ S_0 = \frac{1}{l} \left[ a_k Q_k + a_{k+1} \sum_k^{k+1} Q + \dots + a_{n-1} \sum_k^{n-1} Q \right] - \sum_k^n Q \\ A = \text{於テ}, S_0 < 0 \text{ ナルトキ} \end{cases}$$

ヲ得, 尙之ヲ 77) 式ト比較スルトキハ

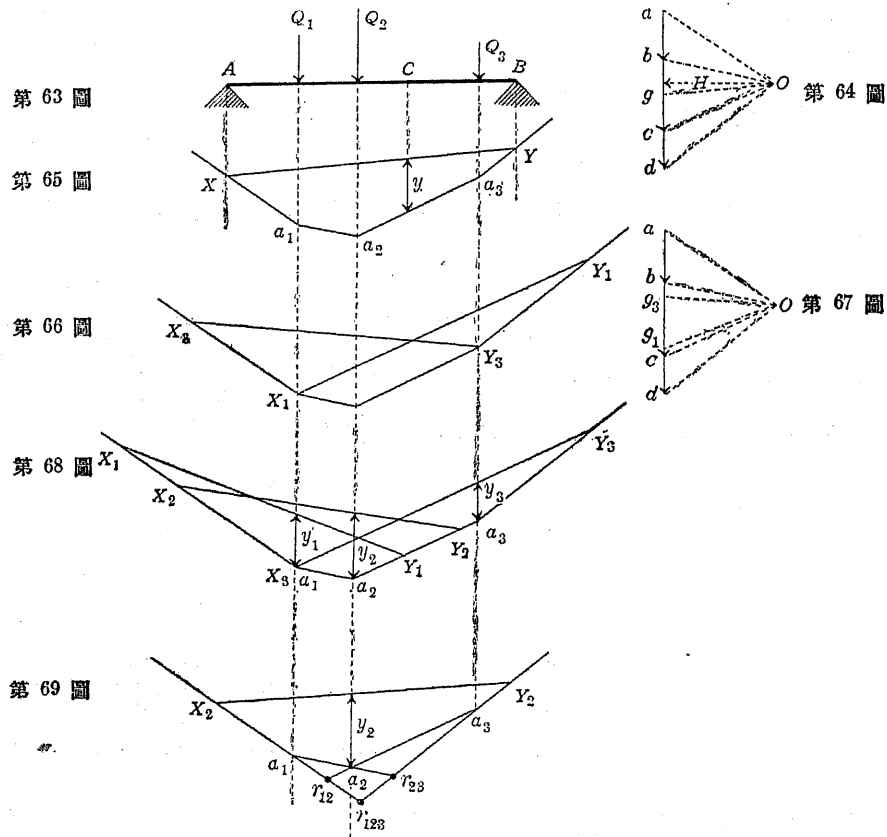
$$88) \begin{cases} S_0 = -\text{最大 } R_B & S_0 > 0 \text{ ナルトキ} \\ S_0 = \text{最大 } R_A & S_0 < 0 \text{ ナルトキ} \end{cases}$$

ヲ得.

$S_1, S_0$  ノ數ハ一般ニ數多アリテ其值又ハ數值ノ最大ナルモノヲソレソレニ  $C$ ニ於ケル  $A C$  側ノ絶對最大裁力及桁ノ  $A C$  側ノ絶對最大裁力ト謂フ.

第二. 彎曲率圖及裁力圖ヲ用ユル圖式解法.

其一. 反力.  $Q_1, Q_2, Q_3$  ヲ與ヘラレタル集中荷重トスルトキハ第64圖ニ於テ



$$ab = Q_1, \quad bc = Q_2, \quad cd = Q_3$$

トシテ  $abcd$  ナル力ノ多角形ヲ得, 任意ノ極  $O$  ヲ取り第65圖ニ於テ:

$$Xa_1 // Oa, \quad a_1a_2 // Ob, \quad a_2a_3 // Oc, \quad a_3Y // Od$$

トシ,  $Og // XY$  トスルトキハ第28節第二ノ場合ニヨリ

$$ga = R_A, \quad dg = R_B$$

ナリ.

更ニ第66圖ニ於テ例ヘバ

$$AB = X_1 \text{ ト } Y_1 \text{ トノ水平距離}$$

$$= X_3 \text{ ト } Y_3 \text{ トノ水平距離}$$

トシ, 第67圖ニ於テ

$$Og_1 // X_1Y_1, \quad Og_3 // X_3Y_3$$

トスルトキハ

$$g_1a = -\text{ノ最大 } R_A, \quad dg_3 = -\text{ノ最大 } R_B$$

ニシテ, 此ノ如キモノ、中其數值最大ナルモノハ桁ノ絶對最大反力ナリ.

其二. 彎曲率. 第64, 65圖ニ於テ8)式ニヨリ

$$M = -yH$$

ヲ得,  $Xa_1a_2a_3Y$  ナル圖ヲ彎曲率圖ト謂フ.

第68圖ニ於テ

$$AC = X_1 \text{ ト } a_1 \text{ トノ水平距離}, \quad BC = Y_1 \text{ ト } a \text{ トノ水平距離}$$

$$= X_2 \text{ ト } a_2 \text{ トノ水平距離}, \quad = Y_2 \text{ ト } a_2 \text{ トノ水平距離}$$

$$= X_3 \text{ ト } a_3 \text{ トノ水平距離}, \quad = Y_3 \text{ ト } a_3 \text{ トノ水平距離}$$

トシテ  $X_1Y_1, X_2Y_2, X_3Y_3$  ヲ引クトキハ  $-y_1H, -y_2H, -y_3H$  ハ何レモ

一ノ  $M_1$  ニシテ、此ノ如キモノ、中其數値最大ナルモノハ  $C$  ニ於ケル  $AC$  側ノ絶對最大彎曲率ナリ。

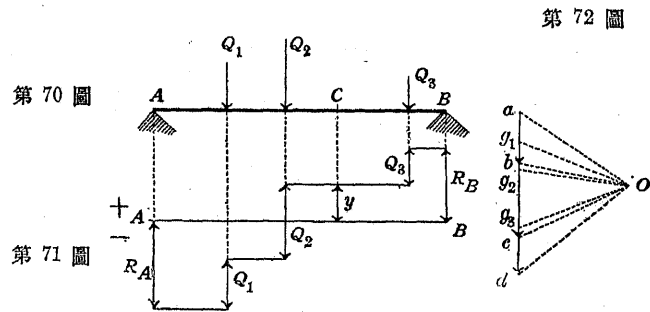
更ニ第69圖ニ於テ例ヘバ  $r_{123}$  ハ  $Q_1, Q_2, Q_3$  ノ總代力ノ働線ノ一點ナルガ故ニ

$$X_2 \text{ ト } Y_2 \text{ トノ水平距離} = AB$$

$$X_2 \text{ ト } a_2 \text{ トノ水平距離} = r_{123} \text{ ト } Y_2 \text{ トノ水平距離}$$

トシテ  $X_2 Y_2$  ヲ引キ(此  $X_2 Y_2$  線中ニハ  $Q_1, Q_2, Q_3$  ノ働線ヲ含マザルベカラズ)  $y_2$  ノ如キモノヲ求ムルトキハ  $C$  ハ  $a_2$  ニ相當シ  $-y_2 H$  ハ一ノ  $M_0$  ニシテ、此ノ如キモノ、中其數値最大ナルモノハ桁ノ  $AC$  側ノ絶對最大彎曲率ナリ。

其三. 裁力. 第71圖ニ於テ水平線  $AB$  ヨリ上ニ正號ヲ有スル  $S$ 、之ヨリ下ニ負號ヲ有スル  $S$  ヲ表ハスモノトシ第71圖(之ヲ裁



力圖ト謂フ)ノ如キモノヲ作ルトキハ  
 $S = y$   
 ナリ。

第72圖ニ於テ第68圖ト對照シ

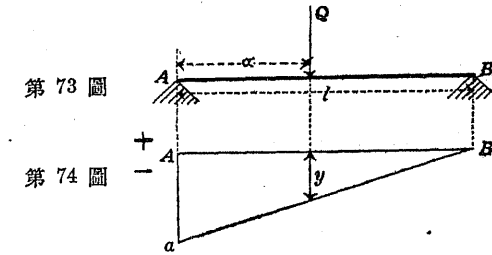
$$Og_1 // X_1 Y_1, \quad Og_2 // X_2 Y_2, \quad Og_3 // X_3 Y_3$$

トスルトキハ  $g_1 b, g_2 c, g_3 d$  ハ何レモ正號ヲ有スル一ノ  $S_1$  ニシテ、  
 $g_1 a, g_2 b$  ハ何レモ負號ヲ有スル一ノ  $S_1$  ナリ。此等ノ  $S_1$  ノ中其數値最大ナルモノハ  $C$  ニ於ケル  $AC$  側ノ絶對最大裁力ナリ。

$S_0$  從テ桁ノ  $AC$  側ノ絶對最大裁力ハ88)式ニヨリ上記ノ反力ニ關スル方法ヲ以テ之ヲ求ムルコトヲ得ベシ。

第三. 影響線ヲ用ユル圖式解法.

其一. 反力. 第73圖ニ於テ  $Q$  ナル集中荷重ニヨリテ生ズル  $R_A$  ハ



$$R_A = - \frac{Q(l-a)}{l}$$

ニシテ  $Q=1$  トスルトキハ

$$R_A' = - \frac{l-a}{l}$$

ナルガ故ニ第74圖ニ於テ  $Aa=1$  トスルトキハ

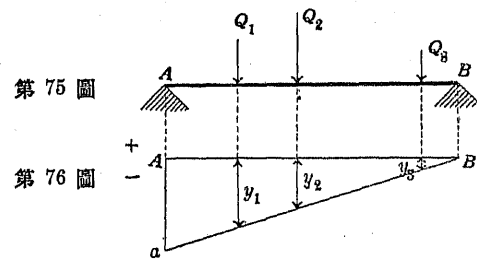
$$R_A' = -y$$

$$R_A = -Qy$$

ナリ。

此理ニヨリ第75圖ノ如キ集中荷重アルトキハ

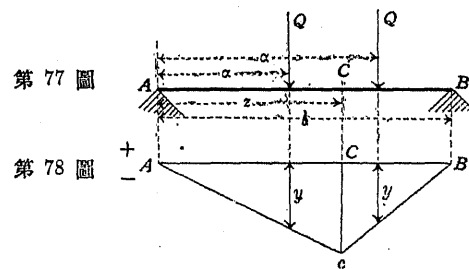
$$R_A = -Q_1 y_1 - Q_2 y_2 - Q_3 y_3$$



ニシテ最大 \$R\_A, R\_B\$, 最大 \$R\_B\$, 從テ桁ノ絶對最大反力モ同理ニヨリテ  
 求ムルコトヲ得ベシ.

\$aB\$ナル線ヲ \$A\$ニ於ケル反力ニ對スル影響線ト謂フ.

其二. 彎曲率. 第 77 圖ニ於テ



$$M = -\frac{Q a(l-z)}{l} \quad Q \text{ } AC \text{ノ間ニアルトキ}$$

$$= -\frac{Q(l-a)z}{l} \quad Q \text{ } BC \text{ノ間ニアルトキ}$$

ニシテ \$Q=1\$ トスルトキハ此等ノ彎曲率ハソレソレニ

$$M' = -\frac{a(l-z)}{l}$$

$$= -\frac{(l-a)z}{l}$$

ナルガ故ニ第 78 圖ニ於テ

$$Cc = \frac{z(l-z)}{l}$$

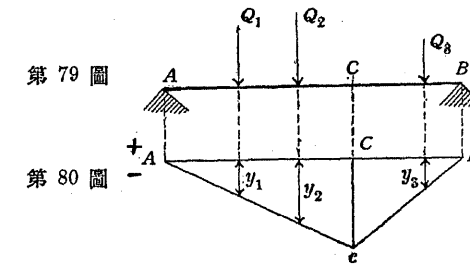
トスルトキハ

$$M' = -y$$

$$M = -Qy$$

ナリ.

此理ニヨリ第 79 圖ノ如キ集中荷重アルトキハ



$$M = -Q_1 y_1 - Q_2 y_2 - Q_3 y_3$$

ニシテ \$M\_1\$ 從テ \$C\$ニ於ケル \$AC\$ 側ノ絶對最大彎曲率モ同理ニヨリ  
 テ求ムルコトヲ得ベク, 更ニ \$M\_0\$ 從テ桁ノ \$AC\$ 側ノ絶對最大彎曲率  
 ハ第 64, 69, 78 圖ヲ併用シテ之ヲ求ムルコトヲ得ベシ.

\$AcB\$ナル線ヲ \$C\$ニ於ケル \$AC\$ 側ノ彎曲率ニ對スル影響線ト謂フ.

其三. 裁力. 第 81 圖ニ於テ

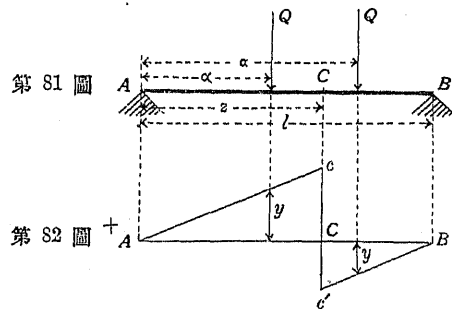
$$S = \frac{Qa}{l} \quad Q \text{ } AC \text{ノ間ニアルトキ}$$

$$= -\frac{Q(l-a)}{l} \quad Q \text{ } BC \text{ノ間ニアルトキ}$$

ニシテ \$Q=1\$ トスルトキハ此等ノ裁力ハソレソレニ

$$S' = \frac{a}{l}$$

$$= -\frac{l-a}{l}$$



ナルガ故 = 第82圖 = 於テ

$$Cc = \frac{z}{l}, \quad Cc' = \frac{l-z}{l}$$

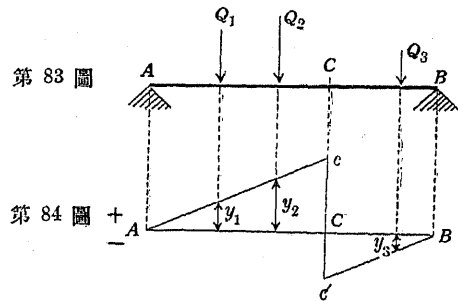
トスルトキハ

$$S' = y$$

$$S = Qy \quad y \text{ハ代數的}$$

ナリ.

此理ニヨリ第83圖ノ如キ集中荷重アルトキハ



$$S = Q_1 y_1 + Q_2 y_2 - Q_3 y_3$$

ニシテ  $S_1, S_0, C$  = 於ケル  $AC$  側ノ絶対最大裁力及桁ノ  $AC$  側ノ絶対

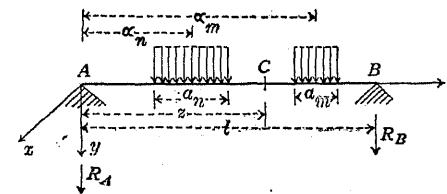
最大裁力モ同理ニヨリテ求ムルコトヲ得ベシ.

$Acc'B$ ナル線ヲ  $C$  = 於ケル  $AC$  側ノ裁力ニ對スル影響線ト謂フ.

97. 等布荷重ニ對スル反力、彎曲率及裁力.

第一. 反力. 等布荷重ノ強度ヲ  $q$  トスルトキハ第85圖ニ於テ

第85圖



$$99) \quad \begin{cases} R_A = -\frac{q}{l} [a_m(l-a_m) + a_n(l-a_n)] \\ R_B = -\frac{q}{l} (a_m a_m + a_n a_n) \end{cases}$$

ニシテ桁ノ絶対最大反力ヲ  $R_0$  トスレバ  $R_0$  ハ等布荷重ガ桁ノ全長ニ涉レルトキ  $A$  及  $B$  = 於テ起リ

$$90) \quad R_0 = -\frac{ql}{2}$$

ナリ.

第二. 彎曲率.  $M_1, M_0$  フソレソレニ  $C$  = 於ケル  $AC$  側ノ絶対最大彎曲率及桁ノ  $AC$  側ノ絶対最大彎曲率トスルトキハ容易ク次ノ結果ヲ得ベシ:-

$$91) \quad M = -\frac{q}{l} [a_m(l-a_m)z + a_n a_n(l-z)]$$

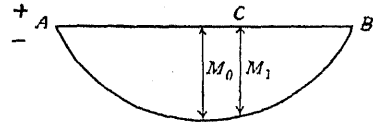
$$92) \quad M_1 = -\frac{gz(l-z)}{2}$$



$$93) \quad M_0 = -\frac{ql^2}{8} = -\frac{Ql}{8}, \quad Q = ql.$$

$M_1$  及  $M_0$  は 共 = 等布荷重ガ桁ノ全長ニ涉レルトキニシテ  $M_0$  = 對

第 86 圖



スル C へ桁ノ中央ニアリ. 92), 93) 式ニヨリ  $M_1, M_0$  は第 86 圖ノ如キ一ノ拋物線ニヨリテ示スコトヲ得ベシ.

**第三 裁力.**  $S_1, S_0$  フソレソレニ C = 於ケル AC 側ノ絶對最大裁力及桁ノ AC 側ニ於ケル絶對最大裁力トスルトキハ容易ニ次ノ結果ヲ得ベシ:—

$$94) \quad S = \frac{q}{l} \left[ -a_m(l - a_m) + a_n a_n \right]$$

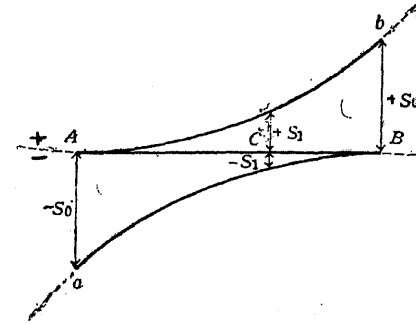
$$95) \quad \begin{cases} S_1 = \frac{qz^2}{2l} & S_1 > 0 \text{ ナルトキ} \\ = -\frac{q(l-z)^2}{2l} & S_1 < 0 \text{ ナルトキ} \end{cases}$$

$$96) \quad \begin{cases} S_0 = \frac{ql}{2} = \frac{Q}{2} & S_0 > 0 \text{ ナルトキ} \\ = -\frac{ql}{2} = -\frac{Q}{2} & S_0 < 0 \text{ ナルトキ} \end{cases} \quad Q = ql$$

正號ヲ有スル  $S_1$  ハ等布荷重ガ AC ノ全長ニ涉リテ BC ノ間ニ存在セズ, 負號ヲ有スル  $S_1$  ハ等布荷重ガ BC ノ全長ニ涉リテ AC ノ間ニ存在セザルトキニ起リ, 又  $S_0$  ハ等布荷重ガ AB ノ全長ニ涉レル時ニ起リ其正號ヲ有スルモノハ B 端ニ於ケルモノ, 負號ヲ有スルモノハ A 端ニ於ケルモノナリ. 95), 96) 式ニヨリ  $S_1, S_0$  ハ第 87 圖ノ

如キ二個ノ拋物線  $Ab, Ba$  ニヨリテ示スコトヲ得ベク A, B ハソレ

第 87 圖



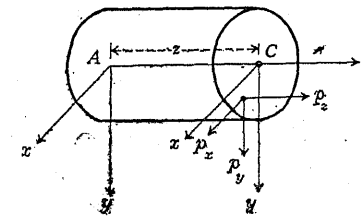
ソレニ此等ノ拋物線ノ頂點ニシテ AB 線ハ此等ニ切觸セリ.

**3. 單桁ニ關スル其他ノ各論.**

**98. 單桁ニ於ケル應力強度.**

**第一. 總說** 第 61 圖ノ如キ單桁ノ AC 部第 88 圖ヲ取り断面ニ於ケル應力ヲ此部分ニ對シテ外力ナリト考フルトキハ第 78, 79 節ニヨリ 64) 式ヲ適用スルコトヲ得ベシ. 故ニ今断面 C ノ一點

第 88 圖



$(x, y, z)$  = 於ケル應力ノ  $x, y, z$  軸ニ平行セル分力ヲ求メ其分力ノ強度ヲソレソレニ  $p_x, p_y, p_z$  トシ断面 C ヲトスルトキハ

$$\begin{aligned} \mathcal{N}_x &= \int_{(\sigma)} p_x dA = 0 \\ \mathcal{N}_y &= \int_{(\sigma)} p_y dA + S = 0 \\ \mathcal{N}_z &= \int_{(\sigma)} p_z dA = 0 \\ \mathcal{M}_{Cx} &= \int_{(\sigma)} y p_x dA + M = 0 \\ \mathcal{M}_{Cy} &= - \int_{(\sigma)} x p_x dA = 0 \\ \mathcal{M}_{Cz} &= \int_{(\sigma)} (x p_y - y p_x) dA = 0 \end{aligned}$$

ヲ得.

$p_x$ ハ垂面應力強度ニシテ,  $p_x, p_y$ ハ切面應力強度ナリ(第50節參照).

第二. 垂面應力強度. 断面  $C$ ハ外力ヲ受クルノ後尙一ノ平面ヲナシ

$$\Delta z = \alpha + \beta x + \gamma y, \quad \alpha, \beta, \gamma \text{ハ 常數}$$

ナル伸縮ヲナセルモノトセバ(66)式ニヨリ

$$\begin{aligned} p_x &= \frac{E}{z} \Delta z = \frac{E}{z} (\alpha + \beta x + \gamma y) \\ &= p_0 + m x + n y \quad p_0, m, n \text{ハ 常數} \end{aligned}$$

ヲ得,從テ上記ノ第三,第四,第五ノ三式ニヨリ第53節ノ第二ノ場合ノ其三ノ如ク

$$\begin{cases} p_0 A = 0 \\ m I_y = 0 \\ n I_x = -M \end{cases} \quad \text{即} \quad \begin{cases} p_0 = 0 \\ m = 0 \\ n = -\frac{M}{I_x} \end{cases}$$

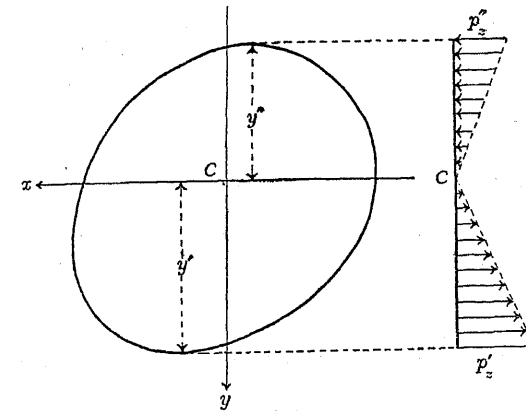
從テ

$$97) \quad p_x = -\frac{M}{I_x} y$$

ヲ得. 此式ニヨリ次ノ結論ヲ得ベシ:—

1. 断面  $C$ ノ中  $Cx$ 線ハ外力ヲ受クル後其位置ヲ變セズ,此線上ノ各點ニ於ケル  $p_x$ ノ値ハ零ナリ. 此線ヲ断面  $C$ ノ 中立軸ト謂フ
2. 79)式ニヨリ  $M < 0$ ナルガ故ニ第89圖ノ如ク  $y > 0$ ナル點即中立軸  $Cx$ ヨリ下ニ位セル點ニ於テハ  $p_x > 0$ ニシテ 應張力強度

第89圖



ヲナシ,  $y < 0$ ナル點即中立軸  $Cx$ ヨリ上ニ位セル點ニ於テハ  $p_x < 0$ ニシテ 應壓力強度ヲナス. 中立軸ヲ界トシテ  $p_x$ ハ  $x$ 軸ノ兩側ニ於テ等變面力強度トナリテ恰モ第53節ノ第二ノ場合ノ其三ニ相當シ其總代偶力率  $M_x$ ハ特ニ之ヲ 抵抗率ト謂ヒ

$$M_x = -M$$

ナル關係ヲ有ス.

3. 與ヘラレタル断面  $C$ ニ於テハ  $M$ ガ  $C$ ニ於ケル  $A$   $C$ 側ノ絶對

最大彎曲率(之ヲ  $M_1$  トス)ナルトキ  $p_x$  ノ値又ハ數值最大ニシテ之ヲ  $p_1$  ヲ以テ示ストキハ

$$98) \quad p_1 = -\frac{M_1}{I_x} y$$

ナリ。

4. 與ヘラレタル斷面ニ於テハ應張力強度ハ正  $y$  ノ値最大ナルトキ即  $y = y'$  ナルトキ其值最大ニシテ、應壓力強度ハ負  $y$  ノ數值最大ナルトキ即  $y = -y''$  ナルトキ其數值最大ナリ。此等ノ應力強度ヲソレソレニ  $p_x', p_x''$  トシ、 $M = M_1$  ナルトキノ  $p_x', p_x''$  ヲソレソレニ  $p_1', p_1''$  トスレバ

$$99) \quad \begin{cases} p_x' = -\frac{M}{I_x} y' & p_1' = -\frac{M_1}{I_x} y' \\ p_x'' = +\frac{M}{I_x} y'' & p_1'' = +\frac{M_1}{I_x} y'' \end{cases}$$

ヲ得。  $p_1', p_1''$  ヲソレソレニ 斷面  $C$  ノ絶對最大應張力強度及絶對最大應壓力強度 ト謂フ。

5. 桁ノ  $AC$  側ノ絶對最大彎曲率(之ヲ  $M_0$  トス)ヲ與フベキ斷面ニ於ケル  $p_x$  ヲ  $p_0$  ヲ以テ示ストキハ

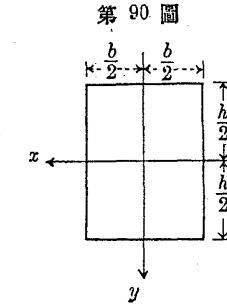
$$100) \quad p_0 = -\frac{M_0}{I_x} y$$

ニシテ、此斷面ニ於ケル  $p_x', p_x''$  ヲソレソレニ  $p_0', p_0''$  トスレバ

$$101) \quad \begin{cases} p_0' = -\frac{M_0}{I_x} y' \\ p_0'' = +\frac{M_0}{I_x} y'' \end{cases}$$

ヲ得。  $p_0', p_0''$  ヲソレソレニ 桁ノ絶對最大應張力強度及絶對最大應壓力強度 ト謂フ。

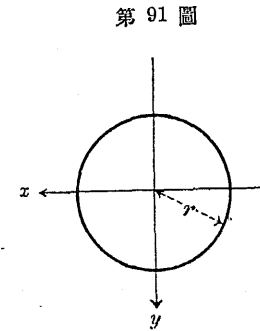
例 1. 斷面矩形ナル單桁. 第 90 圖ヲ單桁ノ斷面トスルトキハ一般ニ



$$102) \quad \begin{cases} p_x = -\frac{12 M}{b h^3} y \\ p_x' = -\frac{6 M}{b h^2}, & p_x'' = +\frac{6 M}{b h^2} \end{cases}$$

ヲ得。

例 2. 斷面圓形ナル單桁. 第 91 圖ヲ單桁ノ斷面トスルトキハ一般ニ



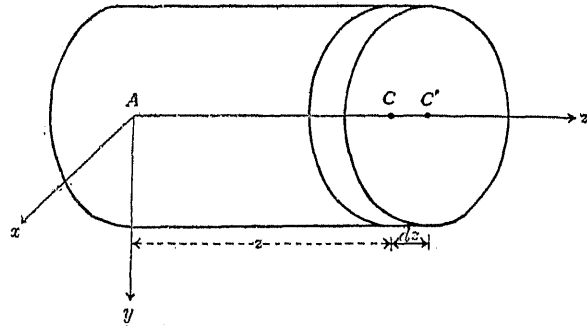
$$103) \quad \begin{cases} p_x = -\frac{4 M}{\pi r^4} y \\ p_x' = -\frac{4 M}{\pi r^3}, & p_x'' = +\frac{4 M}{\pi r^3} \end{cases}$$

ヲ得。

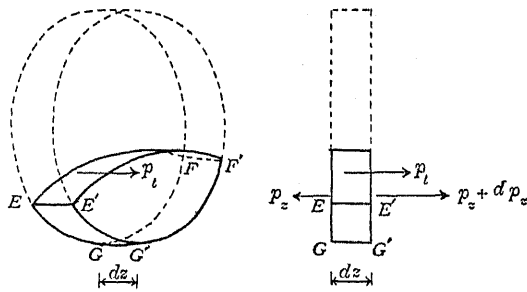
第三. 切面應力強度. 切面應力強度  $p_x, p_y$  ニ關スル方程式ハ第一ノ總説ノ下ニ掲ゲタル第一、第二及第六式ナレドモ此等ノ式ヨリ  $p_x, p_y$  ヲ定ムルコト難シ。

今第92圖ノ如ク断面Cトdzヲ距ツル他ノ断面C'トニヨリテ作  
ラレタル單桁ノ一部分第93圖ニ於テ更ニ其一部分 EFGG'F'E'

第 92 圖



第 93 圖



ヲ取リ,面EFGG'F'E'ニ於ケル切面力ノzノ方向ニ於ケル分力ノ強度  
ヲ  $p_z$  トシ,此EFGG'F'E'ナル部分ニ對シテ第78,79節ニヨリ64式  
ノ第三式ヲ適用スルニ,面EFGG'又ハE'F'G'ヲ  $\sigma'$  トシ,線EF又ハ  
E'F'ヲ  $s$  トスルトキハ

$$\mathfrak{R}_z = \int_{(\sigma')} (p_z + dp_z) dA - \int_{(\sigma')} p_z dA + \int_{(s)} p_t ds dz = 0$$

$$\text{即} \quad dz \int_{(s)} p_t ds = - \int_{(\sigma')} dp_z dA$$

從テ

$$\int_{(s)} p_t ds = - \int_{(\sigma')} \frac{dp_z}{dz} dA = \int_{(\sigma')} \frac{d}{dz} \left( \frac{M}{I_x} y \right) dA \quad 97) \text{式} = \text{ヨリ}$$

$$= \frac{1}{I_x} \frac{dM}{dz} \int_{(\sigma')} y dA$$

$$= \frac{S}{I_x} \int_{(\sigma')} y dA \quad 75) \text{式} = \text{ヨリ}$$

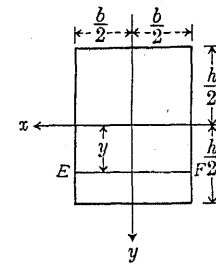
ヲ得. 故ニ  $G'_z$  ヲ以テ  $\sigma'$  ノCx軸ニ對スル一次率スルトキハ

$$104) \quad \int_{(s)} p_t ds = \frac{SG'_z}{I_x}$$

ヲ得.

例. 断面矩形ナル單桁. 第94圖ヲ單桁ノ断面トシEFヲ圖ノ如ク取ルトキ

第 94 圖



ハ  $p_t$  ヲ  $y$  ノミニノ函數ナリト假定スルヲ常トス. 從テ

$$\int_{(s)} p_t ds = b p_t$$

$$G'_z = \frac{b(h^2 - 4y^2)}{8}, \quad 10) \text{式} = \text{ヨリ}$$

ナル關係ニヨリ104)式ヨリ

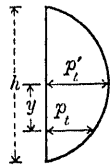
$$105) \quad p_t = \frac{S}{8I_x} (h^2 - 4y^2)$$

ヲ得.  $p_t$  ヲ以テ  $p_t$  ノ最大値ヲ示ストキハ  $p'_t$  ハ  $p_t$  ノ  $y=0$  ナルトキニシテ

106) 
$$p_i' = \frac{3}{2} \frac{S}{bh}$$

ナリ. 105), 106) 式ニヨリ  $p_i, p_i'$  ハ第95圖ノ如キ一ノ拋物線ニヨリテ示スコトヲ得ベシ.

第95圖



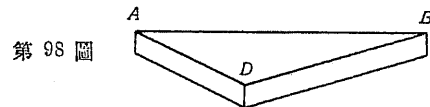
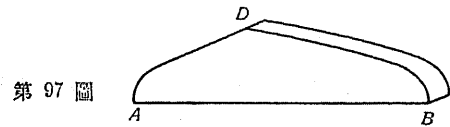
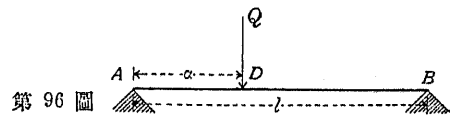
上記ノ  $p_i$  ハ第143節ニ述アベキ定理ニヨリ

$$p_i = p_y$$

ナル關係ヲ有ス.

99. 等強單桁. 單桁ノ各斷面ニ於ケル絶對最大應力強度(例ヘバ99)式ノ  $p_i, p_i'$  )ハ一般ニ相異ルベシ. 斷面ヲ適當ニ變化セシメ之ヲシテ單桁ノ全長ニ涉リテ常數ナラシムルガ如キ單桁ヲ該應力強度ニ對スル等強單桁ト謂フ.

例. 1 斷面矩形ニシテ荷重一個ノ集中荷重ナルトキノ垂面斷力強度ニ對スル等強單桁. 第96圖ニ於テ



$$M = -\frac{Q(l-\alpha)z}{l} \quad C \text{ } AD \text{ ノ間ニアルトキ}$$

$$= -\frac{Q\alpha(l-z)}{l} \quad C \text{ } BD \text{ ノ間ニアルトキ}$$

ナルガ故ニ  $p_i, p_i'$  ノ數值ヲ  $p$  ヲ以テ示ストキハ 102) 式ニヨリ

$$p(\text{常數}) = \frac{6Q(l-\alpha)}{l} \frac{z}{bh^2} \quad AD \text{ ノ間ニ於テ}$$

$$= \frac{6Q\alpha}{l} \frac{l-z}{bh^2} \quad BD \text{ ノ間ニ於テ}$$

ヲ得.

$b$  = 常數トスレバ

$$z = k_1 h^2 \quad k_1, k_1' \text{ ハ常數}$$

$$l-z = k_1' h^2$$

ナルガ故ニ單桁ノ形狀ハ第97圖ノ如ク  $AD, BD$  ハソレソレニ  $A, B$  ヲ頂點トセル拋物線タルベシ.

$h$  = 常數トスレバ

$$z = k_2 b$$

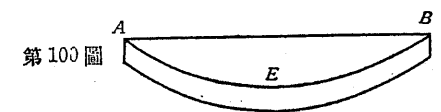
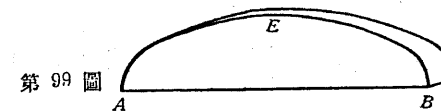
$$l-z = k_2' b \quad k_2, k_2' \text{ ハ常數}$$

ナルガ故ニ單桁ノ形狀ハ第98圖ノ如ク  $AD, BD$  ハ直線タルベシ.

例 2. 斷面矩形ニシテ荷重單桁ノ全長ニ涉レル等布荷重ナルトキノ垂面應力強度ニ對スル等強單桁. 92) 式ヲ用ユルトキハ前例ト同様ノ方法ニヨリ

$$p = 3q \frac{z(l-z)}{bh^2}$$

ヲ得.



$b$  = 常數トスレバ

$$z(l-z) = k_1 h^2 \quad k_1 \text{ ハ常數}$$

ナルガ故ニ單桁ノ形狀ハ第99圖ノ如ク、 $AEB$ ハ $AB$ ヲ軸トセル半楕圓タルベシ  
 $h$ ニ常數トスレバ

$$z(z - z) = k_2 b \quad k_2 \text{ハ常數}$$

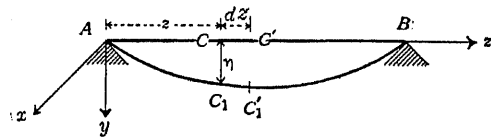
ナルガ故ニ單桁ノ形狀ハ第100圖ノ如ク、 $AEB$ ハ中點 $E$ ヲ頂點トセル拋物線タルベシ。

100. 單桁ノ經濟的形狀 断面定マリタル形狀ヲ有スベキ單桁ノ經濟的形狀ハ單純ナル理論ノ上ニ於テハ明ニ前節ニ述ベタル等強單桁ノモノタルベシト雖モ實地上ニ於テハ製作ノ難易、工費ノ多少ノ如キ數多ノ他ノ關係ニヨリ此形ヲ用ヒザルコト多シ。

断面ノ形狀ヲシテ經濟的ナラシメンニ、垂面應力強度ニ對スル關係ヨリシテハ97)式ノ $I_x$ ヲ最大ナラシムル爲メ中立軸ヨリ遠キ所ニ於テ材料ヲ集中セシムベク、切面應力強度ニ對スル關係ヨリシテハ多クノ場合ニ於テ105), 106)式ノ如ク中立軸ニ沿フテ該應力強度最大ナルガ故ニ該軸ニ近キ所ニ於テ材料ヲ集中セシムベシ。此相矛盾セル要求ニ對シ此等ノ應力強度ノ大小及之ニ抵抗スル物體ノ抵抗力ノ優劣ヲ比較シ、其他上下左右ニ於ケル單桁彎曲ノ大小、製作ノ難易、工費ノ多少等ノ關係ヲ彼此斟酌シ、木材、石材ノ如キモノニ於テハ矩形又ハ圓形、鐵、鋼ノ如キモノニ於テハ工字形、 $\Pi$ 字形、乙字形、等ヲ用ユルヲ常トス。

101. 單桁ノ彎曲量、傾斜角及曲率半徑 第101圖ニ於ケル單桁

第101圖

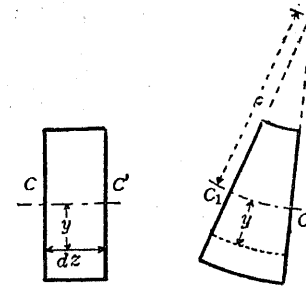


$ACB$ ニ荷重ヲ加フルトキハ $AC_1B$ ノ如ク彎曲スベシ。 $CC_1$ ヲ $C$ ニ於ケル彎曲量、 $AC_1B$ ノ $C_1$ ニ於ケル切線ト $z$ 軸トノ間ノ角ヲ $C$ ニ於ケル傾斜角ト謂ヒ、 $AC_1B$ ノ $C_1$ ニ於ケル曲率半徑ヲ $C$ ニ於ケル曲率半徑ト謂フ。

任意ノ所ニ於テ $dz$ ヲ距ツル二断面 $C, C'$ ニヨリテ界サレタル單

第102圖

第103圖



桁ノ一部第102圖ヲ取り、荷重ヲ加ヘタル後第103圖ノ如クナリタルモノトスレバ

$$\frac{\rho + y}{\rho} = \frac{dz + \frac{p_z}{E} dz}{dz} \quad 66) \text{式ニヨリ}$$

$$\therefore 1 + \frac{y}{\rho} = 1 - \frac{M}{EI_x} y \quad 97) \text{式ニヨリ}$$

$$\therefore \frac{1}{\rho} = - \frac{M}{EI_x}$$

ヲ得。然ルニ單桁ノ彎曲量ハ極メテ小ナルガ故ニ $C_1$ ヲ $(\eta, z)$ トスレバ

$$\frac{1}{\rho} = - \frac{d^2 \eta}{dz^2}$$

トスルコトヲ得、從テ

$$107) \quad -\frac{1}{\rho} = \frac{d^2\eta}{dz^2} = \frac{M}{EI_x}$$

ヲ得,  $i = \frac{d\eta}{dz}$  トスルトキハ

$$108) \quad i - i_0 = \frac{d\eta}{dz} - \left(\frac{d\eta}{dz}\right)_0 = \int_{z_0}^z \frac{M}{EI_x} dz$$

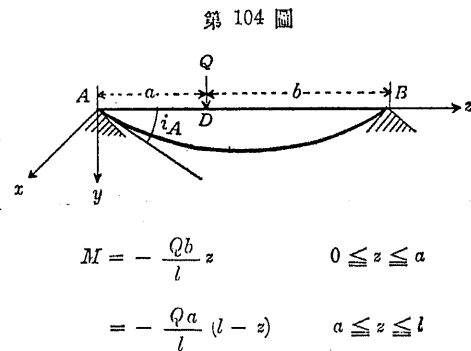
$$109) \quad \eta - \eta_1 - \left(\frac{d\eta}{dz}\right)_0(z - z_1) = \int_{z_1}^z dz \int_{z_0}^z \frac{M}{EI_x} dz$$

ヲ得, 但シ  $i_0 = \left(\frac{d\eta}{dz}\right)_0$  ハ  $z = z_0$  ナル所ノ  $\frac{d\eta}{dz}$  ノ値ニシテ,  $\eta_1$  ハ  $z = z_1$  ナル所ノ  $\eta$  ノ値ナリ.

$\eta, i = \frac{d\eta}{dz}, \rho$  ハソレソレニ彎曲量, 傾斜角及曲率半徑ニシテ  $EI_x$

ヲ  $x$  軸ニ對スル彎曲剛率ト謂フ.

例 1. 一個ノ集中荷重ヲ受ケ中立軸ニ對スル彎曲剛率常數ナル單桁. 第 104 圖ニ於テ  $l = a + b$  トスルトキハ



ナルカ故ニ

$$EI_x \frac{d^2\eta}{dz^2} = M = -\frac{Qb}{l}z \quad AD = \text{對シ}$$

$$= -\frac{Qa}{l}(l-z) \quad BD = \text{對シ}$$

ヲ得.  $i_A, i_B$  ヲ以テソレソレニ  $A, B$  ニ於ケル傾斜角スルトキハ

$$\begin{cases} EI_x \left(\frac{d\eta}{dz} - i_A\right) = -\frac{Qb}{l} \int_0^z z dz = -\frac{Qb}{2l} z^2 & AD = \text{對シ} \\ EI_x \left(\frac{d\eta}{dz} - i_B\right) = -\frac{Qa}{l} \int_l^z (l-z) dz = -\frac{Qa}{2l} (l-z)^2 & BD = \text{對シ} \\ EI_x (\eta - i_A z) = -\frac{Qb}{2l} \int_0^z z^2 dz = -\frac{Qb}{6l} z^3 & AD = \text{對シ} \\ EI_x [\eta - i_B (z-l)] = \frac{Qa}{2l} \int_l^z (l-z)^2 dz = -\frac{Qa}{6l} (l-z)^3 & BD = \text{對シ} \end{cases}$$

ニシテ尙之ヨリ

$$\begin{cases} EI_x \left(\frac{d\eta}{dz}\right)_D = EI_x i_A - \frac{Qb}{2l} a^2 = EI_x i_B + \frac{Qa}{2l} b^2 \\ EI_x \eta_D = EI_x i_A a - \frac{Qb}{6l} a^3 = -EI_x i_B b - \frac{Qa}{6l} b^3 \end{cases}$$

ナルカ故ニ

$$i_A = \frac{Qab(a+2b)}{6EI_x l}, \quad i_B = -\frac{Qab(2a+b)}{6EI_x l}$$

ヲ得, 之ヲ上ノ諸式ニ代用シテ次ノ諸式ヲ得ベシ:—

$$110) \quad \begin{cases} \eta = \frac{Qb}{6EI_x l} [a(a+2b)z - z^3] & AD = \text{對シ} \\ = \frac{Qa}{6EI_x l} [b(2a+b)(l-z) - (l-z)^3] & BD = \text{對シ} \\ \frac{d\eta}{dz} = \frac{Qb}{6EI_x l} [a(a+2b) - 3z^2] & AD = \text{對シ} \\ = \frac{Qa}{6EI_x l} [-b(2a+b) + 3(l-z)^2] & BD = \text{對シ} \\ \frac{d^2\eta}{dz^2} = -\frac{1}{\rho} = -\frac{Qb}{EI_x l} z & AD = \text{對シ} \\ = -\frac{Qa}{EI_x l} (l-z) & BD = \text{對シ} \\ \eta_D = \frac{Qa^2 b^2}{3EI_x l} \\ i_A = \frac{Qab(a+2b)}{6EI_x l} \\ i_B = -\frac{Qab(2a+b)}{6EI_x l} \end{cases}$$

例 2. 全長ニ沿レル等布荷重ヲ受ケ中立軸ニ對スル彎曲剛率常數ナル單桁. 此場合ニ於テハ

$$M = -\frac{qz(l-z)}{2}$$

ニシテ前例ト同様ノ方法ニヨリ

$$111) \quad \begin{cases} \eta = \frac{q}{24 EI_x} z(l-z)(l^2 + lz - z^2) \\ \frac{d\eta}{dz} = \frac{q}{24 EI_x} (l^2 - 6lz^2 + 4z^3) \\ \frac{d^2\eta}{dz^2} = -\frac{1}{\rho} = -\frac{q}{2 EI_x} z(l-z) \\ \eta_0 = \frac{5}{384 EI_x} ql^4 \\ i_A = -i_B = \frac{ql^3}{24 EI_x} \end{cases}$$

ヲ得ベシ; 但シ  $\eta_0$  ハ桁ノ中央ニ於ケル  $\eta$  ノ値ニシテ其最大値ナリ.

102. 單桁ニ於ケル働. 第102圖ノ如キ單桁ノ一部荷重ノ爲メニ第103圖ノ如クナルトキハ  $C$ ナル斷面  $\sigma$  ノ一點ニ於テ荷重ノ存在セザル時零ナル強度ヨリ荷重ヲ加ヘタル後

$$p_z = -\frac{M}{I_x} y$$

ナル強度ニ増加セル應力ヲ生ジ、之ト共ニ(66)式ニヨリ

$$\frac{p_z}{E} dz$$

ナル變位ヲ伴フベキガ故ニ之ニヨリテ

$$dW = \int_{(\sigma)} \frac{1}{2} p_z dA \cdot \frac{p_z}{E} dz = \int_{(\sigma)} \frac{M^2}{2 EI_x^2} y^2 dA dz = \frac{M^2}{2 EI_x} dz$$

ナル働ヲ爲スベシ. 故ニ荷重ノ加ハルガ爲メニ單桁全部ニ於テ

$$112) \quad W = \int_0^l \frac{M^2}{2 EI_x} dz$$

ナル働ヲ爲スベク、此働ハ單桁ノ各分子ノ爲セルモノナルガ故ニ之ヲ單桁ニ於ケル内働ト謂フ. 切面應力ニヨリテ爲セル働ハ垂面應力ノモノニ比シテ極メテ小ナルガ故ニ通常之ヲ考フルノ要ナシ.

單桁ノ彎曲ノ爲メ荷重ノ爲セル働ヲ單桁ニ於ケル外働ト謂ヒ、

Uヲ以テ之ヲ示ストキハ

$$113) \quad U = W$$

ナル關係ヲ有ス.

例. 一個ノ集中荷重ヲ受ケ中立軸ニ對スル彎曲剛率常數ナル單桁 第104圖ヲ用ヒ

$$\begin{aligned} M &= -\frac{Qb}{l} z & 0 \leq z \leq a \\ &= -\frac{Qa}{l} (l-z) & a \leq z \leq l \end{aligned}$$

ナルガ故ニ(112)式ニヨリ

$$2 EI_x W = \int_0^a \left( \frac{Qb}{l} z \right) dz + \int_a^l \left[ \frac{Qa}{l} (l-z) \right]^2 dz = \frac{Q^2 a^2 b^2}{3l}$$

從テ

$$114) \quad W = \frac{Q^2 a^2 b^2}{6 EI_x l}$$

ヲ得.

又

$$U = \frac{1}{2} Q \eta_D$$

ナルガ故ニ(113)式ニヨリ

$$\eta_D = \frac{Q a^2 b^2}{3 EI_x}$$

ヲ得; 之レ(110)式ノ第七式ト同一ノモノナリ.

103. 單桁ノ設計. 單桁ハ第88節ニ從ヒテ設計スルヲ常トシ此場合ニ於ケル許容強度ハ許容抗曲強度  $f_b$  (第84節ノ  $F_b$  ヲ安全率  $m$  ニテ除シタル商)ナリ. 殆ンド總テノ場合ニ於テ第98節ノ  $y'$  及  $y''$  ハ相等シク從テ(99)式ノ  $p_1'$  ハ  $p_1''$  ト, (101)式ノ  $p_0'$  ハ  $p_0''$  ト其數値相等シキガ故ニ單桁ノ設計ニ用ユル一般公式ハ

$$115) \quad \begin{cases} p_1' \text{ 又ハ } p_1'' = -\frac{M_1}{I_x} (y' \text{ 又ハ } y'') \leq f_b \\ p_0' \text{ 又ハ } p_0'' = -\frac{M_0}{I_x} (y' \text{ 又ハ } y'') \leq f_b \end{cases}$$



ナリ。又(殊ニ  $y' \neq y''$  ナルトキ)時トシテ

$$116) \quad \begin{cases} p_1' = -\frac{M_1}{I_c} y' \leq f_i & p_1'' = +\frac{M_1}{I_c} y'' \leq f_o \\ p_0' = -\frac{M_0}{I_c} y' \leq f_i & p_0'' = +\frac{M_0}{I_c} y'' \leq f_o \end{cases}$$

ナル公式ヲ用ユルコトアリ。

此外 106)式ノ如キ  $p_i'$  フシテ常ニ

$$p_i' \leq f_i$$

ナラシムルヲ要スレドモ特殊ノ場合ノ外之ヲ考フルノ要ナシ。

單桁ハ又其最大彎曲量ヲシテ一定ノ極限以下ニアラシムルガ如ク設計スルコトアリ。

## 第 四 章 突 桁

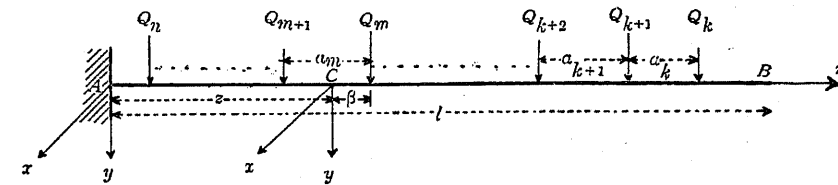
### 1. 突桁ニ於ケル外力。

104. 集中荷重ニ對スル彎曲率及裁力。第96節ト同様ノ方法ニヨリ次ノ諸結果ヲ得ベシ

#### 第一. 解析解法。

其一. 彎曲率。突桁第105圖ノ如キ集中荷重ヲ受クルトキハ

第 105 圖



$$117) \quad M = a_k Q_k + a_{k+1} \sum_k^{k+1} Q + \dots + \beta \sum_k^m Q.$$

此公式ヨリ次ノ結論ヲ得:—

1.  $M > 0$ .
2. 放端  $B$ ニ於テハ  $M = 0$ .
3.  $M_1$ ハ  $Q_k$ カ放端  $B$ ニ來ルトキニ於テ起ルベシ.
4.  $M_0$ ハ定端  $A$ ニ於テ  $Q_k$ カ放端  $B$ ニ來ルトキニ起ルベシ.

#### 其二. 裁力。

$$118) \quad S = -\sum_k^m Q$$

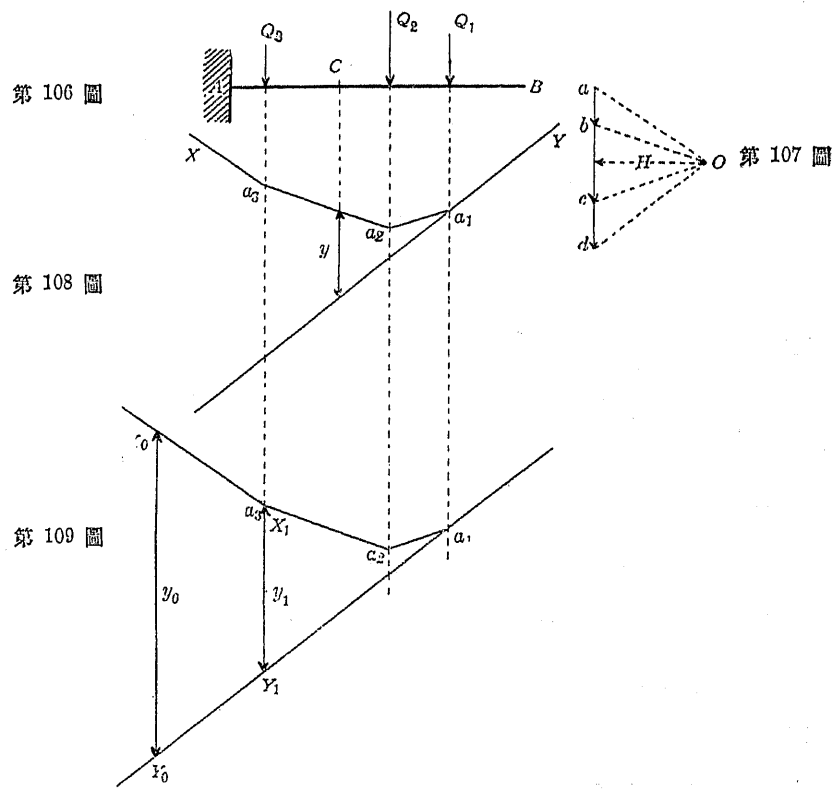
此公式ヨリ次ノ結論ヲ得:—

1.  $S < 0$ .
2. 放端  $B =$  於テハハ  $S = 0$ .
3.  $S_1$  ハ  $BC =$  於ケル荷重同一ナル以上其位置ニ關係スルコトナシ.
4.  $S_0$  ハ定端  $A =$  於テ起リ  $AB =$  於ケル荷重同一ナル以上其位置ニ關係スルコトナシ.

第二. 變曲率圖及裁力圖ヲ用ユル圖式解法.

其一. 變曲率. 第 107, 108 圖ニ於テ

$$M = yH$$



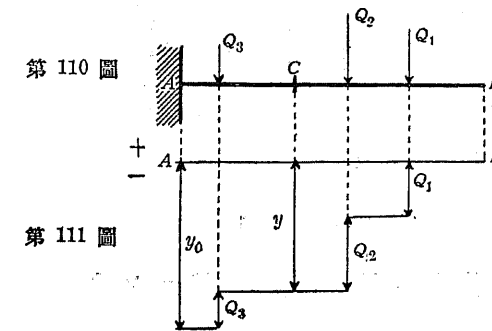
ニシテ, 第 109 圖ニ於テ

$BC = a_1$  ト  $X_1$  トノ水平距離

$AB = a_1$  ト  $X_0$  トノ水平距離

トスレバ  $yH$  ハ一ノ  $M_1 =$  シテ,  $y_0H$  ハ一ノ  $M_0$  ナリ.

其二. 裁力. 第 111 圖ニ於テ

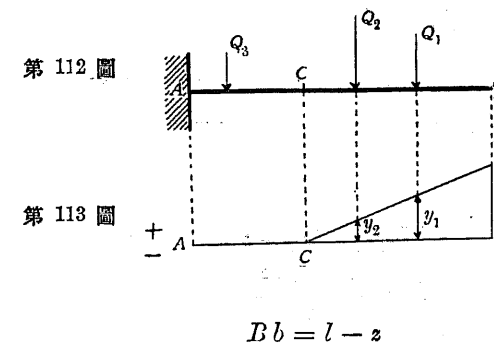


$$S = -y$$

ニシテ  $-y$  ハ又一ノ  $S_1, -y_0$  ハ一ノ  $S_0$  ナリ.

第三. 影響線ヲ用ユル圖式解法.

其一. 變曲率. 第 113 圖ニ於テ



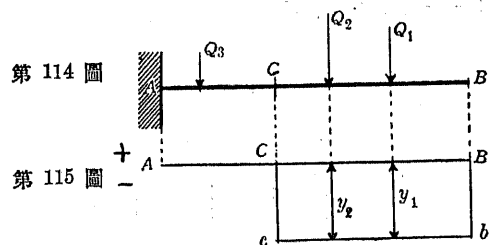
$$Bb = l - z$$

トスレバ  $bCA$  の彎曲率ニ對スル影響線ニシテ

$$M = Q_1 y_1 + Q_2 y_2$$

ナリ。  $M_1, M_0$  モ同様ニ之ヲ求ムルコトヲ得ベシ。

其二 裁力 第 115 圖ニ於テ



$$Bb = Cc = 1$$

トスレバ  $BbcCA$  の裁力ニ對スル影響線ニシテ

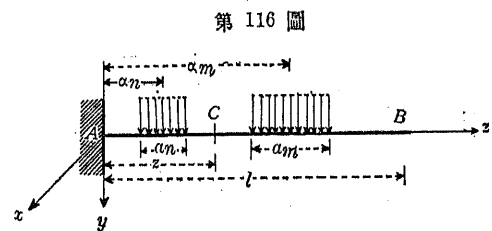
$$S = -Q_1 y_1 - Q_2 y_2 = -Q_1 - Q_2$$

ナリ。  $S_1, S_0$  モ同様ニ之ヲ求ムルコトヲ得ベシ。

105. 等布荷重ニ對スル彎曲率及裁力 第 97 節ト同様ノ方法

ニヨリテ次ノ諸結果ヲ得ベシ。

第一 彎曲率 第 116 圖ニ於テ



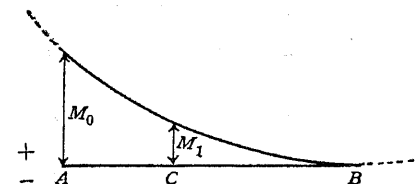
$$119) \quad M = q a_m (a_m - z)$$

$$120) \quad M_1 = \frac{q(l-z)^2}{2}$$

$$121) \quad M_0 = \frac{q l^2}{2} = \frac{Q l}{2}, \quad Q = q l.$$

$M_1$  の等布荷重  $BC$  の全長ニ涉リ、 $M_0$  の  $AB$  の全長ニ涉レル時ニシテ  $M_0$  の定端  $A$  ニ於テ起ルベシ。 120), 121) 式ニヨリ  $M_1, M_0$  の第 117 圖ノ如キ  $B$  ニ頂點ヲ有シ  $AB$  ヲ切線トセル一ノ拋物線ニヨ

第 117 圖



リテ示スコトヲ得ベシ。

第二 裁力

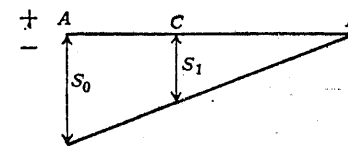
$$122) \quad S = -q a_m$$

$$123) \quad S_1 = -q(l-z)$$

$$124) \quad S_0 = -q l = -Q, \quad Q = q l.$$

$S_1$  の等布荷重  $BC$  の全長ニ涉リ、 $S_0$  の  $AB$  の全長ニ涉レル時ニシテ  $S_0$  の定端  $A$  ニ於テ起ルベシ。 123), 124) 式ニヨリ  $S_1, S_0$  の第 118 圖

第 118 圖



ノ如キ一ノ直線ニヨリテ示スコトヲ得ベシ。

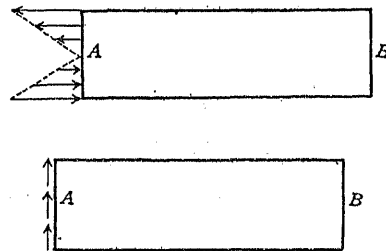
2. 突桁ニ關スル其他ノ各論.

106. 突桁ニ於ケル應力強度 第 98 節ニ於ケル諸式ノ彎曲率

及裁力ヲ第 104, 105 節ノモノトセバ此等ノ公式ハ突桁ニ關スルモノト考フルコトヲ得ベク、唯突桁ニ於テハ彎曲率ハ常ニ正數ナルガ故ニ中立軸ヨリ下ニ位セル各點ニ於ケル  $p_x$  ハ應壓力強度ニシテ、之ヨリ上ニ位セル各點ニ於ケル  $p_x$  ハ應張力強度タルノ差アルノミ。

茲ニ定端ナルモノ、力學的性質ニ就テ注意スベキ最も重要ナル事項アリ。單桁ノ支端ニ於テハ彎曲率ノ值零(79式)ナレドモ突桁ノ定端ニ於テハ然ラズ、突桁ノ定端ニ於ケル各分子ハ之ガ爲メニ第 119 圖ノ如キ應力ヲ出シテ之ニ抵抗シ各分子ノ此等ノ應力

第 119 圖



ノ總代力及總代偶力率(第 98 節ノ第二ノ 2 ノ  $M_x$  ノ如キモノ)ヲソレソレニ  $R_A$  及  $M_A$  トスレバ第 98 節ノ第一總說ノ下ニ掲ゲタル六式ノ第二及第四ノ如キ式ニヨリ

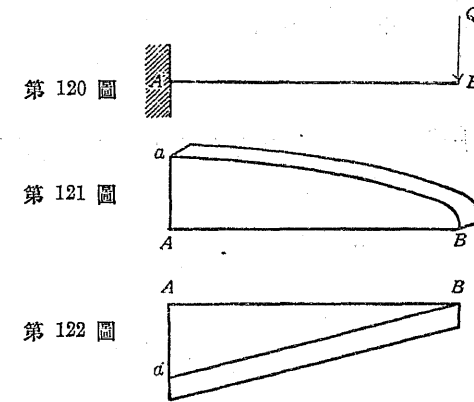
$$\begin{aligned}
 R_A &= -(A \text{ 於ケル右側ノ裁力}) \\
 &= A \text{ 於ケル左側ノ裁力} \\
 M_A &= -(A \text{ 於ケル右側ノ彎曲率}) \\
 &= A \text{ 於ケル左側ノ彎曲率}
 \end{aligned}$$

ナル關係ヲ有スベシ。實ニ突桁ハ其一端定端ナルガ爲メ此端ニ於テ他物ヨリ切斷シテ考フルニアラズンバ之ヲ獨立セル一個ノ

物體ナリトスルコト能ハズ而シテ此切斷ノ必然ノ結果トシテ斷口ニ於ケル應力ハ突桁ニ加ハレル外力ナリト考ヘザルベカラズ。上記ノ結果ハ此ノ如キ應力ヨリ脱化セル外力ハ一ノ總代力  $R_A$  及總代偶力率  $M_A$  ナルモノヲ有スルコトヲ示スモノニシテ此見地ヨリ觀察シタル  $R_A$  及  $M_A$  ナル偶力率ヲ有スル偶力ヲソレソレニ反力及反偶力ト謂フ。後章連桁ノ場合ニ於テモ其定端又ハ支點ニ於テハ常ニ此ノ如キ反力及反偶力アルモノトス、若シ實際ニ於テ此假定ニ反シ此等ノモノ存在セザルトキハ此假定ヨリ起レル演繹ノ結果トシテ其值零ナルコトヲ知り得ベキガ故ニ此ノ如キモノノ存在ノ假定ハ毫モ理論ノ精確ヲ破壊スルコトナシ。

107. 等強突桁. 第 99 節ト同様ノ方法ニヨリ次ノ結果ヲ得ベシ。

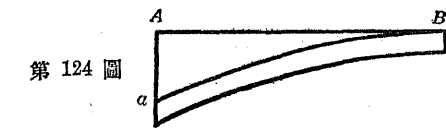
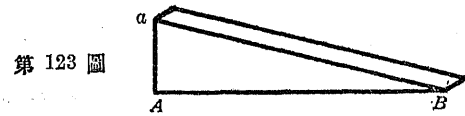
例 1. 断面矩形ニシテ荷重放端ニ於ケル一個ノ集中荷重ナルトキノ垂面應力強度ニ對スル等強突桁.  $b$  = 常數ナルトキハ突桁ノ形狀ハ第 121 圖ノ如ク、



$Ba$  ハ  $B$  = 頂點ヲ有スル一ノ拋物線タルベシ。

$h$  = 常數ナルトキハ第 122 圖ノ如ク  $Ba$  ハ一ノ直線タルベシ。

例 2. 断面矩形ニシテ荷重突桁ノ全長ニ渉レル等布荷重ナルトキノ垂面應力強度ニ對スル等強突桁.  $b = \text{常数}$ ナルトキハ突桁ノ形状ハ第 123 圖ノ如ク



Ba ハ一ノ直線タルベシ.

$h = \text{常数}$ ナルトキハ第 124 圖ノ如ク Ba ハ B チ頂點, BA チ切線トセル一ノ拋物線タルベシ.

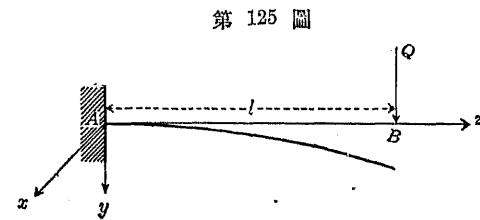
108. 突桁ノ經濟的形狀. 突桁ノ經濟的形狀ハ第 100 節ニ述べタルモノト異ルコトナシ.

109. 突桁ノ彎曲量, 傾斜角及曲率半徑, 第 101 節ニ於ケル (107), (108), (109) 式ハ亦突桁ニ適用スルコトヲ得ベク唯

$$\frac{1}{\rho} = + \frac{d^2\eta}{dz^2} = + \frac{M}{EI_x}$$

タルノ差アルノミ.

例 1. 放端ニ於テ一個ノ集中荷重ヲ受ケ中立軸ニ對スル彎曲剛率常数ナル突桁. 125 圖ニ於テ



$$M = Q(l - z)$$

ニシテ

$$EI_x \frac{d^2\eta}{dz^2} = M = Q(l - z)$$

ナルガ故ニ次ノ諸式ヲ得ベシ:—

$$125) \quad \begin{cases} \eta = \frac{Q}{6EI_x} z^2(3l - z) \\ \frac{d\eta}{dz} = \frac{Q}{2EI_x} z(2l - z) \\ \frac{d^2\eta}{dz^2} = \frac{1}{\rho} = \frac{Q}{EI_x}(l - z) \\ \eta_B = \frac{Ql^3}{3EI_x} \\ i_B = \frac{Ql^2}{2EI_x} \end{cases}$$

例 2. 全長ニ渉レル等布荷重ヲ受ケ中立軸ニ對スル彎曲剛率常数ナル突桁. 此場合ニ於テハ

$$M = \frac{q(l - z)^2}{2}$$

ナルガ故ニ次ノ諸式ヲ得ベシ:—

$$126) \quad \begin{cases} \eta = \frac{q}{24EI_x} z^2(6l^2 - 4lz + z^2) \\ \frac{d\eta}{dz} = \frac{q}{6EI_x} z(3l^2 - 3lz + z^2) \\ \frac{d^2\eta}{dz^2} = \frac{1}{\rho} = \frac{q}{2EI_x}(l - z)^2 \\ \eta_B = \frac{ql^4}{8EI_x} \\ i_B = \frac{ql^3}{6EI_x} \end{cases}$$

110. 突桁ニ於ケル働. 第 102 節ニ於ケル諸式ハ亦突桁ニ適用スルコトヲ得ベシ.

例. 放端ニ於テ一個ノ集中荷重ヲ受ケ中立軸ニ對スル彎曲剛率常数ナル突桁. 此場合ニ於テハ

$$M = Q(l - z)$$

ナルガ故ニ

$$127) \quad W = \frac{Q^2l^3}{6EI_x}$$

ヲ得 又

$$U = \frac{1}{2} Q \eta_B$$

ナル爲メ 113) 式ニヨリ

$$\eta_B = \frac{Ql^3}{3EI_z}$$

ヲ得; 是レ 125) 式ノ第四式ト同一ノモノナリ.

111. 突桁ノ設計. 突桁ハ第 103 節ト同様ノ方法ニヨリテ設計ス.

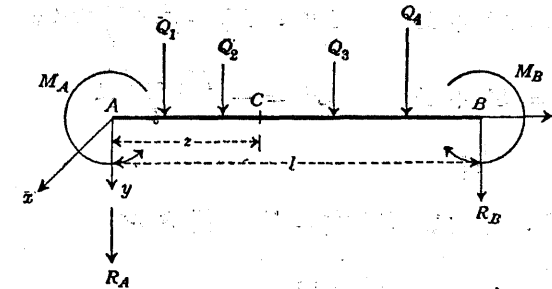
## 第 五 章

### 連 桁

#### 1. 總 說

112. 豫備定理. 其一. 第 58, 59, 60 圖ノ如キ連桁ノ一徑間第 126 圖ヲ取リ  $A, B$  端ニ於ケル反力及反偶力率ヲソレソレニ  $R_A, M_A; R_B,$

第 126 圖



$M_B$  トシ 總テノ荷重  $Q$  ノ和ヲ  $\Sigma Q$  トシ 總テノ  $Q$  ノ  $Ax$  線ニ對スル力率ノ和ヲ  $\Sigma m_A$  トスルトキハ

$$\mathcal{R}_y = R_A + R_B + \Sigma Q = 0$$

$$\mathcal{M}_{Ax} = M_A - M_B + \Sigma m_A - R_B l = 0$$

ナルガ故ニ

$$R_A = -\Sigma Q - \frac{\Sigma m_A}{l} - \frac{M_A - M_B}{l}$$

$$R_B = \frac{\Sigma m_A}{l} + \frac{M_A - M_B}{l}$$

ヲ得從テ  $AC$  間ニ於ケル總テノ  $Q$  ノ和ヲ  $\sum_A^C Q$ ,  $Cx$  線ニ對スル力率ノ和ヲ  $\sum_A^C m_C$  トスルトキハ

$$M = \sum_A^C m_C + M_A + R_A z$$

$$S = \sum_A^C Q + R_A$$

ヲ得.

此理ニヨリ  $R'_A, R'_B, M', S'$ ヲ以テソレソレニ  $AB$  單桁ナルトキ  $Q$ ニヨリテ生ズル反力, 彎曲率及裁力トスルトキハ

$$128) \begin{cases} R_A = R'_A + R''_A & R''_A = -\frac{M_A - M_B}{l} \\ R_B = R'_B + R''_B & R''_B = \frac{M_A - M_B}{l} \\ M = M' + M'' & M'' = M_A - \frac{M_A - M_B}{l} z \\ S = S' + S'' & S'' = -\frac{M_A - M_B}{l} \end{cases}$$

ヲ得.

113. 豫備定理. 其二. 107)式ニ於テ得タル

$$\frac{M}{EI_x} = \frac{d^2\eta}{dz^2}$$

ナル關係ハ一般ニ連桁ノ場合ニモ亦之ヲ適用スルコトヲ得ベク

此式ニヨリ

$$\int \frac{M}{EI_x} z dz = \int \frac{d^2\eta}{dz^2} z dz = l \left( \frac{d\eta}{dz} \right)_B - (\eta_B - \eta_A)$$

$$\int \frac{M}{EI_x} (l-z) dz = \int \frac{d^2\eta}{dz^2} (l-z) dz = -l \left( \frac{d\eta}{dz} \right)_A + (\eta_B - \eta_A)$$

ヲ得. 然ルニ 128)式ニヨリ

$$\int M z dz = M_A \frac{l^2}{2} - (M_A - M_B) \frac{l^2}{3} + \int M' z dz$$

$$\int M (l-z) dz = M_A \frac{l^2}{2} - (M_A - M_B) \frac{l^2}{6} + \int M' (l-z) dz$$

ナルガ故ニ 連桁ノ中立軸ニ對スル彎曲剛率常數ヲルトキハ

$$129) \quad l(M_A + 2M_B) = -\frac{6}{l} \int_0^l M' z dz + 6EI_x \left[ \left( \frac{d\eta}{dz} \right)_B - \frac{\eta_B - \eta_A}{l} \right]$$

$$130) \quad l(2M_A + M_B) = -\frac{6}{l} \int_0^l M' (l-z) dz + 6EI_x \left[ -\left( \frac{d\eta}{dz} \right)_A + \frac{\eta_B - \eta_A}{l} \right]$$

ヲ得.

特ニ荷重第104圖ノ如キ集中荷重ナルトキハ

$$M = -\frac{Qb}{l} z \quad 0 \leq z \leq a$$

$$= -\frac{Qa}{l} (l-z) \quad a \leq z \leq l$$

ニシテ從テ

$$\int_0^l M' z dz = -\int_0^a \frac{Qb}{l} z^2 dz - \int_a^l \frac{Qa}{l} (l-z) z dz$$

$$\int_0^l M' (l-z) dz = -\int_0^a \frac{Qb}{l} z (l-z) dz - \int_a^l \frac{Qa}{l} (l-z)^2 dz$$

ナルガ故ニ

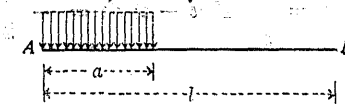
$$131) \quad \int_0^l M' z dz = -\frac{1}{6} Qab(2a+b)$$

$$132) \quad \int_0^l M' (l-z) dz = -\frac{1}{6} Qab(a+2b)$$

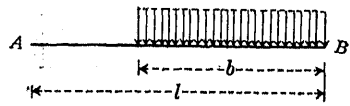
ヲ得.

更ニ荷重第127圖ノ如クナルトキハ

第 127 圖



第 128 圖



$$M = -\frac{qa(2l-a)}{2l}z + \frac{qz^2}{2} \quad 0 \leq z \leq a$$

$$= -\frac{qb^2}{2l}(l-z) \quad a \leq z \leq l$$

⇒

$$133) \quad \int_0^l M' z dz = -\frac{qa^2}{24}(2l^2 - a^2)$$

$$134) \quad \int_0^l M'(l-z) dz = -\frac{qa^2}{24}(2l-a)^2$$

ヲ得; 第 128 圖ノトキハ

$$M' = -\frac{qb^2}{2l}z \quad 0 \leq z \leq l-b$$

$$= -\frac{qb^2}{2l}z + \frac{q[z-(l-b)]^2}{2} \quad l-b \leq z \leq l$$

⇒

$$135) \quad \int_0^l M' z dz = -\frac{qb^2}{24}(2l-b)^2$$

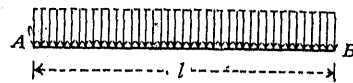
$$136) \quad \int_0^l M'(l-z) dz = -\frac{qb^2}{24}(2l^2 - b^2)$$

ヲ得; 第 129 圖ノトキハ 133), 134) 又ハ 135), 136) 式ニヨリ

$$137) \quad \int_0^l M' z dz = \int_0^l M'(l-z) dz = -\frac{ql^4}{24}$$

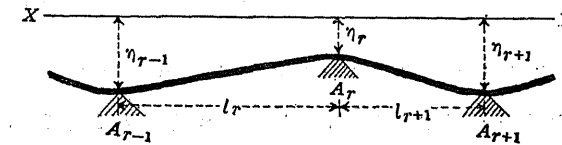
ヲ得.

第 129 圖



114. 三個反偶力ノ定理. 連桁 XYノ相隣セル二徑間  $l_r, l_{r+1}$  第 130

第 130 圖



圖ノ如ク荷重ヲ受クルノ後  $A_{r-1}, A_r, A_{r+1}$  ナル位置ニ來リタリトス  
但シ  $\eta_{r-1}, \eta_r, \eta_{r+1}$  ハ  $l_r, l_{r+1}$  ニ比シ極メテ小ナリトス. 連桁ノ中立軸  
ニ對スル彎曲剛率常數ナリトシ 129) 式ヲ  $l_r$  ニ, 130) 式ヲ  $l_{r+1}$  ニ適用  
スルトキハ

$$l_r(M_{r-1} + 2M_r) = -\frac{6}{l_r} \int_0^{l_r} M' z dz + 6EI_r \left[ \left( \frac{d\eta}{dz} \right)_{A_r} - \frac{\eta_r - \eta_{r-1}}{l_r} \right]$$

$$l_{r+1}(2M_r + M_{r+1}) = -\frac{6}{l_{r+1}} \int_0^{l_{r+1}} M'_{r+1}(l_{r+1} - z) dz + 6EI_{r+1} \left[ -\left( \frac{d\eta}{dz} \right)_{A_r} + \frac{\eta_{r+1} - \eta_r}{l_{r+1}} \right]$$

ナルガ故ニ此等ノ二式ノ和ヲ求ムルトキハ

$$138) \quad l_r M_{r-1} + 2(l_r + l_{r+1})M_r + l_{r+1} M_{r+1}$$

$$= -\frac{6}{l_r} \int_0^{l_r} M' z dz - \frac{6}{l_{r+1}} \int_0^{l_{r+1}} M'_{r+1}(l_{r+1} - z) dz - 6EI_r \left( \frac{\eta_r - \eta_{r-1}}{l_r} - \frac{\eta_{r+1} - \eta_r}{l_{r+1}} \right)$$

ヲ得. 之ヲ三個反偶力ノ定理ト謂フ.

例 1. 兩端及支點常ニ一直線上ニアリテ中立軸ニ對スル彎曲剛率常數ナル  
連桁. 此場合ニ於テハ

$$\frac{\eta_r - \eta_{r-1}}{l_r} = \frac{\eta_{r+1} - \eta_r}{l_{r+1}}$$

ナルガ故ニ

$$139) \quad l_r M_{r-1} + 2(l_r + l_{r+1})M_r + l_{r+1} M_{r+1} = -\frac{6}{l_r} \int_0^{l_r} M' z dz - \frac{6}{l_{r+1}} \int_0^{l_{r+1}} M'_{r+1}(l_{r+1} - z) dz$$

ナリ.

例 2. 兩端及支點常ニ一直線上ニアリ, 中立軸ニ對スル彎曲剛率常數ニシテ



集中荷重ヲ受クル連桁. 此場合ニ於テハ 131), 132), 133), 139) 式ニヨリ

$$140) \quad l_r M_{r-1} + 2(l_r + l_{r+1})M_r + l_{r+1} M_{r+1} = \frac{1}{l_r} \sum Qab(2a+b) + \frac{1}{l_{r+1}} \sum Qab(a+2l)$$

ヲ得.

例 3. 両端及支點常ニ一直線上ニアリ, 中立軸ニ對スル彎曲剛率常數ニシテ全長ニ涉レル等布荷重ヲ受クル連桁. 此場合ニ於テハ 137), 138), 139) 式ニヨリ

$$141) \quad l_r M_{r-1} + 2(l_r + l_{r+1})M_r + l_{r+1} M_{r+1} = \frac{1}{4} (q_r l_r^3 + q_{r+1} l_{r+1}^3)$$

ヲ得.

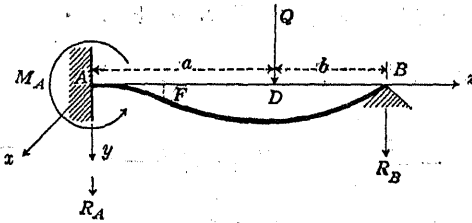
2. 一端定端, 他端支端ニシテ常ニ同高ニアリ中

立軸ニ對スル彎曲剛率常數ナル一徑間ノ連桁.

115. 一個ノ集中荷重ニ對スル反力, 反偶力, 彎曲率, 裁力, 彎曲量及傾斜角.

第一. 反力及反偶力率. 第 131 圖ニ於テ  $l = a + b$  トスルトキハ 130), 132) 式ニヨリ

第 131 圖



$$M_A = -\frac{3}{l^2} \int_0^l M^2(l-z) dz = \frac{1}{2l^2} Qab(a+2b)$$

ナルガ故ニ 128) 式ノ第一乃至第四式ニヨリ

$$142) \quad \begin{cases} R_A = -\frac{1}{2l^3} Qb(3a^2 + 6ab + 2b^2) = -\frac{1}{2l^3} Q(2l^3 - 3la^2 + a^3) \\ M_A = \frac{1}{2l^2} Qab(a+2b) = \frac{1}{2l^2} Qa(2l^2 - 3la + a^2) \\ R_B = -\frac{1}{2l^3} Qa^2(2a+3b) = -\frac{1}{2l^3} Qa^2(3l-a) \end{cases}$$

ヲ得.

特ニ  $a = b$  ナルトキハ

$$143) \quad \begin{cases} R_A = -\frac{11}{16} Q & M_A = \frac{3}{16} Ql \\ R_B = -\frac{5}{16} Q \end{cases}$$

ナリ.

第二. 彎曲率. 128) 式ノ第五第六式ニ 142) 式ノ第二式ヲ適用

シテ

$$144) \quad \begin{cases} M = -\frac{1}{2l^3} Q(l-a) [2l^2 + 2la - a^2]z - la(2l-a) & 0 \leq z \leq a \\ = -\frac{1}{2l^3} Qa^2(3l-a)(l-z) & a \leq z \leq l \end{cases}$$

ヲ得.

$z = \zeta l$  トスレバ 144) 式ノ第二式ハ常ニ負數ニシテ第一式ハ

$$(2l^2 + 2la - a^2)\zeta - a(2l-a) \leq 0$$

$$\text{即} \quad a \leq \frac{\sqrt{1-\zeta} - \sqrt{1-3\zeta}}{\sqrt{1-\zeta}} l$$

ナルトキ  $M$  正, 零又ハ負ナルガ故ニ

$$145) \quad AO = \frac{\sqrt{1-\zeta} - \sqrt{1-3\zeta}}{\sqrt{1-\zeta}} l \quad BO = \frac{\sqrt{1-3\zeta}}{\sqrt{1-\zeta}} l$$

トセバ  $0 \leq \zeta \leq \frac{1}{3}$  ニ對シテハ  $D$  ガ  $BO$  ノ間ニアルトキハ  $M$  ハ正トナリ,  $O$  ト一致スルトキハ零トナリ,  $AO$  ノ間ニアルトキハ負トナルベク;  $\frac{1}{3} \leq \zeta \leq 1$  ニ對シテハ  $M$  ハ常ニ負トナルベシ.

第三. 裁力. 128) 式ノ第七第八式ニ 142) 式ノ第二式ヲ適用シテ

$$146) \begin{cases} S = -\frac{1}{2l^3} Q (2l^3 - 3la^2 + a^3) & 0 \leq z \leq a \\ = +\frac{1}{2l^3} Q a^2 (3l - a) & a \leq z \leq l \end{cases}$$

ヲ得.

第四. 彎曲量及傾斜角. 144)式ヲ

$$\frac{d^2\eta}{dz^2} = \frac{M}{EI_x}$$

ニ適用シテ積分スルトキハ

$$147) \begin{cases} \eta = \frac{Q(l-a)}{12EI_x l^3} z^2 \left[ +3la(2l-a) - (2l^2 + 2la - a^2)z \right] & 0 \leq z \leq a \\ = \frac{Qa^2}{12EI_x l^3} (l-z) \left[ +3l^2(l-a) - (3l-a)(l-z)^2 \right] & a \leq z \leq l \\ \eta_D = \frac{Q}{12EI_x l^3} a^3 (l-a)^2 (4l-a) = \frac{Q}{12EI_x l^3} a^3 b^2 (3a+4b) \\ i_B = -\frac{Q}{4EI_x l} a^2 (l-a) = -\frac{Qa^2 b}{4EI_x l} \\ AF = \frac{a(2l-a)}{2l^2 + 2la - a^2} l = \frac{a(a+2b)}{3a^2 + 6ab + 2b^2} l \quad F \text{ハ反曲點} \end{cases}$$

ヲ得.

特ニ  $a=b$  ナルトキハ

$$148) \begin{cases} \eta = \frac{Q}{96EI_x} z^2 (9l - 11z) & 0 \leq z \leq \frac{l}{2} \\ = \frac{Q}{96EI_x} (l-z)(-2l^2 + 10lz - 5z^2) & \frac{l}{2} \leq z \leq l \\ \eta_D = \frac{7Ql^3}{768EI_x} \\ i_B = -\frac{Ql^2}{32EI_x} \\ AF = \frac{3}{11} l \end{cases}$$

ナリ.

116. 等布荷重ニ對スル反力,反偶力,彎曲率,裁力,彎曲量及傾斜角.

第一. 反力及反偶力率. 等布荷重ガ桁ノ全長ニ涉レルトキ反力及反偶力率ハ最大ニシテ130),137)式ニヨリ

$$M_A = -\frac{3}{l^2} \int_0^l M(l-z) dz = \frac{ql^2}{8}$$

ナルガ故ニ128)式ノ第一乃至第四式ニヨリ

$$149) \begin{cases} R_A = -\frac{5}{8} ql & M_A = \frac{1}{8} ql^2 \\ R_B = -\frac{3}{8} ql \end{cases}$$

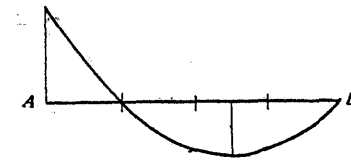
ヲ得.

第二. 彎曲率. 等布荷重ガ桁ノ全長ニ涉レルトキハ149)式ノ第二式ヲ128)式ノ第五第六式ニ適用シ

$$150) \quad M = -\frac{(4\zeta-1)(1-\zeta)}{8} ql^2$$

ヲ得,彎曲率圖ハ第132圖ノ如キ拋物線ヲナスベシ.  $ql^2$  ノ此係數

第132圖



ヲ示スルニ次ノ値ヲ有ス:-

$\zeta$	0	$\frac{1}{4}$	$\frac{5}{8}$	1
$x$	$+\frac{1}{8}$	0	$-\frac{9}{128}$	0
$M$	正最大		負最大	

桁ノ任意ノ部分ニ於テ荷重ヲ加フルコトヲ得ルトキハ  
 $0 \leq \zeta \leq \frac{1}{3}$  = 對シテハ最大(+M)ハ荷重ガ145)式ニヨリテ與ヘラ  
 レタルBOノ全長ニ涉リテAOノ間ニ存在セズ,最大(-M)ハ荷重ガ  
 AOノ全長ニ涉リテBOノ間ニ存在セザルトキニ起リ130),134),136)  
 式ヲ128)式ノ第五第六式ニ適用シ145)式ヲ用ヒテ

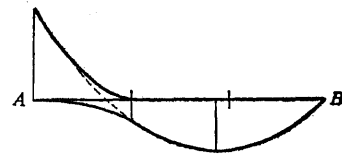
$$151) \quad \begin{cases} \text{最大}(+M) = + \frac{(1-3\zeta)^2}{8(1-\zeta)} ql^2 \\ \text{最大}(-M) = - \frac{\zeta^3}{2(1-\zeta)} ql^2 \end{cases}$$

ヲ得;  $\frac{1}{3} \leq \zeta \leq 1$  = 對シテハ最大(+M)ヲ生ズルコト能ハズ,最大  
 (-M)ハ荷重ガ桁ノ全長ニ涉レルトキニ起リ

$$152) \quad \begin{cases} \text{最大}(+M) = 0 \\ \text{最大}(-M) = - \frac{(4\zeta-1)(1-\zeta)}{8} ql^2 \end{cases}$$

ヲ得. 151),152)式ニヨリテ與ヘラレタル彎曲率圖ハ第133圖ノ如

第133圖



キ形ヲナシ,  $ql^2$ ノ最大(+M)ノ係數ヲx, 最大(-M)ノ係數ヲx'ヲ  
 以テ示ストキハx,x'ハ次ノ値ヲ有ス:-

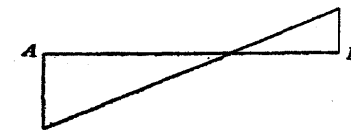
$\zeta$	0	$\frac{1}{3}$	$\frac{5}{8}$	1
x	$+\frac{1}{8}$	0		
x'	0	$-\frac{1}{36}$	$-\frac{9}{128}$	0
M	正最大		負最大	

第三. 裁力. 等布荷重ガ桁ノ全長ニ涉レルトキハ149)式ノ第  
 二式ヲ128)式ノ第七第八式ニ適用シ

$$153) \quad S = - \frac{5-8\zeta}{8} ql$$

ヲ得,裁力圖ハ第134圖ノ如キ直線ヲナスベシ,  $ql$ ノ此係數ヲx

第134圖



ヲ以テ示ストキハxハ次ノ値ヲ有ス:-

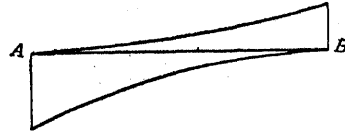
$\zeta$	0	$\frac{5}{8}$	1
x	$-\frac{5}{8}$	0	$+\frac{3}{8}$
S	負最大		正最大

桁ノ任意ノ部分ニ於テ荷重ヲ加フルコトヲ得ルトキハ  $z = \zeta l$   
 ナルCニ對シテハ最大(+S)ハ荷重ガACノ全長ニ涉リテBCノ  
 間ニ存在セズ,最大(-S)ハ荷重ガBCノ全長ニ涉リテACノ間ニ  
 存在セザルトキニ起リ130),134),136)式ヲ128)式ノ第七第八式ニ適  
 用シテ

$$154) \quad \begin{cases} \text{最大}(+S) = + \frac{(4-\zeta)\zeta^2}{8} ql \\ \text{最大}(-S) = - \frac{(1-\zeta)^2(5+2\zeta-\zeta^2)}{8} ql \end{cases}$$

ヲ得,裁力圖ハ第135圖ノ如キ四次曲線ヲナスベシ.  $ql$ ノ最大(+S)

第 135 圖



ノ係數ヲ  $x$ , 最大(- $S$ )ノ係數ヲ  $x'$ ヲ以テ示ストキハ  $x, x'$ ハ次ノ値ヲ有ス:-

$\zeta$	0	1
$x$	0	$+\frac{3}{8}$
$x'$	$-\frac{5}{8}$	0
$S$	負最大	正最大

第四. 彎曲量及傾斜角. 等布荷重ガ桁ノ全長ニ涉レルトキハ 150) 式ヲ

$$\frac{d^2\eta}{dz^2} = \frac{M}{EI_x}$$

ニ適用シテ積分スルトキハ

$$155) \begin{cases} \eta = \frac{q}{48EI_x} z^2(l-z)(3l-2z) \\ i_B = -\frac{ql^3}{48EI_x} \\ AF = \frac{l}{4} \quad F \text{ハ反曲點} \end{cases}$$

ヲ得.

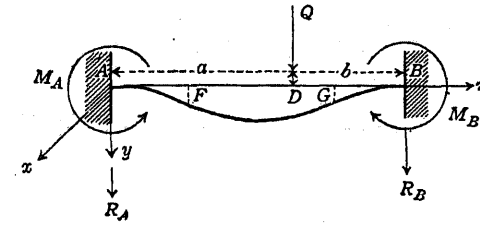
3. 兩端定端ニシテ常ニ同高ニアリ中立軸ニ對スル.

彎曲剛率常數ナル一徑間ノ連桁.

117. 一個ノ集中荷重ニ對スル反力,反偶力,彎曲率裁力及彎曲量.

第一. 反力及反偶力率. 第 136 圖ニ於テ  $l = a + b$  トスルトキハ 129), 130), 131), (132) 式ニヨリ

第 136 圖



$$M_A + 2M_B = -\frac{6}{l^2} \int_0^l M'z dz = \frac{1}{l^2} Qab(2a+b)$$

$$2M_A + M_B = -\frac{6}{l^2} \int_0^l M'(l-z) dz = \frac{1}{l^2} Qab(a+2b)$$

ナルガ故ニ 128) 式ノ第一乃至第四式ニヨリ

$$156) \begin{cases} R_A = -\frac{1}{l^3} Qb^2(3a+b) = -\frac{1}{l^3} Q(l^3 - 3la^2 + 2a^3) \\ M_A = \frac{1}{l^2} Qab^2 = \frac{1}{l^2} Qa(l-a)^2 \\ R_B = -\frac{1}{l^3} Qa^2(a+3b) = -\frac{1}{l^3} Q(3la^2 - 2a^3) \\ M_B = \frac{1}{l^2} Qa^2b = \frac{1}{l^2} Qa^2(l-a) \end{cases}$$

ヲ得.

特ニ  $a = b$  ナルトキハ

$$157) \begin{cases} R_A = R_B = -\frac{1}{2} Q \\ M_A = M_B = \frac{1}{8} Ql \end{cases}$$

ナリ。

第二. 彎曲率. 128)式ノ第五第六式 = 156)式ノ第二第四式ヲ適用シテ

$$158) \begin{cases} M = -\frac{1}{l^3} Q(l-a)^2 [-la + (l+2a)z] & 0 \leq z \leq a \\ = -\frac{1}{l^3} Qa^2 [l(2l-a) - (3l-2a)z] \\ = -\frac{1}{l^3} Qa^2 [(l-a)(l-2z) + l(l-z)] & a \leq z \leq l \end{cases}$$

ヲ得.

$z = \zeta l$  トスレバ  $0 \leq \zeta \leq \frac{1}{2}$  = 對シテ 158)式ノ第二式ハ常ニ負數ニシテ第一式ハ

$$(l+2a)\zeta - a \leq 0$$

$$\text{即} \quad a \leq \frac{\zeta}{1-2\zeta} l$$

ナルトキ  $M$  正零又ハ負ナルガ故ニ

$$159) \quad AO = \frac{\zeta}{1-2\zeta} l \quad BO = \frac{1-3\zeta}{1-2\zeta} l$$

トセバ  $0 \leq \zeta \leq \frac{1}{3}$  = 對シテハ  $D$  ガ  $BO$  ノ間ニアルトキハ  $M$  ハ正トナリ,  $O$  ト一致スルトキハ零トナリ,  $AO$  ノ間ニアルトキハ負トナルベク;  $\frac{1}{3} \leq \zeta \leq \frac{1}{2}$  = 對シテハ  $M$  ハ常ニ負トナルベシ.

第三. 裁力. 128)式ノ第七第八式 = 156)式ノ第二第四式ヲ適用シテ

$$160) \begin{cases} S = -\frac{1}{l^3} Q(l^3 - 3la^2 + 2a^3) & 0 \leq z \leq a \\ = +\frac{1}{l^3} Q(3la^2 - 2a^3) & a \leq z \leq l \end{cases}$$

ヲ得.

第四. 彎曲量. 158)式ヲ

$$\frac{d^2\eta}{dz^2} = \frac{M}{EI_x}$$

ニ適用シテ積分スルトキハ

$$161) \begin{cases} \eta = \frac{Q(l-a)^2}{6EI_x l^3} z^2 [3la - (l+2a)z] & 0 \leq z \leq a \\ = \frac{Qa^2}{6EI_x l^3} (l-z)^2 [3l(l-a) - (3l-2a)(l-z)] & a \leq z \leq l \\ \eta_D = \frac{Q}{3EI_x l^3} a^3 (l-a)^3 = \frac{Qa^3 b^3}{3EI_x l} \\ AF = \frac{a}{l+2a} l = \frac{a}{3a+b} l \\ BG = \frac{l-a}{3l-2a} l = \frac{b}{a+3b} l \end{cases} \quad F, G \text{ハ反曲點}$$

ヲ得.

特ニ  $a=b$  ナルトキハ

$$162) \begin{cases} \eta = \frac{Q}{48EI_x} z^2 (3l-4z) & 0 \leq z \leq \frac{l}{2} \\ = \frac{Q}{48EI_x} (l-z)^2 (-l+4z) & \frac{l}{2} \leq z \leq l \\ \eta_D = \frac{Ql^3}{192EI_x} \\ AF = BG = \frac{l}{4} \end{cases}$$

ナリ.

118. 等布荷重ニ對スル反力, 反偶力, 彎曲率, 裁力及彎曲量.

第一. 反力及反偶力率. 等布荷重ガ桁ノ全長ニ涉レルトキ反力及反偶力率ハ最大ニシテ 129), 130), 137)式ニヨリ

$$M_A + 2M_B = -\frac{6}{l^2} \int_0^l M z dz = \frac{ql^2}{4}$$

$$2M_A + M_B = -\frac{6}{l^2} \int_0^l M'(l-z) dz = \frac{ql^2}{4}$$

ナルガ故 = 128) 式ノ第一乃至第四式 = ヨリ

$$163) \quad \begin{cases} R_A = R_B = -\frac{1}{2} ql \\ M_A = M_B = \frac{1}{12} ql^2 \end{cases}$$

ヲ得.

第二. 彎曲率. 等布荷重ガ桁ノ全長ニ涉レルトキハ 163) 式ノ第三第四式ヲ 128) 式ノ第五第六式 = 適用シ

$$164) \quad M = \frac{1 - 6\zeta + 6\zeta^2}{12} ql^2$$

ヲ得, 彎曲率圖ハ第 137 圖ノ如キ拋物線ヲナスベシ.  $ql^2$  ノ此係數

第 137 圖



ヲ  $x$  ヲ以テ示ストキハ  $x$  ハ次ノ値ヲ有ス;—

$\zeta$	0	$\frac{3-\sqrt{3}}{6}$	$\frac{1}{2}$	$\frac{3+\sqrt{3}}{6}$	1
$x$	$+\frac{1}{12}$	0	$-\frac{1}{24}$	0	$+\frac{1}{12}$
$M$	正最大		負最大		正最大

桁ノ任意ノ部分ニ於テ荷重ヲ加フルコトヲ得ルトキハ  
 $0 \leq \zeta \leq \frac{1}{3}$  = 對シテハ最大(+M)ハ荷重ガ159)式ニヨリテ與ヘラレタル BO ノ全長ニ涉リテ AO ノ間ニ存在セズ, 最大(-M)ハ荷

重ガ AO ノ全長ニ涉リテ BO ノ間ニ存在セザルトキニ起リ 129), 130), 133), 134), 135), 136) 式ヲ 128) 式ノ第五第六式 = 適用シ 159) 式ヲ用ヒテ

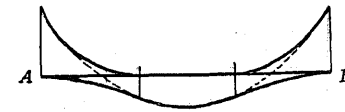
$$165) \quad \begin{cases} \text{最大}(+M) = +\frac{(1-3\zeta^4)}{12(1-2\zeta)^3} ql^2 \\ \text{最大}(-M) = -\frac{(8-39\zeta+48\zeta^2)\zeta^3}{12(1-2\zeta)^3} ql^2 \end{cases}$$

ヲ得;  $\frac{1}{3} \leq \zeta \leq \frac{1}{2}$  = 對シテハ最大(+M)ヲ生ズルコト能ハズ, 最大(-M)ハ荷重ガ桁ノ全長ニ涉レルトキニ起リ

$$166) \quad \begin{cases} \text{最大}(+M) = 0 \\ \text{最大}(-M) = \frac{1-\zeta+6\zeta^2}{12} ql^2 \end{cases}$$

ヲ得. 165), 166) 式ニヨリテ與ヘラレタル彎曲率圖ハ第 138 圖ノ如

第 138 圖



キ形ヲナシ  $ql^2$  ノ最大(+M)ノ係數ヲ  $x$ , 最大(-M)ノ係數ヲ  $x'$  ヲ以テ示ストキハ  $x, x'$  ハ次ノ値ヲ有ス:—

$\zeta$	0	$\frac{1}{3}$	$\frac{1}{2}$	$\frac{2}{3}$	1
$x$	$+\frac{1}{12}$	0		0	$+\frac{1}{12}$
$x'$	0	$-\frac{1}{36}$	$-\frac{1}{24}$	$-\frac{1}{36}$	0
$M$	正最大		負最大		正最大

$\frac{1}{2} \leq \zeta \leq 1$  = 對スル  $M$  ハ  $0 \leq \zeta \leq \frac{1}{2}$  = 對スル  $M$  ト,  $\zeta = \frac{1}{2}$  = 對

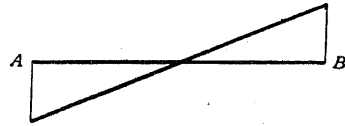
シテ對稱ナル値ヲ有ス。

第三. 裁力. 等布荷重ガ桁ノ全長ニ涉レルトキハ 156)式ノ第二第四式ヲ 128)式ノ第七第八式ニ適用シ

$$167) \quad S = -\frac{1-2\zeta}{2} ql$$

ヲ得裁力圖ハ第139圖ノ如キ直線ヲナスベシ。  $ql$  ノ此係數ヲ  $x$  ヲ

第 139 圖



以テ示ストキハ  $x$  ハ次ノ値ヲ有ス:—

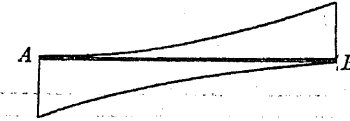
$\zeta$	0	$\frac{1}{2}$	1
$x$	$-\frac{1}{2}$	0	$+\frac{1}{2}$
$S$	負最大		正最大

桁ノ任意ノ部分ニ於テ荷重ヲ加フルコトヲ得ルトキハ  $z = \zeta l$  ナル  $C$  ニ對シテハ最大(+ $S$ )ハ荷重ガ  $AC$  ノ全長ニ涉リテ  $BC$  ノ間ニ存在セズ,最大(- $S$ )ハ荷重ガ  $BC$  ノ全長ニ涉リテ  $AC$  ノ間ニ存在セザルトキニ起リ 129), 130), 133), 134), 135), 136) 式ヲ 128)式ノ第七第八式ニ適用シテ

$$168) \quad \begin{cases} \text{最大}(+S) = +\frac{(2-\zeta)\zeta^2}{2} ql \\ \text{最大}(-S) = -\frac{(1+\zeta)(1-\zeta)^2}{2} ql \end{cases}$$

ヲ得裁力圖ハ第140圖ノ如キ四次曲線ヲナスベシ。  $ql$  ノ最大(+ $S$ )

第 140 圖



ノ係數ヲ  $x$ , 最大(- $S$ )ノ係數ヲ  $x'$  以テ示ストキハ  $x, x'$  ハ次ノ値ヲ有ス:—

$\zeta$	0	1
$x$	0	$+\frac{1}{2}$
$x'$	$-\frac{1}{2}$	0
$S$	負最大	正最大

第四. 彎曲量. 等布荷重ガ桁ノ全長ニ涉レルトキハ 164)式ヲ

$$\frac{d^2\eta}{dz^2} = \frac{M}{EI_x}$$

ニ適用シテ積分スルトキハ

$$169) \quad \begin{cases} \eta = \frac{q}{24EI_x} z^2(l-z)^2 \\ AF = BG = \left(1 - \frac{1}{\sqrt{3}}\right) \frac{l}{2} \end{cases}$$

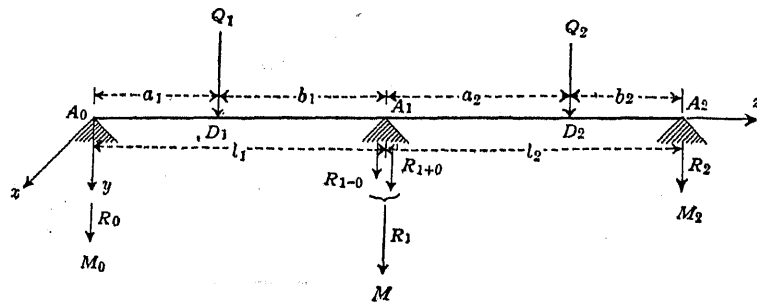
ヲ得.

4. 兩端支端ニシテ兩端及支點常ニ一直線上ニアリ中立軸ニ對スル彎曲剛率常數ニシテ相等シキ二徑間ノ連桁.

119. 一個ノ集中荷重ニ對スル反力,反偶力彎曲率及裁力.

第一. 反力及反偶力率. 第141圖ニ於テ  $l_1 = l_2 = l$  トスレバ

第 141 圖



170)  $M_0 = 0, \quad M_2 = 0$

ニシテ 140) 式 = ヨリ

$$4M_1 = \frac{1}{l^2} [Q_1 a_1 b_1 (2a_1 + b_1) + Q_2 a_2 b_2 (a_2 + 2b_2)]$$

トナリ  $R'_0, R'_{1-0}, R'_{1+0}, R'_2$  フ  $l_1, l_2$  ガ單桁ナルトキノ反力トセバ 128)

式ノ第一乃至第四式 = ヨリ

$$R_0 = R'_0 + \frac{M_1}{l}$$

$$R_{1-0} = R'_{1-0} - \frac{M_1}{l}$$

$$R_1 = R_{1-0} + R_{1+0}$$

$$R_{1+0} = R'_{1+0} - \frac{M_1}{l}$$

$$R_2 = R'_2 + \frac{M_1}{l}$$

ナルガ故 =

$$\begin{cases} R_0 = \frac{1}{4l^3} [-Q_1 b_1 (2a_1^2 + 7a_1 b_1 + 4b_1^2) + Q_2 a_2 b_2 (a_2 + 2b_2)] \\ = \frac{1}{4l^3} [-Q_1 (4l^3 - 5l^2 a_1 + a_1^3) + Q_2 a_2 (2l^2 - 3la_2 + a_2^2)] \\ R_{1-0} = \frac{1}{4l^3} [-Q_1 a_1 (4a_1^2 + 10a_1 b_1 + 5b_1^2) - Q_2 a_2 b_2 (a_2 + 2b_2)] \end{cases}$$

171)

$$\begin{cases} = \frac{1}{4l^3} [-Q_1 a_1 (5l^2 - a_1^2) - Q_2 a_2 (2l^2 - 3la_2 + a_2^2)] \\ R_{1+0} = \frac{1}{4l^3} [-Q_1 a_1 b_1 (2a_1 + b_1) - Q_2 b_2 (5a_2^2 + 10a_2 b_2 + 4b_2^2)] \\ = \frac{1}{4l^3} [-Q_1 a_1 (l^2 - a_1^2) - Q_2 (4l^3 - 2l^2 a_2 - 3la_2^2 + a_2^3)] \\ R_1 = \frac{1}{2l^3} [-Q_1 a_1 (2a_1^2 + 6a_1 b_1 + 3b_1^2) - Q_2 b_2 (3a_2^2 + 6a_2 b_2 + 2b_2^2)] \\ = \frac{1}{2l^3} [-Q_1 a_1 (3l^2 - a_1^2) - Q_2 (2l^3 - 3la_2^2 + a_2^3)] \\ R_2 = \frac{1}{4l^3} [Q_1 a_1 b_1 (2a_1 + b_1) - Q_2 a_2 (4a_2^2 + 7a_2 b_2 + 2b_2^2)] \\ = \frac{1}{4l^3} [Q_1 a_1 (l^2 - a_1^2) - Q_2 a_2 (2l^2 + 3la_2 - a_2^2)] \\ M_1 = \frac{1}{4l^2} [Q_1 a_1 b_1 (2a_1 + b_1) + Q_2 a_2 b_2 (a_2 + 2b_2)] \\ = \frac{1}{4l^2} [Q_1 a_1 (l^2 - a_1^2) + Q_2 a_2 (2l^2 - 3la_2 + a_2^2)] \end{cases}$$

ヲ得.

第二. 彎曲率. 徑間  $l_1$  = 對シテ 171) 式ノ第六式及 170) 式ヲ 128) 式ノ第五第六式 = 適用シテ  $Q_1$  = ヨリテ生ズル彎曲率ヲ  $M, Q_2$  = ヨリテ生ズルモノヲ  $M_{II}$  トスレバ

$$172) \begin{cases} M = M_I + M_{II} \\ M_I = -\frac{1}{4l^3} Q_1 (l - a_1) (4l^2 - la_1 - a_1^2) z & 0 \leq z \leq a_1 \\ = -\frac{1}{4l^3} Q_1 a_1 [4l^3 - (5l^2 - a_1^2) z] & a_1 \leq z \leq l \\ M_{II} = \frac{1}{4l^3} Q_2 a_2 (2l^2 - 3la_2 + a_2^2) z \end{cases}$$

ヲ得.

$z = \zeta l$  トスレバ 172) 式ノ第二式ハ常ニ負數,  $M_{II}$  ハ常ニ正數ニシテ第三式ハ



$$4l^2 - (5l^2 - a_1^2)\zeta \leq 0$$

即  $a_1 \leq \sqrt{\frac{5\zeta - 4}{\zeta}} l$

ナルトキ  $M$  正、零又ハ負ナルガ故ニ

$$173) \quad A_0 O = \frac{\sqrt{5\zeta - 4}}{\sqrt{\zeta}} l \quad A_1 O = \frac{\sqrt{\zeta} - \sqrt{5\zeta - 4}}{\sqrt{\zeta}}$$

トセバ  $Q_1$  ノ爲メ  $0 \leq \zeta \leq \frac{4}{5}$  ニ對シテハ  $M$  ハ常ニ負トナリ;

$\frac{4}{5} \leq \zeta \leq 1$  ニ對シテハ  $D_1$  ガ  $A_0 O$  ノ間ニアルトキハ  $M$  ハ正トナリ。  $O$  ト一致スルトキハ零トナリ、  $A_1 O$  ノ間ニアルトキハ負トナルベシ。

徑間  $l_2$  ニ對スル  $M$  ハ徑間  $l_1$  ニ對スル  $M$  ト  $A_1$  ニ對シテ對稱ナル値ヲ有ス。

第三. 裁力. 徑間  $l_1$  ニ對シテ 171) 式ノ第六式及 170) 式ヲ 128) 式ノ第七第八式ニ適用シ  $Q_1$  ニヨリテ生ズル裁力ヲ  $S, Q_2$  ニヨリテ生ズルモノヲ  $S''$  トスレバ

$$174) \quad \begin{cases} S = S_1 + S'' \\ S_1 = -\frac{1}{4l^3} Q_1 (l - a_1)(4l^2 - la_1 - a_1^2) & 0 \leq z \leq a_1 \\ \quad = \frac{1}{4l^3} Q_1 a_1 (5l^2 - a_1^2) & a_1 \leq z \leq l \\ S'' = \frac{1}{4l^3} Q_2 a_2 (2l^2 - 3la_2 + a_2^2) \end{cases}$$

ヲ得.

徑間  $l_2$  ニ對スル  $S$  ハ徑間  $l_1$  ニ對スル  $S$  ト左右反對ニ考フベシ。

120. 等布荷重ニ對スル反力、反偶力、彎曲率及裁力.

第一. 反力及反偶力率. 等布荷重ガ  $l_1$  及  $l_2$  ノ全長ニ涉レルトキハ

$$175) \quad M_0 = 0, \quad M_2 = 0$$

ニシテ 141) 式ニヨリ

$$4M_1 = \frac{ql^2}{2}$$

ナルガ故ニ 128) 式ノ第一乃至第四式ニヨリ

$$176) \quad \begin{cases} R_0 = -\frac{3}{8} ql \\ R_{1-0} = -\frac{5}{8} ql \\ R_{1+0} = -\frac{5}{8} ql \\ R_2 = -\frac{3}{8} ql \\ M_1 = \frac{1}{8} ql^2 \end{cases} \quad R_1 = -\frac{5}{4} ql$$

ヲ得.

桁ノ任意ノ部分ニ於テ荷重ヲ加フルコトヲ得ルトキハ 171) 式ニヨリ最大 (+  $R_0$ ) 又ハ最大 (-  $R_2$ ) ハ荷重ガ  $A_1 A_2$  ノ全長ニ涉リテ  $A_0 A_1$  ノ間ニ存在セズ; 最大 (-  $R_2$ ) 又ハ最大 (+  $R_2$ ) ハ荷重ガ  $A_0 A_1$  ノ全長ニ涉リテ  $A_1 A_2$  ノ間ニ存在セザルトキニ起リ;  $R_1$  ハ常ニ負、  $M_1$  ハ常ニ正ニシテ共ニ荷重ガ桁ノ全長ニ涉レルトキ最大ニシテ; 139),

137) 式ヲ 128) 式ノ第一乃至第四式ニ適用シテ

$$177) \quad \begin{cases} \text{最大} (+ R_0) = +\frac{1}{16} ql & \text{最大} (- R_0) = -\frac{7}{16} ql \\ \text{最大} (+ R_1) = 0 & \text{最大} (- R_1) = -\frac{5}{4} ql \\ \text{最大} (+ R_2) = +\frac{1}{16} l & \text{最大} (- R_2) = -\frac{7}{16} ql \\ \text{最大} M_1 = \frac{1}{8} ql^2 \end{cases}$$

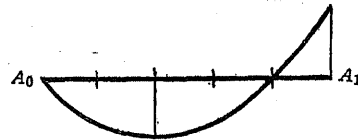
ヲ得.

第二. 彎曲率. 徑間  $l_1$  = 對シ等布荷重ガ  $l_1$  及  $l_2$  ノ全長ニ涉レルトキハ 176) 式ノ第六式ヲ 128) 式ノ第五第六式ニ適用シ

$$178) \quad M = -\frac{(3-4\zeta)\zeta}{8} ql^2$$

ヲ得, 彎曲率圖ハ第 142 圖ノ如キ拋物線ヲナスベシ.  $pl^2$  ノ此係數

第 142 圖



ヲ  $x$  ヲ以テ示ストキハ  $x$  ハ次ノ値ヲ有ス:—

$\zeta$	0	$\frac{3}{8}$	$\frac{3}{4}$	1
$x$	0	$-\frac{9}{128}$	0	$+\frac{1}{8}$
$M$		負最大		正最大

桁ノ任意ノ部分ニ於テ荷重ヲ加フルコトヲ得ルキハ  $0 \leq \zeta \leq \frac{4}{5}$  = 對シテハ最大(+M)ハ荷重ガ  $A_1A_2$  ノ全長ニ涉リテ  $A_0A_1$  ノ間ニ存在セズ, 最大(-M)ハ荷重ガ  $A_0A_1$  ノ全長ニ涉リテ  $A_1A_2$  ノ間ニ存在セザルトキニ起リ 175), 139), 137) 式ヲ 128) 式ノ第五第六式ニ適用シテ

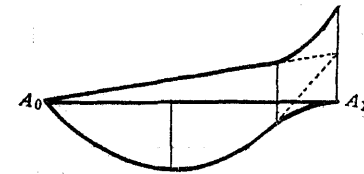
$$179) \quad \begin{cases} \text{最大}(+M) = +\frac{\zeta}{16} ql^2 \\ \text{最大}(-M) = -\frac{(7-8\zeta)\zeta}{16} ql^2 \end{cases}$$

ヲ得;  $\frac{4}{5} \leq \zeta \leq 1$  = 對シテハ最大(+M)ハ荷重ガ  $A_1A_2$  及 173) 式ニヨリテ與ヘラレタル  $A_0O$  ノ全長ニ涉リテ  $A_1O$  ノ間ニ存在セズ, 最大(-M)ハ荷重ガ  $A_1O$  ノ全長ニ涉リテ  $A_0O$  及  $A_1A_2$  ノ間ニ存在セザルトキニ起リ 175), 139), 133), 134), 135), 136) 式ヲ 128) 式ノ第五第六式ニ適用シ 173) 式ヲ用ヒテ

$$180) \quad \begin{cases} \text{最大}(+M) = \frac{\zeta^2 + (5\zeta - 4)^2}{16\zeta} ql^2 \\ \text{最大}(-M) = -\frac{(2-\zeta)(1-\zeta)^2}{2\zeta} ql^2 \end{cases}$$

ヲ得. 179), (180) 式ニヨリテ與ヘラレタル彎曲率圖ハ第 143 圖ノ如

第 143 圖



キ形ヲナシ  $ql^2$  ノ最大(+M)ノ係數ヲ  $x$ , 最大(-M)ノ係數ヲ  $x'$  ヲ以テ示ストキハ  $x, x'$  ハ次ノ値ヲ有ス:—

$\zeta$	0	$\frac{7}{16}$	$\frac{4}{5}$	1
$x$	0		$+\frac{1}{20}$	$+\frac{1}{8}$
$x'$	0	$-\frac{49}{512}$	$-\frac{3}{100}$	0
$M$		負最大		正最大

徑間  $l_2$  = 對スル  $M$  ハ 徑間  $l_1$  = 對スル  $M$  ト  $A_1$  = 對シテ對稱ナル値ヲ有ス.

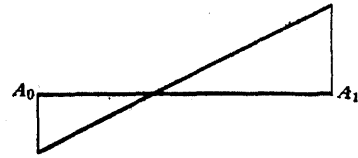
第三. 裁力. 徑間  $l_1$  = 對シ等布荷重ガ  $l_1$  及  $l_2$  ノ全長ニ涉レル

トキハ 176) 式ノ第六式ヲ 128) 式ノ第七第八式ニ適用シ

$$181) \quad S = -\frac{3-8\zeta}{8} ql$$

ヲ得裁力圖ハ第 144 圖ノ如キ直線ヲナスベシ.  $ql$  ノ此係數ヲ  $x$

第 144 圖



ヲ以テ示ストキハ  $x$  ハ次ノ値ヲ有ス;—

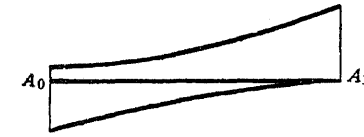
$\zeta$	0	$\frac{3}{8}$	1
$x$	$-\frac{3}{8}$	0	$+\frac{5}{8}$
$S$	負最大		正最大

桁ノ任意ノ部分ニ於テ荷重ヲ加フルコトヲ得ルトキハ  $z = \zeta l$  ナル  $C$  ニ對シテハ最大(+ $S$ )ハ荷重ガ  $A_0C$  ト  $A_1A_2$  トノ全長ニ涉リテ  $A_1C$  ノ間ニ存在セズ, 最大(- $S$ )ハ荷重ガ  $A_1C$  ノ全長ニ涉リテ  $A_0C$  ト  $A_1A_2$  トノ間ニ存在セザルトキニ起リ 175), 139), 133), 134), 135), 136) 式ヲ 128) 式ノ第七第八式ニ適用シテ

$$182) \quad \begin{cases} \text{最大}(+S) = \frac{1+10\zeta^2-\zeta^4}{16} ql \\ \text{最大}(-S) = -\frac{(7-2\zeta-\zeta^2)(1-\zeta)^2}{16} ql \end{cases}$$

ヲ得裁力圖ハ第 145 圖ノ如キ四次曲線ヲナスベシ.  $ql$  ノ最大(+ $S$ )ノ係數ヲ  $x$ , 最大(- $S$ )ノ係數ヲ  $x'$  ヲ以テ示ストキハ  $x, x'$  ハ次ノ値

第 145 圖



ヲ有ス:—

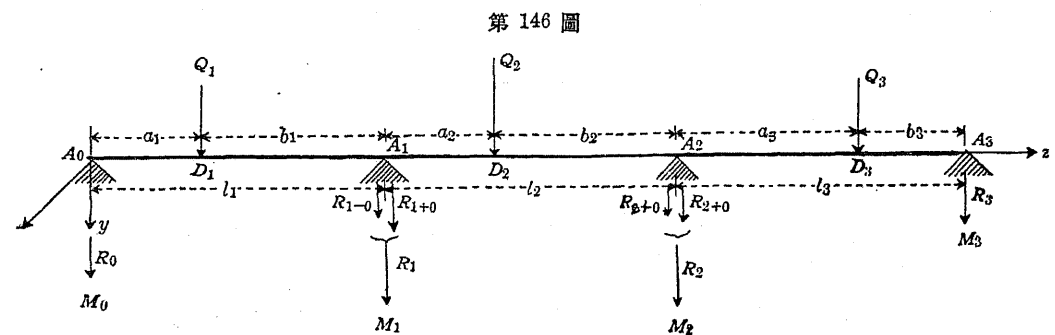
$\zeta$	0	1
$x$	$+\frac{1}{16}$	$+\frac{5}{8}$
$x'$	$-\frac{7}{16}$	0
$S$	負最大	正最大

徑間  $l_2$  = 對スル  $S$  ハ徑間  $l_1$  = 對スル  $S$  ト左右反對ニ考フベシ

5. 兩端支端ニシテ兩端及支點常ニ一直線上ニアリ中立軸ニ對スル彎曲剛率常數ニシテ相等シキ三徑間ノ連桁.

121. 一個ノ集中荷重ニ對スル反力, 反偶力, 彎曲率及裁力.

第一. 反力及反偶力率. 第 146 圖ニ於テ  $l_1 = l_2 = l_3 = l$  トスル



$$183) \quad M_0 = 0, \quad M_3 = 0$$

ニシテ 140) 式ニヨリ

$$4M_1 + M_2 = \frac{1}{l^2} [Q_1 a_1 b_1 (2a_1 + b_1) + Q_2 a_2 b_2 (a_2 + 2b_2)]$$

$$M_1 + 4M_2 = \frac{1}{l^2} [Q_2 a_2 b_2 (2a_2 + b_2) + Q_3 a_3 b_3 (a_3 + 2b_3)]$$

トナリ  $R'_0, R'_{1-0}, R'_{1+0}, R'_{2-0}, R'_{2+0}, R'_3$  ヲ  $l_1, l_2, l_3$  ガ單桁ナルトキノ反力トセバ 128) 式ノ第一乃至第四式ニヨリ

$$R_0 = R'_0 + \frac{M_1}{l}$$

$$R_{1-0} = R'_{1-0} - \frac{M_1}{l}$$

$$R_{1+0} = R'_{1+0} - \frac{M_1 - M_2}{l}$$

$$R_{2-0} = R'_{2-0} + \frac{M_1 - M_2}{l}$$

$$R_{2+0} = R'_{2+0} - \frac{M_2}{l}$$

$$R_3 = R'_3 + \frac{M_2}{l}$$

$$R_1 = R_{1-0} + R_{1+0}$$

$$R_2 = R_{2-0} + R_{2+0}$$

ナルガ故ニ

$$\left\{ \begin{aligned} R_0 &= \frac{1}{15l^3} [-Q_1 b_1 (7a_1^2 + 26a_1 b_1 + 15b_1^2) + Q_2 a_2 b_2 (2a_2 + 7b_2) - Q_3 a_3 b_3 (a_3 + 2b_3)] \\ &= \frac{1}{15l^3} [-Q_1 (15l^3 - 19l^2 a_1 + 4a_1^2) + Q_2 a_2 (7l^2 - 12la_2 + 5a_2^2) - Q_3 a_3 (2l^2 - 3la_3 + a_3^2)] \\ R_{1-0} &= \frac{1}{15l^3} [-Q_1 a_1 (15a_1^2 + 38a_1 b_1 + 19b_1^2) - Q_2 a_2 b_2 (2a_2 + 7b_2) + Q_3 a_3 b_3 (a_3 + 2b_3)] \\ &= \frac{1}{15l^3} [-Q_1 a_1 (19l^2 - 4a_1^2) - Q_2 a_2 (7l^2 - 12la_2 + 5a_2^2) + Q_3 a_3 (2l^2 - 3la_3 + a_3^2)] \\ R_{1+0} &= \frac{1}{3l^3} [-Q_1 a_1 b_1 (2a_1 + b_1) - Q_2 b_2 (2a_2^2 + 7a_2 b_2 + 3b_2^2) + Q_3 a_3 b_3 (a_3 + 2b_3)] \end{aligned} \right.$$

$$\left. \begin{aligned} &= \frac{1}{3l^3} [-Q_1 a_1 (l^2 - a_1^2) - Q_2 (3l^3 - 2l^2 a_2 - 3la_2^2 + 2a_2^3) + Q_3 a_3 (2l^2 - 3la_3 + a_3^2)] \\ R_1 &= \frac{1}{5l^3} [-Q_1 a_1 (5a_1^2 + 16a_1 b_1 + 8b_1^2) - Q_2 b_2 (4a_2^2 + 14a_2 b_2 + 5b_2^2) + 2Q_3 a_3 b_3 (a_3 + 2b_3)] \\ &= \frac{1}{5l^3} [-Q_1 a_1 (8l^2 - 3a_1^2) - Q_2 (5l^3 - l^2 a_2 - 9la_2^2 + 5a_2^3) + 2Q_3 a_3 (2l^2 - 3la_3 + a_3^2)] \\ R_{2-0} &= \frac{1}{3l^3} [Q_1 a_1 b_1 (2a_1 + b_1) - Q_2 a_2 (3a_2^2 + 7a_2 b_2 + 2b_2^2) - Q_3 a_3 b_3 (a_3 + 2b_3)] \\ &= \frac{1}{3l^3} [Q_1 a_1 (l^2 - a_1^2) - Q_2 a_2 (2l^2 + 3la_2 - 2a_2^2) - Q_3 a_3 (2l^2 - 3la_3 + a_3^2)] \\ 184) \left. \begin{aligned} R_{2+0} &= \frac{1}{15l^3} [Q_1 a_1 b_1 (2a_1 + b_1) - Q_2 a_2 b_2 (7a_2 + 2b_2) - Q_3 b_3 (19a_3^2 + 38a_3 b_3 + 15b_3^2)] \\ &= \frac{1}{15l^3} [Q_1 a_1 (l^2 - a_1^2) - Q_2 a_2 (2l^2 + 3la_2 - 5a_2^2) - Q_3 (15l^3 - 7l^2 a_3 - 12la_3^2 + 4a_3^3)] \\ R_2 &= \frac{1}{5l^3} [2Q_1 a_1 b_1 (2a_1 + b_1) - Q_2 a_2 (5a_2^2 + 14a_2 b_2 + 4b_2^2) - Q_3 b_3 (8a_3^2 + 16a_3 b_3 + 5l^3)] \\ &= \frac{1}{5l^3} [2Q_1 a_1 (l^2 - a_1^2) - Q_2 a_2 (4l^2 + 6la_2 - 5a_2^2) - Q_3 (5l^3 + l^2 a_3 - 9la_3^2 + 3a_3^3)] \\ R_3 &= \frac{1}{15l^3} [-Q_1 a_1 b_1 (2a_1 + b_1) + Q_2 a_2 b_2 (7a_2 + 2b_2) - Q_3 a_3 (15a_3^2 + 26a_3 b_3 + 7b_3^2)] \\ &= \frac{1}{15l^3} [-Q_1 a_1 (l^2 - a_1^2) + Q_2 a_2 (2l^2 + 3la_2 - 5a_2^2) - Q_3 a_3 (7l^2 + 12la_3 - 4a_3^2)] \\ M_1 &= \frac{1}{15l^2} [4Q_1 a_1 b_1 (2a_1 + b_1) + Q_2 a_2 b_2 (2a_2 + 7b_2) - Q_3 a_3 b_3 (a_3 + 2b_3)] \\ &= \frac{1}{15l^2} [4Q_1 a_1 (l^2 - a_1^2) + Q_2 a_2 (7l^2 - 12la_2 + 5a_2^2) - Q_3 a_3 (2l^2 - 3la_3 + a_3^2)] \\ M_2 &= \frac{1}{15l^2} [-Q_1 a_1 b_1 (2a_1 + b_1) + Q_2 a_2 b_2 (7a_2 + 2b_2) + 4Q_3 a_3 b_3 (a_3 + 2b_3)] \\ &= \frac{1}{15l^2} [-Q_1 a_1 (l^2 - a_1^2) + Q_2 a_2 (2l^2 + 3la_2 - 5a_2^2) + 4Q_3 a_3 (2l^2 - 3la_3 + a_3^2)] \end{aligned} \right\}$$

ヲ得.

## 第二. 變曲率.

其一, 徑間  $l_1$ . 184) 式ノ最後ノ二式ト 183) 式トヲ 128) 式ノ第五

第六式 = 適用シテ  $Q_1$  = ヨリテ生ズル彎曲率ヲ  $M, Q_2$  = ヨリテ生ズルモノヲ  $M'', Q_3$  = ヨリテ生ズルモノヲ  $M'''$  トスレバ

$$185) \begin{cases} M = M_I + M_{II} + M_{III} \\ M_I = -\frac{1}{15l^3} Q_1(l - a_1)(15l^2 - 4la_1 - 4a_1^2)z & 0 \leq z \leq a_1 \\ \quad = -\frac{1}{15l^3} Q_1 a_1 [15l^2 - (19l^2 - 4a_1^2)z] & a_1 \leq z \leq l \\ M_{II} = \frac{1}{15l^3} Q_2 a_2 (7l^2 - 12la_2 + 5a_2^2)z \\ M_{III} = -\frac{1}{15l^3} Q_3 a_3 (2l^2 - 3la_3 + a_3^2)z \end{cases}$$

ヲ得.

$z = \zeta l$  トスレバ 185) 式ノ第二及第五式ハ常 = 負數 第四式ハ常 = 正數ニシテ第三式ハ

$$15l^2 - (19l^2 - 4a_1^2)\zeta \leq 0$$

$$\text{即} \quad a_1 \leq \sqrt{\frac{19\zeta - 15}{4\zeta}} l$$

ナルトキ  $M_I$  正, 零又ハ負ナルガ故 =

$$186) \quad A_0 O = \frac{\sqrt{19\zeta - 15}}{\sqrt{4\zeta}} l \quad A_1 O = \frac{\sqrt{4\zeta} - \sqrt{19\zeta - 15}}{\sqrt{4\zeta}} l$$

トセバ  $Q_1$  ノ爲メ  $0 \leq \zeta \leq \frac{15}{19}$  = 對シテハ  $M_I$  ハ常 = 負トナリ;  
 $\frac{15}{19} \leq \zeta \leq 1$  = 對シテハ  $D_1$  ガ  $A_0 O$  ノ間ニアルトキハ  $M_I$  ハ正トナリ,  
 $O$  ト一致スルトキハ零トナリ,  $A_1 O$  ノ間ニアルトキハ負トナルベシ,

其二. 徑間  $l_2$ . 185) 式ヲ得タルト同様ノ方法ニヨリ

$$187) \begin{cases} M = M_I + M_{II} + M_{III} \\ M_I = \frac{1}{15l^3} Q_1 a_1 (l^2 - a_1^2)(4l - 5z) \\ M_{II} = \frac{1}{15l^3} Q_2 (l - a_2) [la_2(7l - 5a_2) - 5(3l^2 + la_2 - 2a_2^2)z] & 0 \leq z \leq a_2 \\ \quad = -\frac{1}{15l^3} Q_2 a_2 [l(8l^2 + 12la_2 - 5a_2^2) - 5(2l^2 + 2la_2 - 2a_2^2)z] & a_2 \leq z \leq l \\ M_{III} = -\frac{1}{15l^3} Q_3 a_3 (2l^2 - 3la_3 + a_3^2)(l - 5z) \end{cases}$$

ヲ得.

$z = \zeta l$  トスレバ  $0 \leq \zeta \leq \frac{1}{5}$  = 對シテハ  $M_I$  ハ常 = 正トナリ;  $Q_2$  ノ爲メニハ

$$l(8l^2 + 12la_2 - 5a_2^2) - 5(2l^2 + 3la_2 - 2a_2^2)z \\ = l[(8 - 10\zeta)l^2 + (7 - 5\zeta)la_2 + (5 - 10\zeta)a_2(l - a_2)] > 0$$

ニシテ

$$a_2(7l - 5a_2) - 5(3l^2 + la_2 - 2a_2^2)\zeta \leq 0$$

$$\text{即} \quad a_2 \leq \frac{7 - 5\zeta - \sqrt{(49 - 125\zeta)(1 - 5\zeta)}}{10(1 - 2\zeta)} l$$

ナルトキ  $M_{II}$  正, 零又ハ負ナルガ故 =

$$188) \quad \begin{cases} A_1 O = \frac{7 - 5\zeta - \sqrt{(49 - 125\zeta)(1 - 5\zeta)}}{10(1 - 2\zeta)} l \\ A_2 O = \frac{3 - 15\zeta + \sqrt{(49 - 125\zeta)(1 - 5\zeta)}}{10(1 - 2\zeta)} l \end{cases}$$

トセバ  $D_2$  ガ  $A_2 O$  ノ間ニアルトキハ  $M_{II}$  ハ正トナリ,  $O$  ト一致スルトキハ零トナリ,  $A_1 O$  ノ間ニアルトキハ負トナルベク;  $M_{III}$  ハ常 = 負トナルベシ.  $\frac{1}{5} \leq \zeta \leq \frac{1}{2}$  = 對シテハ  $M_I$  及  $M_{III}$  ハ常 = 正トナリ,

$M_{II}$  は常 = 負トナルベシ.

其三. 徑間  $l_2$ . 徑間  $l_3$  = 對スル  $M$  ハ 徑間  $l_1$  = 對スル  $M$  ト 徑間  $l_2$  = 對シテ 對稱ナル 値ヲ 有ス.

第三. 裁力.

其一. 徑間  $l_1$ . 184)式ノ 最後ノ 二式ト 183)式トヲ 128)式ノ 第七 第八式ニ 適用シテ  $Q_1$  = ヨリテ 生ズル 裁力ヲ  $S_I$ ,  $Q_2$  = ヨリテ 生ズル モノヲ  $S_{II}$ ,  $Q_3$  = ヨリテ 生ズル モノヲ  $S_{III}$  トスレバ

$$189) \left\{ \begin{array}{l} S = S_I + S_{II} + S_{III} \\ S_I = -\frac{1}{15l^3} Q_1(l-a_1)(15l^2 - 4la_1 - 4a_1^2) \quad 0 \leq z \leq a_1 \\ \quad = \frac{1}{15l^3} Q_1 a_1 (19l^2 - 4a_1^2) \quad a_1 \leq z \leq l \\ S_{II} = \frac{1}{15l^3} Q_2 a_2 (7l^2 - 12la_2 + 5a_2^2) \\ S_{III} = -\frac{1}{15l^3} Q_3 a_3 (2l^2 - 3la_3 + a_3^2) \end{array} \right.$$

ヲ 得.

其二. 徑間  $l_2$ . 189)式ヲ 得タルト 同様ノ 方法ニ ヨリ

$$190) \left\{ \begin{array}{l} S = S_I + S_{II} + S_{III} \\ S_I = -\frac{1}{3l^3} Q_1 a_1 (l^2 - a_1^2) \\ S_{II} = -\frac{1}{3l^3} Q_2 (l-a_2)(3l^2 + la_2 - 2a_2^2) \quad 0 \leq z \leq a \\ \quad = \frac{1}{3l^3} Q_2 a_2 (2l^2 + 3la_2 - 2a_2^2) \quad a_2 \leq z \leq l \\ S_{III} = \frac{1}{3l^3} Q_3 a_3 (2l^2 - 3la_3 + a_3^2) \end{array} \right.$$

ヲ 得.

其三. 徑間  $l_2$ . 徑間  $l_3$  = 對スル  $S$  ハ 徑間  $l_1$  = 對スル  $S$  ト 左 右 反對ニ 考フベシ.

122. 等布荷重 = 對スル 反力, 反偶力, 變曲率及 裁力.

第一. 反力及 反偶力率. 等布荷重ガ  $l_1, l_2$  及  $l_3$  ノ 全長ニ 涉レル トキハ

$$191) \quad M_0 = 0, \quad M_3 = 0$$

ニシテ 141)式ニ ヨリ

$$4M_1 + M_2 = \frac{ql^2}{2}$$

$$M_1 + 4M_2 = \frac{ql^2}{2}$$

ナルガ故ニ 128)式ノ 第一乃至 第四式ニ ヨリ

$$192) \left\{ \begin{array}{l} R_0 = -\frac{4}{10} ql \\ R_{1-0} = -\frac{6}{10} ql \\ R_{1+0} = -\frac{5}{10} ql \\ R_{2-0} = -\frac{5}{10} ql \\ R_{2+0} = -\frac{6}{10} ql \\ R_3 = -\frac{4}{10} ql \\ M_1 = \frac{1}{10} ql^2 \\ M_2 = \frac{1}{10} ql^2 \end{array} \right. \quad \begin{array}{l} R_1 = -\frac{11}{10} ql \\ R_2 = -\frac{11}{10} ql \end{array}$$

ヲ 得.

桁ノ任意ノ部分ニ荷重ヲ加フルコトヲ得ルトキハ 184)式ニヨリ最大(+R<sub>0</sub>)又ハ最大(+R<sub>3</sub>)ハ荷重ガ A<sub>1</sub>A<sub>2</sub>ノ全長ニ涉リテ A<sub>0</sub>A<sub>1</sub>及 A<sub>2</sub>A<sub>3</sub>ノ間ニ存在セズ,最大(-R<sub>3</sub>)又ハ最大(-R<sub>0</sub>)ハ荷重ガ A<sub>0</sub>A<sub>1</sub>及 A<sub>2</sub>A<sub>3</sub>ノ全長ニ涉リテ A<sub>1</sub>A<sub>2</sub>ノ間ニ存在セザルトキニ起リ;最大(+R<sub>1</sub>)ハ荷重ガ A<sub>2</sub>A<sub>3</sub>ノ全長ニ涉リテ A<sub>0</sub>A<sub>1</sub>及 A<sub>1</sub>A<sub>2</sub>ノ間ニ存在セズ,最大(-R<sub>1</sub>)ハ荷重ガ A<sub>0</sub>A<sub>1</sub>及 A<sub>1</sub>A<sub>2</sub>ノ全長ニ涉リテ A<sub>2</sub>A<sub>3</sub>ノ間ニ存在セザルトキニ起リ;最大(+R<sub>2</sub>)ハ荷重ガ A<sub>0</sub>A<sub>1</sub>ノ全長ニ涉リテ A<sub>1</sub>A<sub>2</sub>及 A<sub>2</sub>A<sub>3</sub>ノ間ニ存在セズ,最大(-R<sub>2</sub>)ハ荷重ガ A<sub>1</sub>A<sub>2</sub>及 A<sub>2</sub>A<sub>3</sub>ノ全長ニ涉リテ A<sub>0</sub>A<sub>1</sub>ノ間ニ存在セザルトキニ起リ;最大(+M<sub>1</sub>)ハ荷重ガ A<sub>0</sub>A<sub>1</sub>及 A<sub>1</sub>A<sub>2</sub>ノ全長ニ涉リテ A<sub>2</sub>A<sub>3</sub>ノ間ニ存在セズ,最大(-M<sub>1</sub>)ハ荷重ガ A<sub>2</sub>A<sub>3</sub>ノ全長ニ涉リテ A<sub>0</sub>A<sub>1</sub>及 A<sub>1</sub>A<sub>2</sub>ノ間ニ存在セザルトキニ起リ;最大(+M<sub>2</sub>)ハ荷重ガ A<sub>1</sub>A<sub>2</sub>及 A<sub>2</sub>A<sub>3</sub>ノ全長ニ涉リテ A<sub>0</sub>A<sub>1</sub>ノ間ニ存在セズ,最大(-M<sub>2</sub>)ハ荷重ガ A<sub>0</sub>A<sub>1</sub>ノ全長ニ涉リテ A<sub>1</sub>A<sub>2</sub>及 A<sub>2</sub>A<sub>3</sub>ノ間ニ存在セザルトキニ起リ; 139), 137)式ヲ 128)式ノ第一乃至第四式ニ適用シテ

$$193) \left\{ \begin{array}{ll} \text{最大}(+R_0) = +\frac{1}{20}ql & \text{最大}(-R_0) = -\frac{9}{20}ql \\ \text{最大}(+R_1) = +\frac{1}{10}ql & \text{最大}(-R_1) = -\frac{6}{5}ql \\ \text{最大}(+R_2) = +\frac{1}{10}ql & \text{最大}(-R_2) = -\frac{6}{5}ql \\ \text{最大}(+R_3) = +\frac{1}{20}ql & \text{最大}(-R_3) = -\frac{9}{20}ql \\ \text{最大}(+M_1) = +\frac{7}{60}ql & \text{最大}(-M_1) = -\frac{1}{60}ql^2 \\ \text{最大}(+M_2) = +\frac{7}{60}ql & \text{最大}(-M_2) = -\frac{1}{60}ql^2 \end{array} \right.$$

ヲ得.

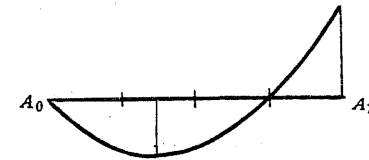
第二. 彎曲率.

其一. 徑間  $\zeta$ . 等布荷重ガ  $l_1, l_2$  及  $l_3$ ノ全長ニ涉レルトキハ 192)式ノ最後ノ二式ヲ 128)式ノ第五第六式ニ適用シ

$$194) \quad M = -\frac{(4-5\zeta)\zeta}{10}ql^2$$

ヲ得,彎曲率圖ハ第 147 圖ノ如キ拋物線ヲナスベシ.  $ql^2$ ノ此係數

第 147 圖



ヲ示スルコトキハ  $x$ ノ次ノ値ヲ有ス:—

$\zeta$	0	$\frac{2}{5}$	$\frac{4}{5}$	1
$x$	0	$-\frac{2}{25}$	0	$+\frac{1}{10}$
$M$		負最大		正最大

桁ノ任意ノ部分ニ於テ重荷ヲ加フルコトヲ得ルトキハ  $0 \leq \zeta \leq \frac{15}{19}$ ニ對シテハ最大(+M)ハ荷重ガ A<sub>1</sub>A<sub>2</sub>ノ全長ニ涉リテ A<sub>0</sub>A<sub>1</sub>及 A<sub>2</sub>A<sub>3</sub>ノ間ニ存在セズ,最大(-M)ハ荷重ガ A<sub>0</sub>A<sub>1</sub>及 A<sub>2</sub>A<sub>3</sub>ノ全長ニ涉リテ A<sub>1</sub>A<sub>2</sub>ノ間ニ存在セザルトキニ起リ 191), 139), 137)式ヲ 128)式ノ第五第六式ニ適用シテ

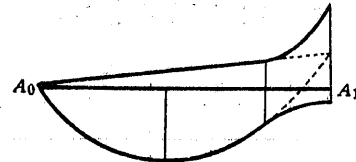
$$195) \quad \left\{ \begin{array}{l} \text{最大}(+M) = +\frac{\zeta}{20}ql^2 \\ \text{最大}(-M) = -\frac{(9-10\zeta)\zeta}{20}ql^2 \end{array} \right.$$

ヲ得;  $\frac{15}{19} \leq \zeta \leq 1$  = 對シテハ最大(+M)ハ荷重ガ  $A_1A_2$  及 186) 式 = ヨリテ與ヘラレタル  $A_0O$  ノ全長 = 涉リテ  $A_1O$  及  $A_2A_3$  ノ間 = 存在セズ, 最大(-M)ハ荷重ガ  $A_1O$  及  $A_2A_3$  ノ全長 = 涉リテ  $A_0O$  及  $A_1A_2$  ノ間 = 存在セザルトキ = 起リ 191), 139), 133), 134), 135), 136) 式ヲ 128 式ノ第五第六式 = 適用シ 186) 式ヲ用ヒテ

$$196) \begin{cases} \text{最大}(+M) = + \frac{(19\zeta - 15)^2 + 12\zeta^2}{240\zeta} ql^2 \\ \text{最大}(-M) = - \left[ \frac{(15 - 8\zeta(1 - \zeta))^2}{16\zeta} + \frac{\zeta}{60} \right] ql^2 \end{cases}$$

ヲ得. 195), 196) 式 = ヨリテ與ヘラレタル彎曲率圖ハ第 148 圖ノ如

第 148 圖



キ形ヲナシ  $ql^2$  ノ最大(+M)ノ係數ヲ  $x$ , 最大(-M)ノ係數ヲ  $x'$  ヲ以テ示ストキハ  $x, x'$  ハ次ノ値ヲ有ス:—

$\zeta$	0	$\frac{9}{20}$	$\frac{15}{19}$	1
$x$	0		$+\frac{3}{76}$	$+\frac{7}{60}$
$x'$	0	$-\frac{81}{800}$	$-\frac{63}{1444}$	$-\frac{1}{60}$
$M$		負最大		正最大

其二. 徑間  $l_2$  等布荷重ガ  $l_1, l_2$  及  $l_3$  ノ全長 = 涉レルトキハ 192) 式ノ最後ノ二式ヲ 128) 式ノ第五第六式 = 適用シ

197)

$$M = \frac{1 - 5\zeta + 5\zeta^2}{10} ql^2$$

ヲ得, 彎曲率圖ハ第 149 圖ノ如キ拋物線ヲナスベシ.  $ql^2$  ノ此係數

第 149 圖



ヲ  $x$  ヲ以テ示ストキハ  $x$  ハ次ノ値ヲ有ス:—

$\zeta$	0	$\frac{5 - \sqrt{5}}{10}$	$\frac{1}{2}$	$\frac{5 + \sqrt{5}}{10}$	1
$x$	$+\frac{1}{10}$	0	$-\frac{1}{40}$	0	$+\frac{1}{10}$
$M$	正最大		負最大		正最大

桁ノ任意ノ部分 = 於テ荷重ヲ加フルコトヲ得ルトキハ

$0 \leq \zeta \leq \frac{1}{5}$  = 對シテハ最大(+M)ハ荷重ガ  $A_0A_1$  及 188) 式 = ヨリテ與ヘラレタル  $A_2O$  ノ全長 = 涉リテ  $A_1O$  及  $A_2A_3$  ノ間 = 存在セズ, 最大(-M)ハ荷重ガ  $A_1O$  及  $A_2A_3$  ノ全長 = 涉リテ  $A_0A_1$  及  $A_2O$  ノ間 = 存在セザルトキ = 起リ 191), 139), 133), 134), 135), 136) 式ヲ 128) 式ノ第五第六式 = 適用シ 188) 式ヲ用ヒテ

$$198) \begin{cases} \text{最大}(+M) = \left[ \frac{4 - 5\zeta}{60} + \frac{(1 - 5\zeta)^2 [814 - 4660\zeta + 6550\zeta^2 + (98 - 250\zeta)\sqrt{(49 - 125\zeta)(1 - 5\zeta)}]}{30000(1 - 2\zeta)^3} \right] ql^2 \\ \text{最大}(-M) = \left[ -\frac{1 - 5\zeta}{60} + \frac{1 - 10\zeta + 10\zeta^2}{20} - \frac{(1 - 5\zeta)^2 [814 - 4660\zeta + 6550\zeta^2 + (98 - 250\zeta)\sqrt{(49 - 125\zeta)(1 - 5\zeta)}]}{30000(1 - 2\zeta)^3} \right] ql^2 \end{cases}$$

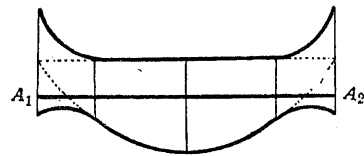


ヲ得;  $\frac{1}{5} \leq \zeta \leq \frac{1}{2}$  = 對シテハ最大(+M)ハ荷重ガ  $A_0A_1$  及  $A_2A_3$  ノ全長ニ涉リテ  $A_1A_2$  ノ間ニ存在セズ, 最大(-M)ハ荷重ガ  $A_1A_2$  ノ全長ニ涉リテ  $A_0A_1$  及  $A_2A_3$  ノ間ニ存在セザルトキニ起リ 191), 139), 137) 式ヲ 128) 式ノ第五第六式ニ適用シテ

$$199) \quad \begin{cases} \text{最大}(+M) = +\frac{1}{20} q l^2 \\ \text{最大}(-M) = \frac{1 - 10\zeta + 10\zeta^2}{20} q l^2 \end{cases}$$

ヲ得. 198), 199) 式ニヨリテ與ヘラレタル彎曲率圖ハ第 150 圖ノ如

第 150 圖



キ形ヲナシ  $q l^2$  ノ最大(+M)ノ係數ヲ  $x$ , 最大(-M)ノ係數ヲ  $x'$  ヲ以テ示ストキハ  $x, x'$  ハ次ノ値ヲ有ス:—

$\zeta$	0	$\frac{1}{5}$	$\frac{1}{2}$	$\frac{4}{5}$	1
$x$	$+\frac{7}{60}$	$+\frac{1}{20}$	$+\frac{1}{20}$	$+\frac{1}{20}$	$+\frac{7}{60}$
$x'$	$-\frac{1}{60}$	$-\frac{3}{100}$	$-\frac{3}{40}$	$-\frac{3}{100}$	$-\frac{1}{60}$
$M$	正最大		負最大		正最大

$\frac{1}{2} \leq \zeta \leq 1$  = 對スル  $M$  ハ  $0 \leq \zeta \leq \frac{1}{2}$  = 對スル  $M$  ト  $\zeta = \frac{1}{2}$  = 對シテ對稱ナル値ヲ有ス.

其三. 徑間  $l_2$ . 徑間  $l_3$  = 對スル  $M$  ハ 徑間  $l_1$  = 對スル  $M$  ト徑

間  $l_2$  = 對シテ對稱ナル値ヲ有ス.

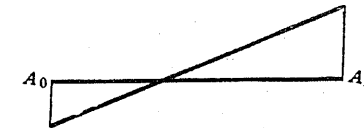
第三. 裁力.

其一. 徑間  $l_1$ . 等布荷重ガ  $l_1, l_2$ , 及  $l_3$  ノ全長ニ涉レルトキハ 192) ノ最後ノ二式ヲ 128) 式ノ第七第八式ニ適用シ

$$200) \quad S = -\frac{4 - 10\zeta}{10} q l$$

ヲ得, 裁力圖ハ第 151 圖ノ如キ直線ヲナスベシ.  $q l$  ノ此係數ヲ  $x$

第 151 圖



ヲ以テ示ストキハ  $x$  ハ次ノ値ヲ有ス:—

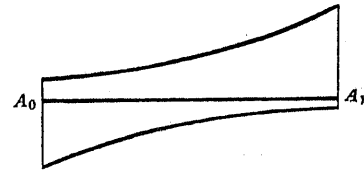
$\zeta$	0	$\frac{2}{5}$	1
$x$	$-\frac{4}{10}$	0	$+\frac{6}{10}$
$S$	負最大		正最大

桁ノ任意ノ部分ニ於テ荷重ヲ加フルコトヲ得ルトキハ  $z = \zeta l$  ナル  $C$  = 對シテ最大(+S)ハ荷重ガ  $A_0C$  ト  $A_1A_2$  トノ全長ニ涉リテ  $A_1C$  ト  $A_2A_3$  トノ間ニ存在セズ, 最大(-S)ハ荷重ガ  $A_1C$  ト  $A_2A_3$  トノ全長ニ涉リテ  $A_0C$  ト  $A_1A_2$  トノ間ニ存在セザルトキニ起リ 191), 139), 133), 134), 135), 136) 式ヲ 128) 式ノ第七第八式ニ適用シテ

$$201) \quad \begin{cases} \text{最大}(+S) = \left[ \frac{1}{20} + \frac{\zeta^2(19 - 2\zeta^2)}{30} \right] q l \\ \text{最大}(-S) = -\left[ \frac{1}{60} + \frac{(1-\zeta)^2(13 - 4\zeta - 2\zeta^2)}{30} \right] q l \end{cases}$$

ヲ得裁力圖ハ第 152 圖ノ如キ四次曲線ヲナスベシ。  $ql$  ノ最大(+ $S$ )

第 152 圖



ノ係數ヲ  $x$ , 最大(- $S$ )ノ係數ヲ  $x'$  ヲ以テ示ストキハ  $x, x'$  ハ次ノ値ヲ有ス;—

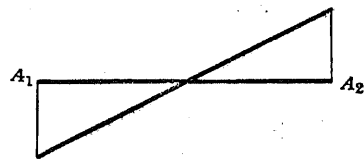
$\zeta$	0	1
$x$	$+\frac{1}{20}$	$+\frac{37}{10}$
$x'$	$-\frac{9}{20}$	$-\frac{1}{60}$
$S$	負最大	正最大

其二. 徑間  $l_2$ . 等布荷重ガ  $l_1, l_2$  及  $l_3$  ノ全長ニ涉レルトキハ 192)式ノ最後ノ二式ヲ 128)式ノ第七第八式ニ適用シ

202) 
$$S = -\frac{1-2\zeta}{2} ql$$

ヲ得裁力圖ハ第 153 圖ノ如キ直線ヲナスベシ。  $ql$  ノ此係數ヲ  $x$

第 153 圖



ヲ以テ示ストキハ  $x$  ハ次ノ値ヲ有ス:—

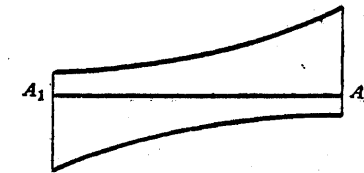
$\zeta$	0	$\frac{1}{2}$	1
$x$	$-\frac{1}{2}$	0	$+\frac{1}{2}$
$S$	負最大		正最大

桁ノ任意ノ部分ニ於テ荷重ヲ加フルコトヲ得ルトキハ  $z = \zeta l$  ナル  $C =$  對シテ最大(+ $S$ )ハ荷重ガ  $A_1C$  ト  $A_2A_3$  トノ全長ニ涉リテ  $A_0A_1$  ト  $A_2C$  トノ間ニ存在セズ, 最大(- $S$ )ハ荷重ガ  $A_0A_1$  ト  $A_2C$  トノ全長ニ涉リテ  $A_1C$  ト  $A_2A_3$  トノ間ニ存在セザルトキニ起リ 191), 139), 133), 134), 135), 136)式ヲ 128)式ノ第七第八式ニ適用シテ

203) 
$$\begin{cases} \text{最大(+} S) = \left[ \frac{1}{12} + \frac{\zeta^2(2+2\zeta-\zeta^2)}{6} \right] ql \\ \text{最大(-} S) = -\left[ \frac{1}{12} + \frac{(1-\zeta)(3-\zeta^2)}{6} \right] ql \end{cases}$$

ヲ得裁力圖ハ 154 圖ノ如キ四次曲線ヲナスベシ,  $ql$  ノ最大(+ $S$ )

第 154 圖



$\zeta$	0	1
$x$	$+\frac{1}{12}$	$+\frac{7}{12}$
$x'$	$-\frac{7}{12}$	$-\frac{1}{12}$
$S$	負最大	正最大

ノ係數ヲ $x$ , 最大(- $S$ )ノ係數ヲ $x'$ ヲ以テ示ストキハ $x, x'$ ハ前表ニ示シタル値ヲ有ス.

其三. 徑間 $l_3$ , 徑間 $l_3 =$ 對スル $S$ ハ徑間 $l_1 =$ 對スル $S$ ト徑間 $l_2 =$ 對シテ對稱ナル値ヲ有ス.

**6. 兩端支端ニシテ中立軸ニ對スル彎曲剛率常數ナル連桁.**

**123. 兩端支端ニシテ中立軸ニ對スル彎曲剛率常數ナル連桁ノ反力, 反偶力, 彎曲率, 裁力及設計.**

第一. 反力及反偶力率. 徑間ノ數ヲ $n$ トスレバ兩端支端ナル爲メ

$$204) \quad M_0 = 0, \quad M_n = 0$$

ニシテ 138) 式ノ右邊ハ已知量ナルガ故ニ之ヲ $k$ ヲ以テ示ストキハ

$$205) \quad \begin{cases} 2(l_1+l_2)M_1 + l_2 M_2 & = k_1 \\ l_2 M_1 + 2(l_2+l_3)M_2 + l_3 M_3 & = k_2 \\ l_3 M_2 + 2(l_3+l_4)M_3 + l_4 M_4 & = k_3 \\ \dots\dots\dots \\ l_{n-1}M_{n-2} + 2(l_{n-1}+l_n)M_{n-1} & = k_{n-1} \end{cases}$$

ヨリ反偶力率 $M_1, M_2, \dots, M_{n-1}$ ヲ求ムルコトヲ得ベシ.

又 $R'_{r-0}, R'_{r+0}$ ヲ以テ $l_r, l_{r+1}$ ガ單桁ナルトキソレソレノ荷重ノ爲メニ起レル反力トシ $R_r$ ヲ $A_r$ (第130圖)ニ於ケル總反力トセバ128)式ノ第一乃至第四式ニヨリ

$$206) \quad \begin{cases} R_{r-0} = R'_{r-0} + \frac{M_{r-1} - M_r}{l_r} \\ R_{r+0} = R'_{r+0} - \frac{M_r - M_{r+1}}{l_{r+0}} \end{cases} \quad R_r = R_{r-0} + R_{r+0}$$

ヲ得.

第二. 彎曲率及裁力.  $M'$ 及 $S'$ ヲ以テソレソレニ $l_r$ ガ單桁ナルトキノ彎曲率及裁力トスレバ128)式ノ第五乃至第八式ニヨリ

$$207) \quad \begin{cases} M = M' + M_{r-1} - \frac{M_{r-1} - M_r}{l_r} z \\ S = S' - \frac{M_{r-1} - M_r}{l_r} \end{cases}$$

ヲ得.

第三. 設計. 連桁ハ第103節ト同様ノ方法ニヨリテ設計ス.

例. 兩端支端ニシテ兩端及支點常ニ一直線上ニアリ中立軸ニ對スル彎曲剛率常數ニシテ桁ノ全長ニ滲レル等布荷重ヲ受クル相等シキ徑間ノ連桁.  
 $l_1 = l_2 = \dots = l_n = l$ トセバ141)式ニヨリ

$$k_1 = k_2 = \dots = k_{n-1} = \frac{ql^3}{2}$$

ニシテ

$$M_{r-1} + 4M_r + M_{r+1} = \frac{ql^2}{2}$$

ナルガ故ニ204), 205), 206)式ヲ用ヒテ

$$208) \quad \begin{cases} M = \frac{\alpha}{\gamma} ql^2 \\ R = -\frac{\beta}{\gamma} ql \end{cases}$$

ナル反偶力率 $M$ 及反力 $R$ ヲ得ベク, $\alpha, \beta, \gamma$ ハ次ノ表ノ如キ常數ナリ:—

徑間 ノ數	1		2		3		4		5		6		7		8		9	
	α	β	α	β	α	β	α	β	α	β	α	β	α	β	α	β	α	β
	0	0 1	0	0 3	0	0 4	0	0 11	0	0 15	0	0 41	0	0 56	0	0 153	0	0 209
	0	1 0	1	5 5	1	6 5	3	17 15	4	23 20	11	63 55	15	86 75	41	235 205	56	321 281
			0	3 0	1	5 6	2	13 13	3	18 19	8	49 51	11	67 70	30	183 191	41	250 261
					0	4 0	3	15 17	3	19 18	9	53 53	12	72 71	33	197 195	45	269 266
							0	11 0	4	20 23	8	51 49	12	71 72	32	193 193	44	264 265
									0	15 0	11	55 63	11	70 67	33	195 197	44	265 264
											0	41 0	15	75 86	30	191 183	45	266 269
												0	56 0	41	205 235	41	261 250	
														0	153 0	56	280 321	
																0	209 0	
γ	2		8		10		28		38		104		142		388		530	

βノ欄内ニ縦線ヲ以テ界セル數ハ  $R_{r-0}$  及  $R_{r+0}$ ニ關セルモノナリ。  
彎曲率及裁力ハ 207)式ニヨリテ容易ニ之ヲ求ムルコトヲ得ベシ。

## 第 六 章

### かすちりあの一ノ定理

#### 124. かすちりあの一ノ定理. 今

$X$  = 或ル物體ニ働ク力又ハ偶力率

$\delta$  =  $X$ ノ働ク點ノ其方向ニ於ケル直動變位又ハ廻動角

$U$  = 物體ニ於ケル外働

$W$  = 物體ニ於ケル内働

トスルトキハ 59), 60)式ニヨリ

$$W = U = \frac{1}{2} \Sigma X \delta$$

ナリ。

多クノ  $X$ ノ中一定ノ  $X$ 例ヘバ  $X_s$ ヲ  $X_s + dX_s$ ニ増加スルトキハ之ニヨリテ生ズル  $U$ ノ増加  $dU$ ハ一般ニ

$$dU = \frac{X + (X + dX)}{2} d\delta = X d\delta$$

ナルガ故ニ

$$\frac{\partial U}{\partial X_s} = \Sigma X \frac{\partial \delta}{\partial X_s}$$

ナリ。

又多クノ  $X$ ノ中一定ノ  $X$ 例ヘバ  $X_s$ ヲ  $X_s + dX_s$ ナリトスレバ  $X_s$ ナルトキト  $X_s + dX_s$ ナルトキトノ  $U$ ノ差  $dU'$ ハ一般ニ

$$dU' = \frac{1}{2} (X + dX) (\delta + d\delta) - \frac{1}{2} X \delta = \frac{1}{2} \delta dX + \frac{1}{2} X d\delta$$

ナルガ故ニ

$$\frac{\partial U'}{\partial X_s} = \frac{1}{2} \Sigma \delta \frac{\partial X}{\partial X_s} + \frac{1}{2} \Sigma X \frac{\partial \delta}{\partial X_s}$$

ナリ.

然ルニ

$$dU = dW = dU'$$

ナルベキガ故ニ

$$209) \quad \frac{\partial W}{\partial X_s} = \frac{\partial U}{\partial X_s} = \Sigma \delta \frac{\partial X}{\partial X_s}$$

ヲ得. 之ヲかすちりあのーノ定理ト謂ヒ弾體力學ニ於テ多クノ應用ヲ有スル一大定理ナリ.

125. かすちりあのーノ定理ノ桁ニ於ケル應用. 112)式ハ單桁ノミナラズ一般ノ桁ニ應用スルコトヲ得ベキモノニシテ從テ209)式ヨリ

$$210) \quad \frac{\partial W}{\partial X_s} = \frac{1}{2} \frac{\partial}{\partial X_s} \int_0^l \frac{M^2}{EI_x} dz = \Sigma \delta \frac{\partial X}{\partial X_s}$$

ヲ得. 以下此公式ノ極メテ廣濶ナル應用ヲ有スル數例ヲ示スベシ.

例1. 第101節例1ニ於ケル $\eta_D$ ヲ求ム. 114)式ニヨリ

$$W = \frac{Q^2 a^2 b^2}{6EI_x l}$$

ニシテ

$$\text{此場合ニ於ケル } \left. \begin{matrix} X \\ \delta \end{matrix} \right\} \wedge \left\{ \begin{matrix} R_A & R_B & Q \\ \eta_A = 0 & \eta_B = 0 & \eta_D \end{matrix} \right.$$

ナルガ故ニ  $X_s = Q$  トスレバ

$$\eta_D = \frac{\partial W}{\partial Q} = \frac{Q a^2 b^2}{3EI_x l}$$

ヲ得. (第102節ノ例ノ末項參照).

例2. 第109節例1ニ於ケル $\eta_B$ ヲ求ム. 127)式ニヨリ

$$W = \frac{Q^2 b^3}{6EI_x}$$

ニシテ

$$\text{此場合ニ於ケル } \left. \begin{matrix} X \\ \delta \end{matrix} \right\} \wedge \left\{ \begin{matrix} R_A & M_A & Q \\ \eta_A = 0 & i_A = 0 & \eta_B \end{matrix} \right.$$

ナルガ故ニ  $X_s = Q$  トスレバ

$$\eta_B = \frac{\partial W}{\partial Q} = \frac{Q b^3}{3EI_x}$$

ヲ得. (第110節ノ例ノ末項參照).

例3. 第115節ニ於ケル $R_A, M_A, R_B, \eta_D$ ヲ求ム. 此場合ニ於テハ

$$\begin{aligned} M &= M_A + R_A z & 0 \leq z \leq a \\ &= R_B (l - z) & a \leq z \leq l \end{aligned}$$

ナルガ故ニ

$$\begin{aligned} 2 EI_x W &= \int_0^l M^2 dz = \int_0^a (M_A + R_A z)^2 dz + \int_a^l R_B^2 (l - z)^2 dz \\ &= a M_A^2 + a^2 M_A R_A + \frac{a^3}{3} R_A^2 + \frac{b^3}{3} R_B^2 \end{aligned}$$

ニシテ且

$$\begin{aligned} \mathfrak{M}_{Dx} &= M_A + R_A a - R_B b = 0 \\ \mathfrak{R}_y &= R_A + R_B + Q = 0 \end{aligned}$$

ナルカ故ニ  $R_A, Q$  ヲ獨立變數トシ

$$2 EI_x W = \frac{1}{3} [b^3 R_A^2 + (3a^2 + 6ab + 2b^2) b R_A Q + (3a + b) b^2 Q^2]$$

ナル形トナストキハ

$$\text{此場合ニ於ケル } \left. \begin{matrix} X \\ \delta \end{matrix} \right\} \wedge \left\{ \begin{matrix} R_A & M_A & R_B & Q \\ \eta_A = 0 & i_A = 0 & \eta_B = 0 & \eta_D \end{matrix} \right.$$

ナルガ故ニ  $X_s = R_A$  及  $X_s = Q$  トスルトキハ

$$0 = 6 EI_x \frac{\partial W}{\partial R_A} = 2b^3 R_A + (3a^2 + 6ab + 2b^2) b Q$$

$$6 EI_x \eta_D = 6 EI_x \frac{\partial W}{\partial Q} = (3a^2 + 6ab + 2b^2) b R_A + 2(3a + b) b^2 Q$$

ヲ得此上式ト  $\mathfrak{M}_{Dx} = 0, \mathfrak{R}_y = 0$  ナル二式トニヨリ  $R_A, M_A, R_B$  ヲ得ベク, 更ニ下式ニヨリ  $\eta_D$  ヲ得ベシ.

例 4. 第 117 節ニ於ケル  $R_A, M_A, R_B, M_B, \eta_D$ ヲ求ム。此場合ニ於テハ

$$\begin{aligned} M &= M_A + R_A z & 0 \leq z \leq a \\ &= M_B + R_B (l - z) & a \leq z \leq l \end{aligned}$$

ナルガ故ニ

$$2 EI_x W = \int_0^l M^2 dz = \int_0^a (M_A + R_A z)^2 dz + \int_a^l [M_B + R_B(l - z)]^2 dz$$

ニシテ且

$$\begin{aligned} \mathfrak{M}_{Dx} &= M_A - M_B + R_A a - R_B b = 0 \\ \mathfrak{R}_y &= R_A + R_B + Q = 0 \end{aligned}$$

ナルガ故ニ  $R_A, M_A, Q$ ヲ獨立變數トシ

$$2 EI_x W = l M_A^2 + 2 M_A R_A a + b^2 M_A Q + \frac{b^3}{3} R_A^2 + \frac{1}{3} (3a + 2b) b^2 R_A Q + \frac{b^3}{3} Q^2$$

ナル形トナストキハ

$$\text{此場合ニ於ケル } \frac{X}{\delta} \wedge \begin{cases} R_A & M_A & R_B & M_B & Q \\ \eta_A = 0 & i_A = 0 & \eta_B = 0 & i_B = 0 & \eta_D \end{cases}$$

ナルガ故ニ  $X_1 = R_A, X_2 = M_A, X_3 = Q$ トスルトキハ

$$0 = 2 EI_x \frac{\partial W}{\partial R_A} = 2 M_A + \frac{2}{3} b R_A + \frac{1}{3} (3a + 2b) b^2 Q$$

$$0 = 2 EI_x \frac{\partial W}{\partial M_A} = 2 l M_A + 2 R_A a + b^2 Q$$

$$2 EI_x \eta_D = 2 EI_x \frac{\partial W}{\partial Q} = b^2 M_A + \frac{1}{3} (3a + 2b) b^2 R_A + \frac{2}{3} b^3 Q$$

ヲ得此第一第二式ト  $\mathfrak{M}_{Dx} = 0, \mathfrak{R}_y = 0$ ナル二式トニヨリ  $R_A, M_A, R_B, M_B$ ヲ得ベク、更ニ第三式ニヨリ  $\eta_D$ ヲ得ベシ。

例 5. 三個反偶力ノ定理ヲ求ム。  $l$ ナル徑間ニ於テ

$$M = M'_r + M_{r-1} - \frac{M_{r-1} - M_r}{l_r}$$

ナルガ故ニ

$$\begin{aligned} 2 EI_x W_r &= \int_0^{l_r} M^2 dz = \frac{l_r}{3} (M_{r-1}^2 + M_{r-1} M_r + M_r^2) \\ &+ 2 M_{r-1} \int_0^{l_r} M'_r dz - 2 \frac{M_{r-1} - M_r}{l_r} \int_0^{l_r} M'_r z dz + \int_0^{l_r} M'^2_r dz \end{aligned}$$

ヲ得。然ルニ

$$R_{(r-1)+0} = R'_{(r-1)+0} - \frac{M_{r-1} - M_r}{l_r}$$

$$R_{r-0} = R'_{r-0} + \frac{M_{r-1} - M_r}{l_r}$$

ニシテ

$$\text{此場合ニ於ケル } \frac{X}{\delta} \wedge \begin{cases} R_{(r-1)+0} & R_{r-0} & M_{r-1} & M_r \\ \eta_{r-1} & \eta_r & i_{r-1} & i_r \end{cases}$$

ナルガ故ニ  $M_{r-1}, M_r$ ヲ獨立變數トシ  $X_3 = M_r$ トスルトキハ

$$2 EI_x \left( i_r + \frac{\eta_{r-1} - \eta_r}{l_r} \right) = 2 EI_x \frac{\partial W_r}{\partial M_r} = \frac{l_r}{3} (M_{r-1} + 2M_r) + \frac{2}{l_r} \int_0^{l_r} M'_r z dz$$

ヲ得。

同様ニ  $l_{r+1}$ ニ於テ

$$2 EI_x \left( -i_r + \frac{\eta_{r+1} - \eta_r}{l_{r+1}} \right) = 2 EI_x \frac{\partial W_{r+1}}{\partial M_r} = \frac{l_{r+1}}{3} (2M_r + M_{r+1}) + \frac{2}{l_{r+1}} \int_0^{l_{r+1}} M'_{r+1} (l_{r+1} - z) dz$$

ヲ得。

此等ノ終リノ二式ヨリ  $i$ ヲ消去スルトキハ 138)式ヲ得ベシ

## 第七章

### 長柱

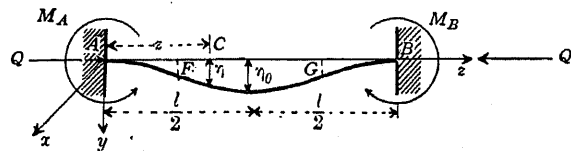
126. 長柱. 壓力ヲ受クル長キ物體ヲ長柱ト謂フ. 短柱(第89節)ニ於テハ壓力ヲ受クル爲メ單ニ收縮ヲ生ズルノミナレドモ長柱ニアリテハ之ガ爲メ又彎曲ヲ生ズベシ.

短柱ト長柱トヲ總稱シテ抗壓材ト謂フ.

127. 断面極メテ小ニシテ  $x$  軸ニ對スル彎曲剛率常數ナル長柱

第一. 兩端定端ナルトキ. 第155圖ニ於テ

第155圖



$$EI_x \frac{d^2\eta}{dz^2} = M = M_A - Q\eta$$

ナルガ故ニ

$$\frac{d\eta}{dz} = i, \quad \frac{d^2\eta}{dz^2} = \frac{di}{dz} = i \frac{di}{d\eta}$$

トシ

$$EI_x \frac{i di}{d\eta} = M_A - Q\eta$$

ヲ積分シテ

$$EI_x i^2 = 2M_A\eta - Q\eta^2 + C \quad C \text{ハ常數}$$

ヲ得、然ルニ

$$\eta = 0 \text{ ナルトキハ } i = 0 \quad \text{故ニ } C = 0$$

$$\eta = \eta_0 \text{ ナルトキハ } i = 0 \quad \text{故ニ } M_A = \frac{1}{2} Q\eta_0$$

ナリ. 故ニ上式ヨリ

$$EI_x \left( \frac{d\eta}{dz} \right)^2 = 2M_A\eta - Q\eta^2 = Q(\eta_0\eta - \eta^2)$$

ヲ得、更ニ之ヲ積分シテ

$$z = \sqrt{\frac{EI_x}{Q}} \frac{\cos^{-1} \frac{\eta_0 - 2\eta}{\eta_0}}{\eta_0}$$

ヲ得、然ルニ

$$\eta = \eta_0 \text{ ナルトキハ } z = \frac{l}{2}$$

ナルガ故ニ

$$\frac{l}{2} = \sqrt{\frac{EI_x}{Q}} \cos^{-1}(-1) = \pi \sqrt{\frac{EI_x}{Q}}$$

即

$$\begin{cases} Q = \frac{4\pi^2 EI_x}{l^2} \\ \frac{Q}{A} = 4\pi^2 E \left( \frac{r_x}{l} \right)^2 \end{cases}$$

ヲ得、但シ A ハ長柱ノ斷面積ニシテ  $r_x$  ハ斷面ノ  $x$  軸ニ對スル自乘率半徑(第41節)ナリ. 此式ニヨリ  $x$  軸ハ  $I_x$  ガ最小ナル軸タルベキコトヲ知リ得ベシ.

上記ノ Q ノ値ヲ

$$z = \sqrt{\frac{EI_x}{Q}} \frac{\cos^{-1} \frac{\eta_0 - 2\eta}{\eta_0}}{\eta_0}$$

ニ代用スルトキハ

$$\eta = \eta_0 \sin^2 \frac{\pi z}{l}$$

ナルガ故ニ壓力ヲ受クルノ後長柱ハ第 155 圖ノ  $AcB$  ノ如キ餘弦曲線ヲナシ反曲點  $F, G$  ハ

$$AF = BG = \frac{l}{4}$$

ナル所ニアリ。

更ニ  $M_0$  ヲ以テ長柱ノ中央ニ於テ  $A$  ノ側ニ於ケル彎曲率ヲ示ストキハ

$$M = EI_x \frac{d^2 \eta}{dz^2}$$

ニヨリ

$$211) \quad M_A = M_B = -M_0 = \frac{Ql_0}{2}$$

ヲ得ベシ。

第二. 一端定端ニシテ他端放端ナルトキ又ハ兩端放端ナルトキ. 第一ノ場合ニ於テ

$$AF = BG = \frac{l}{4}$$

ニシテ反曲點ニ於テハ  $\frac{d^2 \eta}{dz^2}$  從テ  $M$  零ナルガ故ニ  $AG$  又ハ  $BF$  ハ一端定端ニシテ他端放端ナル, 又  $FG$  ハ兩端放端ナル長柱ト考フルコトヲ得ベシ。故ニ第一ノ場合ニ於ケル  $l$  ヲ  $\frac{4l}{3}$ ,  $2l$  トスレバ

$$\frac{Q}{A} = \frac{9}{4} \pi^2 E \left( \frac{r_x}{l} \right)^2 \quad \text{一端定端ニシテ他端放端ナルトキ}$$

$$\frac{Q}{A} = \pi^2 E \left( \frac{r_x}{l} \right)^2 \quad \text{兩端放端ナルトキ}$$

ヲ得ベシ。

第三. 結論. 上記ノ結果ヲ總括スルトキハ

$$212) \quad \frac{Q}{A} = a \left( \frac{r_x}{l} \right)^2 \quad \begin{array}{l} a = 4\pi^2 E \quad \text{兩端定端ナルトキ} \\ a = \frac{9}{4} \pi^2 E \quad \text{一端定端ニシテ他端放端ナルトキ} \\ a = \pi^2 E \quad \text{兩端放端ナルトキ} \end{array}$$

ヲ得. 之ヲをいれるノ公式ト謂フ。

此公式ハ直接壓力ヨリ生ズベキ應力ヲ算入セザルモノニシテ實用ニ供セル長柱ハ其斷面茲ニ假定セル如ク小ナルコト能ハズ通常  $\frac{Q}{A}$  ノ値ガ破壞抗壓強度  $F_c$  以上ニ上リ即

$$\frac{Q}{A} = F_c$$

$$\text{即} \quad \frac{l}{r_x} = \sqrt{\frac{a}{F_c}}$$

以上ナルトキハ此公式ヲ適用スルコト能ハザルモノトス,

128. 斷面有限ナル長柱. 壓力  $Q$  ト直接壓力ヨリ生ズベキ應力強度ハ 70) 式ニヨリ

$$\frac{Q}{A} = p$$

ナル關係ヲ有シ, 彎曲ノミニヨリテ生ズルモノトハ 212) 式ニヨリ

$$\frac{Q}{A} = p = \frac{p}{\frac{a}{p} \left( \frac{l}{r} \right)^2}$$

ナル關係ヲ有セルガ故ニ斷面有限ナル長柱ニ於テハ實驗的ニ

$$213) \quad \frac{Q}{A} = \frac{p}{1 + b \left( \frac{l}{r_x} \right)^2}$$

ナリトス. 之ヲらんきんノ公式ト謂ヒ,  $b$  ハ次ノ如キ常數ナリ:—

材 料	兩 定 端	一定端—放端	兩 放
中 鋼	$\frac{1}{25,000}$	$\frac{1.78}{25,000}$	$\frac{4}{25,000}$
	$\frac{1}{36,000}$	$\frac{1.78}{36,000}$	$\frac{4}{36,000}$
鍊 鐵	$\frac{1}{5,000}$	$\frac{1.78}{5,000}$	$\frac{4}{5,000}$
	$\frac{1}{3,000}$	$\frac{1.78}{3,000}$	$\frac{4}{3,000}$



129. 長柱ニ關スル公式ノ評論. をいれるノ公式ハ直接壓力ヨリ生ゼル應力ヲ算入セザル缺點アリ、らんきんノ公式ハ理論ノ上ヨリ既ニ其不完全ナルコトヲ示セリ。實ニ長柱ニ關スル理論ハ今日ニ至ルマデ未ダ満足スベキモノナク從テ數多ノ學者ハ各專斷ニ近キ假定ニ基キテ數多ノ公式ヲ案出セリ。をいれる、らんきんノ公式ハ稍々一般ニ斯界ニ用ヒラル、モノニシテ此外

$$214) \quad \frac{Q}{A} = \frac{p}{1 + c\left(\frac{l}{h}\right)^2} \quad c \text{ハ 常數}$$

$h$ ハ 斷面ヲ圍メル矩形ノ小邊

ナルごるどんノ公式ト稱スルモノ亦一部ノ間ニ用ヒラル、コトアレドモ要スルニ此等ノ公式ハ半理論的ノモノニシテ實用ニ際シテハ此等ノ式ニ適合スベキ常數  $a, b, c$  ヲ實驗的ニ算定シテ僅カニ目下ノ急ニ應ゼルニ過ギズ。

又  $Q_0$  ヲ長柱ノ破壊ニ要スル壓力トシ純粹實驗的ニ

$$215) \quad \frac{Q_0}{A} = F_0 - k \frac{l}{r_x}$$

ナル關係ヲ求メタルモノアリ。此公式ニ於テハ  $\frac{Q_0}{A}$  ハ  $\frac{l}{r_x}$  ノ一次函數ナルガ故ニ之ヲ直線公式ト謂ヒ、 $F_0$  ハ第 84 節ニ於テ破壊長柱強度ト稱セシモノニシテ、 $k$  ハ次ノ如キ常數ナリ：—

材 料	兩 定 端	一定端—放端	兩 放 端
中 鋼	179	220	284
鍊 鐵	128	157	203
鑄 鐵	438	537	693
木 材	28		

長柱兩端ノ構造ニ關シテハ上記ノ定端及放端ノ外他ノ種類ノ

モノアレドモ今之ヲ掲ゲズ。

130. 長柱ノ設計. 長柱ノ設計ハ 212) 式ヲ用ユレバ

$$216) \quad \frac{Q}{A} \leq a \left(\frac{r_x}{l}\right)^2$$

トシ、213), 214) 式ヲ用ヒ  $f_c$  ヲ許容抗壓強度トスレバ  $p \leq f_c$  從テ

$$217) \quad \begin{cases} \frac{Q}{A} \leq \frac{f_c}{1 + b\left(\frac{l}{r_x}\right)^2} \\ \frac{Q}{A} \leq \frac{f_c}{1 + c\left(\frac{l}{h}\right)^2} \end{cases}$$

トシ、更ニ 215) 式ヲ用ヒ  $m$  ヲ安全率トスレバ

$$218) \quad \frac{Q}{A} \leq \frac{1}{m} \left(F_0 - k \frac{l}{r_x}\right)$$

トス。

131. 短柱ト長柱トノ區劃. 短柱ト長柱トノ區劃ハ明瞭ナラズ多少ノ實驗ヲ基トシテ假リニ  $\frac{l}{r_x}$  ノ値次ノ表ノ値以下ナルトキハ

材 料	$\frac{l}{r_x}$
中鋼、鍊鐵及鑄鐵	40
木 材	80

之ヲ短柱トシ其以上ナルトキハ之ヲ長柱トスルガ如キ規定ヲ設クルコトアレドモ此ノ如キ標準ニ從フトキハ短柱ト假定シテ設計シ得タルモノハ長柱トナリ、長柱ト假定シテ得タルモノハ短柱トナリ其取舍ニ苦ムコトアリ此ノ如キ場合ニ際シ其實用ニ供スベキ大サヲ決定スルハ一ニ吾人ノ判斷ニヨルノ外ナシ。

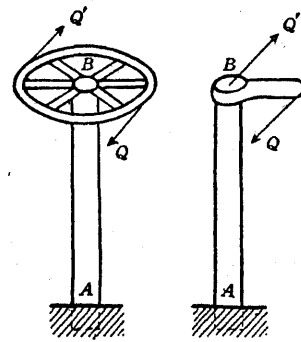
# 第八章

## 雜論

### 1. 軸.

132. 軸. 第 156 圖ノ AB ノ如キ物體ノ一端 A ヲ固定シ之ニ

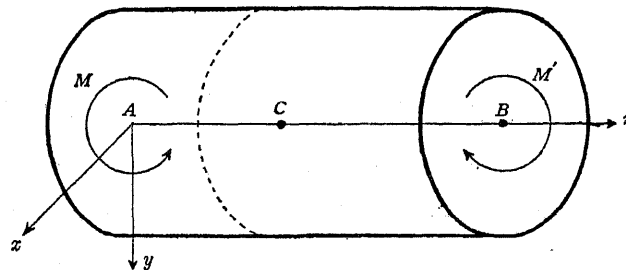
第 156 圖



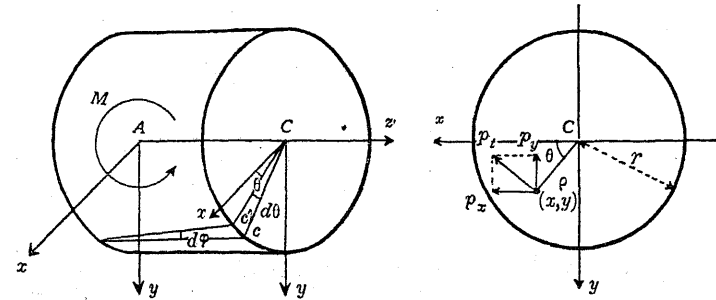
Q, Q' ナル偶力ヲ加フルトキハ該物體ヲ軸ト謂フ.

133. 断面圓形ナル軸ニ於ケル應力強度. 第 157 圖ニ於ケル軸ノ AC = a ナル一部第 158 圖ヲ取り断面 C (之ヲ σ トス) ニ於ケル

第 157 圖



第 158 圖



應力強度ヲ  $p_x, p_y, p_z$  トシ,  $Q, Q'$  ノ z 軸ニ對スル偶力率ヲ  $M' = -M$  トスルトキハ

$$\mathfrak{R}_x = \int_{(\sigma)} p_x dA = 0$$

$$\mathfrak{R}_y = \int_{(\sigma)} p_y dA = 0$$

$$\mathfrak{R}_z = \int_{(\sigma)} p_z dA = 0$$

$$\mathfrak{M}_{C_x} = \int_{(\sigma)} y p_x dA = 0$$

$$\mathfrak{M}_{C_y} = - \int_{(\sigma)} x p_x dA = 0$$

$$\mathfrak{M}_{C_z} = \int_{(\sigma)} (x p_y - y p_x) dA + M = 0$$

ヲ得. 今面 C ハ外力ノ爲メニ其面内ニ於テ廻轉シ Cc ハ Cc' ニ來リタリトスルトキハ (66), (67) 式ニヨリ

$$p_z = 0$$

$$p = \mu d\varphi = \mu \frac{\rho d\theta}{dz}$$

從テ

$$p_x = p_i \sin \theta = \mu \frac{d\theta}{dz} y$$

$$p_y = -p_i \cos \theta = -\mu \frac{d\theta}{dz} x$$

ヲ得。故ニ上記ノ六式ノ中初メノ五式ハ恒等式トナリ終リノ第六式ヨリ

$$M = \mu \int_{(c)} (x^2 + y^2) dA = \mu \frac{d\theta}{dz} (I_y + I_x) = \mu \frac{d\theta}{dz} \frac{\pi r^4}{2} = \frac{p_i}{\rho} \frac{\pi r^4}{2}$$

從テ

$$219) \quad \begin{cases} p_i = \frac{2M}{\pi r^4} \rho \\ p_x = \frac{2M}{\pi r^4} y, \quad p_y = \frac{2M}{\pi r^4} x \end{cases}$$

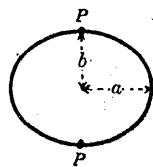
ヲ得、 $p_i'$ ヲ以テ  $p_i$ ノ最大値ヲ示ストキハ  $p_i'$ ハ  $p$ ノ  $\rho = r$ ナルトキノ値ニシテ

$$220) \quad p_i' = \frac{2M}{\pi r^3}$$

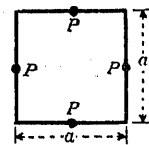
ヲ得。219), 220)式ニヨリテ  $p_x, p_y, p_i, p_i'$ ハ總テノ断面ニ於テ同一ノ値ヲ有セルコトヲ知り得ベシ。

134. 断面圓形ナラザル軸ニ於ケル應力強度。軸ノ断面圓形ナラザルトキハ本書ノ程度ニ於テ其應力強度ヲ求ムルコト難キガ故ニ其結果ノミヲ記セバ次ノ如シ:-

第 159 圖



第 160 圖



$$221) \quad \begin{cases} p_i' = \frac{2M}{\pi ab^2} & \text{断面 } a, b, a > b \text{ ナル半縦横軸ヲ有セル橢圓形ナルトキ} \\ p_i' = 4.82 \frac{M}{a^3} & \text{断面 } a \text{ ナル一邊ヲ有セル正方形ナルトキ} \end{cases}$$

此等ノ最大應力強度ハ第 159, 160 圖ノ  $P$ ナル點ニ於テ起レリ。

135. 軸ノ設計。  $f_s$ ヲ以テ軸ノ許容抗裁強度トスレバ軸ノ設計ニ用ユベキ一般公式ハ第 88 節ニヨリ

$$222) \quad p_i' \leq f_s$$

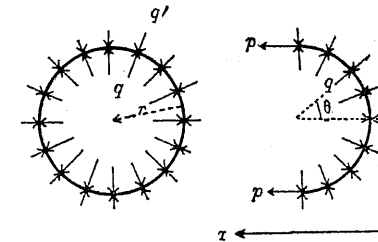
ナリ。

2. 薄キ厚サヲ有スル管。

136. 薄キ厚サヲ有セル管ノ破裂。水、空氣、蒸汽ノ場合ニ於ケルガ如ク(第 161 圖)管ノ内外ニ於テ  $q, q'$ ナル強度ヲ有セル等布壓力

第 161 圖

第 162 圖



管ノ面ニ垂直ニ働キ  $q > q'$ ナルトキハ管ハ破裂セントスルノ傾向アリ。第 162 圖ノ如キ管ノ半ヲ取り其斷口ニ於テ管ノ長サノ單位ニ於ケル應力強度ヲ  $p$ トシ、管ノ長サヲ  $l$ トスルトキハ

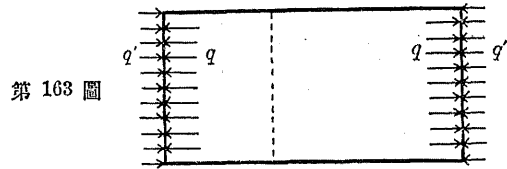
$$R_x = 2pl - 2 \int_0^{\frac{\pi}{2}} (q - q') r d\theta \cdot l \cos \theta = 0$$

ナルガ故ニ

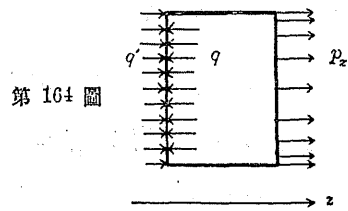
223) 
$$p = (q - q')r$$

ヲ得、 $p$ ハ應張力強度タルコトヲ知リ得ベシ。

蒸汽罐ノ如ク(第 163 圖)管ノ兩端ニ蓋ヲ有スルトキハ 周邊ノ單位ニ於テ  $p_z$ ナル應張力強度ヲ有スル應力ヲ生ズベシ(第 164 圖)。



第 163 圖



第 164 圖

$p_z$ ヲ管ノ周邊ノ各所ニ於テ同一ナル値ヲ有スルモノトスルトキハ

$$\mathfrak{R}_z = p_z \cdot 2\pi r - (q - q')\pi r^2 = 0$$

ナルガ故ニ

224) 
$$p_z = \frac{1}{2}(q - q')r$$

從テ

$$p = 2p_z$$

ヲ得。

137. 薄キ厚サヲ有セル管ノ壓潰。前節ノ場合ニ於テ  $q < q'$ ナルトキハ管ハ壓潰サレントスルノ傾向アリ  $p$ ハ應張力強度タル

ベシ。此場合ニ於テハ管ノ長サノ單位ヲ取り管ノ周邊ニ等シキ  $\pi d$ ( $d$ ハ管ノ直徑ニシテ  $d = 2r$ )ナル長サヲ有シ之ニ  $p$ ナル壓力ヲ加ヘタル一ノ長柱トシ(212)式ヲ用ユルヲ常トス。此假定ニ從フトキハ

$$p = (q' - q)r$$

ナルガ故ニ管ノ厚サヲ  $t$ トスレバ(212)式ニヨリ

$$(q' - q)r = \frac{\pi^2 E t^3}{12 \pi^2 d^3} = \frac{E t^3}{12 d^3}$$

$$\therefore q' - q = \frac{E t^3}{6 d^3}$$

ヲ得。

上記ノ假定ハ勿論非常ナル姑息策ニシテ其得タル結果ニ於テ管ノ長サ  $l$ ヲ含マザルガ如キハ明ニ其實用ニ適セザルコトヲ證スルニ足レリ

管ノ壓潰ヲ生ズベキ  $q, q'$ ヲソレソレニ  $q_0, q'_0$ ニテ示ストキハふゑあーべるんハ假リニ

$$q'_0 - q_0 = c \frac{t^3}{l^2 d^3} \quad c, x, y, z \text{ハ常數}$$

ナルモノトシ鍊鐵ニ於ケル多クノ實驗ヲ施シタル結果トシテ

225) 
$$\begin{cases} q'_0 - q_0 = 9,675,000 \frac{t^{2.19}}{l d} \\ q_0, q'_0 \text{ハ 斤/平方吋. } t, l, d \text{ハ 吋} \\ 18 \text{吋} \leq l \leq 120 \text{吋} \\ \text{接合ハ一行綴釘ヲ有セル重襲接合及衝頭接合} \end{cases}$$

ヲ得尙

226) 
$$q'_0 - q_0 = 9,675,000 \frac{t^{2.19}}{l d} - 0.002 \frac{t}{d}$$

ノ實驗ト一層相符合セル結果ヲ與フベキコトヲ示セリ。

ふえあーべるんノ此實驗ヲ基トシあんういんハ

$$227) \left\{ \begin{array}{l} q'_0 - q_0 = 7,363,000 \frac{t^{2.1}}{l^{0.9} d^{1.16}} \\ = 9,614,000 \frac{t^{2.21}}{l^{0.9} d^{1.16}} \\ = 15,547,000 \frac{t^{2.2}}{l^{0.9} d^{1.16}} \end{array} \right. \left\{ \begin{array}{l} \text{縦ニ於ケル重襲接合ヲ有} \\ \text{セルトキ} \\ \text{縦ニ於ケル衝頭接合ヲ有} \\ \text{セルトキ} \\ \text{縦及周邊ニ於ケル接合ヲ} \\ \text{有セルトキ} \end{array} \right.$$

トヲ得、にすとろーむハ

$$228) \quad q'_0 - q_0 = 692,800 \frac{t^2}{l^{0.9} d}$$

ヲ得タリ

ふえあーべるんハ其實験ニヨリテ管ノ所々ニ縦ヲ有スルトキハ  
上記ノ $l$ ハ相隣セル二縦間ノ距離トスルコトヲ得ベク、又 $a, b, a > b$   
ナル半縦横軸ヲ有セル橢圓形断面ノ管ニ於テハ上記ノ $d$ ハ

$$d = 2 \frac{a^2}{b}$$

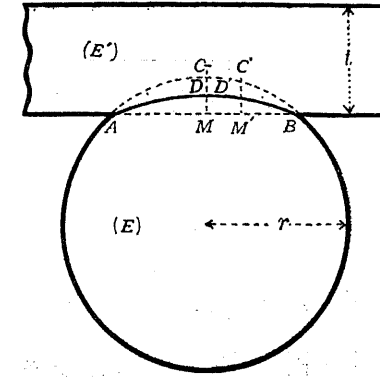
トスルヲ得ベキコトヲ示セリ

### 3. 轉 子.

138. 圓壘轉子. 第 165 圖ニ於テ  $ACB$  ナル圓壘轉子壓力ヲ受ク  
ルトキハ觸接面  $ACB$  ハ  $ADB$  ナル形ヲ有スルニ至ルベシ. 今

- $q$  = 頂點  $D$ ニ於ケル壓力強度
- $q'$  = 任意ノ點  $D'$ ニ於ケル壓力強度
- $E$  = 轉子ノ伸縮係數
- $E'$  = 轉子ト觸接セル物體ノ伸縮係數
- $l$  = 轉子ノ長サ

第 165 圖



トスルトキハ

$$CM = q \left( \frac{r}{E} + \frac{t}{E'} \right)$$

$$C'M' = q' \left( \frac{r}{E} + \frac{t}{E'} \right) \quad \text{約}$$

ナルガ故ニ

$$q' = \frac{q}{CM} C'M'$$

ヲ得. 故ニ  $Q$ ヲ以テ  $q, q'$  等ノ總代力ナリトシ、 $AB$ ニ沿ヒテ $x$ ヲ  
計リ、 $ACB$ 線ヲ拋物線ナリト假定スルトキハ

$$\frac{Q}{l} = \int_A^B q' dx = \frac{q}{CM} \int_A^B C'M' dx = \frac{q}{CM} \cdot \frac{4}{3} CM \cdot MB = \frac{4}{3} q \cdot MB$$

ヲ得. 然ルニ

$$MB = \sqrt{2r \cdot CM - CM^2} = \sqrt{2r \cdot CM} \quad \text{約}$$

$$= \sqrt{2r q \left( \frac{r}{E} + \frac{t}{E'} \right)}$$

ナルガ故ニ

$$\frac{Q}{l} = \frac{4}{3} \sqrt{2r q^2 \left( \frac{r}{E} + \frac{t}{E'} \right)}$$

ヲ得.

實地上ニ於テハ  $r=t$  トシテ

$$\frac{Q}{l} = \frac{4}{3} r \sqrt{2q^3 \left( \frac{1}{E} + \frac{1}{E'} \right)}$$

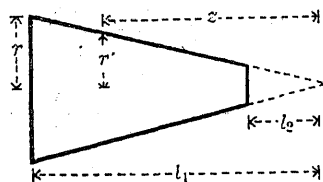
ヲ得之ヲ基トシテ

$$229) \quad \frac{Q}{l} = cr \quad c \text{ハ 常數}$$

トシ實驗上ヨリ定メタル  $c$  ヲ用ユルヲ常トス.

139. 圓錐轉子. 第 166 圖ノ如キ圓錐轉子ニ於テハ前節ニヨリ

第 166 圖



$$\frac{dQ}{dz} = \frac{4}{3} r' \sqrt{2q^3 \left( \frac{1}{E} + \frac{1}{E'} \right)} = \frac{4}{3} \frac{r}{l_1} \sqrt{2q^3 \left( \frac{1}{E} + \frac{1}{E'} \right)} z$$

ナルガ故ニ

$$Q = \int_{z=l_2}^{z=l_1} dQ = \frac{2}{3} \frac{l_1^2 - l_2^2}{l_1} r \sqrt{2q^3 \left( \frac{1}{E} + \frac{1}{E'} \right)}$$

ヲ得. 實地上ニ於テハ

$$230) \quad Q = cr \frac{l_1^2 - l_2^2}{l_1} \quad c \text{ハ 常數}$$

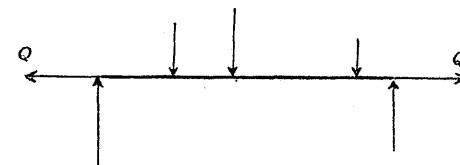
トシ  $c$  ハ實驗ニヨリテ定ムベキモノトス.

4. 混成應力.

140. 抗張材又ハ抗壓材ト桁トノ混成.

第一. 抗張材ト桁トノ混成. 第 167 圖ノ如キ抗張材竝ビニ桁

第 167 圖



タルベキガ如キ外力ヲ受クル物體ニ於テ或ル断面  $C$  ニ於ケル桁トシテノ彎曲率ヲ  $M$  トシ彎曲量ヲ  $\eta$  トスルトキハ該断面ニ於ケル全彎曲率ハ  $M + Q\eta$  ニシテ該断面内ノ一點  $(x, y, z)$  ニ於ケル垂面應力強度  $p_z$  ハ

$$231) \quad p_z = \frac{Q}{A} - \frac{M + Q\eta}{I_x} y$$

ナリ.

例. 抗張材ト其全長ニ渉レル等布荷重ヲ受ケ中立軸ニ對スル彎曲剛率常數ナル單桁トノ混成. 此場合ニ於ケル  $M$  ハ 92) 式ニヨリ,  $\eta$  ハ 111) 式ニヨリテ求ムルコトヲ得ベシ.

特ニ桁ノ中央ニ於テハ 93), 111) 式ニヨリ

$$M_0 = -\frac{ql^2}{8} \quad \eta_0 = \frac{5}{384} \frac{ql^4}{EI_x}$$

ナルガ故ニ

$$232) \quad p_z = \frac{Q}{A} + \frac{ql^2}{8} \left( 1 - \frac{5}{48} \frac{Ql^2}{EI_x} \right) \frac{y}{I_x}$$

ヲ得.

第二. 抗壓材ト桁トノ混成. 此場合ニ於テハ壓力  $Q$  ノ爲メニ生ズル彎曲量ナキモノトスルトキハ

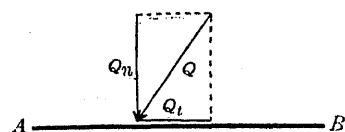
233)

$$p_z = -\frac{Q}{A} - \frac{M - Q\eta}{I_x} y$$

ヲ得.

141. 傾桁. 第 168 圖ノ如ク桁 AB 外力 Q = 對シ傾斜スルトキ

第 168 圖



ハ Q ノ AB = 垂直及平行ナル分力  $Q_n, Q_t$  ヲ求メ,  $Q_n$  ハ桁 AB = 於ケル荷重トシ,  $Q_t$  ハ桁 B 端ニ於テ支ヘラル、トキハ張力トシ, A 端ニ於テ支ヘラル、トキハ壓力トスルヲ常トス. 故ニ此場合ニ於ケル桁ノ垂面應力強度ハ前節ニヨリテ求ムルコトヲ得ベシ.

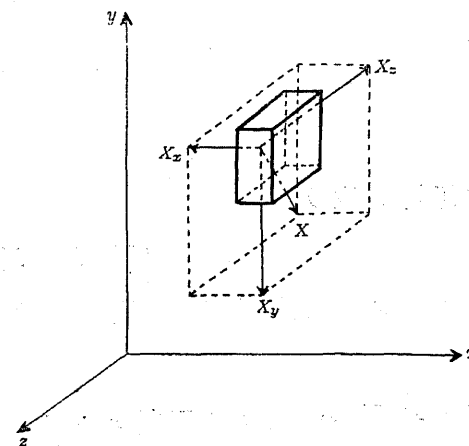
## 第 九 章

### 應 力 強 度 論

142. 總說. 上來述べ來リタル所ニヨリ抗張材抗壓材桁軸等ノ場合ニ於テ與ヘラレタル外力ニ對シ其内部ニ於ケル應力強度ヲ求ムルノ途ヲ得タリ. 本章ニ於テハ此ノ如キ應力強度其他如何ナル物體タルトヲ問ハズ應力強度ニ一般ニ共通スベキ理論ヲ説クベシ. 此理論ハ獨リ彈體ニ於ケル應力強度ノミナラズ後編ニ論ズベキ粉體液體等ニ於ケルモノニモ亦之ヲ適用スルコトヲ得ベシ.

矩坐標軸  $x, y, z$  ヲ取リ  $yz$  面ニ平行セル面ニ於ケル應力強度ヲ  $X$  トシ其  $x, y, z$  軸ニ平行セル分應力強度ヲ第 169 圖ノ如クソレニ  $X_x, X_y, X_z$  トシ, 同様ニ  $zx, xy$  面ニ平行ナル面ニ於ケルモノヲ

第 169 圖



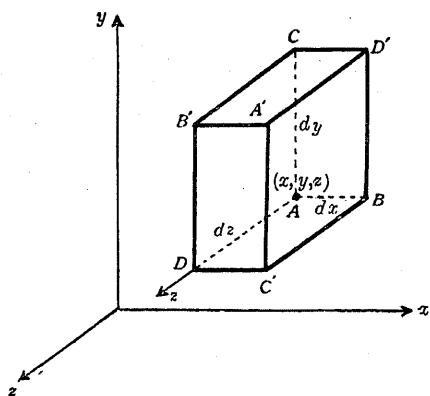
ソレソレニ  $Y_x, Y_y, Y_z, Z_x, Z_y, Z_z$  トスルトキハ此九個ノ應力強度ノ中  $X_x, Y_y, Z_z$  ハ垂面應力強度ニシテ其他ノモノハ切面應力強度ナリ。垂面應力強度應張力強度ナルトキハ之ヲ正號ヲ有スルモノトシ應壓力強度ナルトキハ之ヲ負號ヲ有スルモノトス。

此等ノ九個ノ應力強度ハ總テ一般ニ物體ノ各點ニ於テ相異レル値ヲ有スレドモ本章ニ於テハ次節ヲ除クノ外ニノ方向ニ於ケル  $X_x, Y_y, Z_z$  ノミハ常ニ同一ノ値ヲ有スル場合ノミヲ論述スベシ

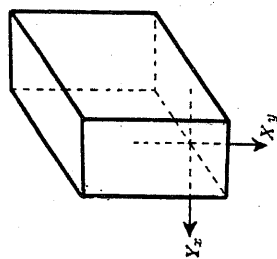
143. 定理 1. 一線ヲ通過シ互ニ垂直ナル面ニ於ケル切面應力強度ハ其値相等シ。

第 170 圖ニ於ケルガ如ク物體ノ一點  $A(x, y, z)$  ニ於テ  $dx, dy, dz$  ナ

第 170 圖



第 171 圖



ル三邊ヲ有スル矩塊ヲ取リ

$$\text{面} \begin{cases} AB' \\ AC' \\ AD' \end{cases} = \text{於ケル應力強度ヲ} \begin{cases} X_x & X_y & X_z \\ Y_x & Y_y & Y_z \\ Z_x & Z_y & Z_z \end{cases}$$

トスルトキハ例ヘバ  $X_x$  ハ  $x, y, z$  ノ函數ニシテ從テ  $A'B'$  ニ於ケル

$X_x$  ハていろるノ定理ニヨリ

$$X_x + \frac{\partial X_x}{\partial x} dx$$

ナルガ故ニ

$$\text{面} \begin{cases} A'B \\ A'C \\ A'D \end{cases} = \text{於ケル應力強度ハ} \begin{cases} X_x + \frac{\partial X_x}{\partial x} dx, & X_y + \frac{\partial X_y}{\partial x} dx, & X_z + \frac{\partial X_z}{\partial x} dx \\ Y_x + \frac{\partial Y_x}{\partial y} dy, & Y_y + \frac{\partial Y_y}{\partial y} dy, & Y_z + \frac{\partial Y_z}{\partial y} dy \\ Z_x + \frac{\partial Z_x}{\partial z} dz, & Z_y + \frac{\partial Z_y}{\partial z} dz, & Z_z + \frac{\partial Z_z}{\partial z} dz \end{cases}$$

ナリ。

此等ノ十八個ノ應力ヲ該矩塊ニ於ケル外力ナリト考フルトキハ  $\mathcal{M}_{Ax} = 0$  ナルベキガ故ニ

$$\begin{aligned} \mathcal{M}_{Ax} = & \left( X_x - X_x - \frac{\partial X_x}{\partial x} dx \right) dydz \cdot \frac{dy}{2} + \left( X_y + \frac{\partial X_y}{\partial x} dx \right) dydz \cdot dx \\ & - \left( Y_x + \frac{\partial Y_x}{\partial y} dy \right) dzdx \cdot dy + \left( -Y_y + Y_y + \frac{\partial Y_y}{\partial y} dy \right) dzdx \cdot \frac{dx}{2} \\ & + \left( Z_x - Z_x - \frac{\partial Z_x}{\partial z} dz \right) dxdy \cdot \frac{dy}{2} + \left( -Z_y + Z_y + \frac{\partial Z_y}{\partial z} dz \right) dxdy \cdot \frac{dx}{2} = 0 \end{aligned}$$

ヲ得、 $dxdydz$  ナル因子ヲ去リ更ニ第一次ノ微分ヲ棄ツルトキハ

$$X_y = Y_x$$

ヲ得(第 171 圖参照)。

此ノ如クシテ

$$234) \quad X_y = Y_x, \quad Y_z = Z_y, \quad Z_x = X_z$$

ヲ得ベシ。

此理ニヨリ前節ノ末項ニ述ベタル如キ特殊ノ場合ニ於テハ  $X_x = Z_x, Y_y = Z_y, Z_z$  ハ物體ノ各點ニ於テ相等シキ値ヲ有シ一般ニ否ラザルモノハ唯  $X_x, Y_y, X_y = Y_x$  ノミ。物體ノ各點ニ於テ相等シ

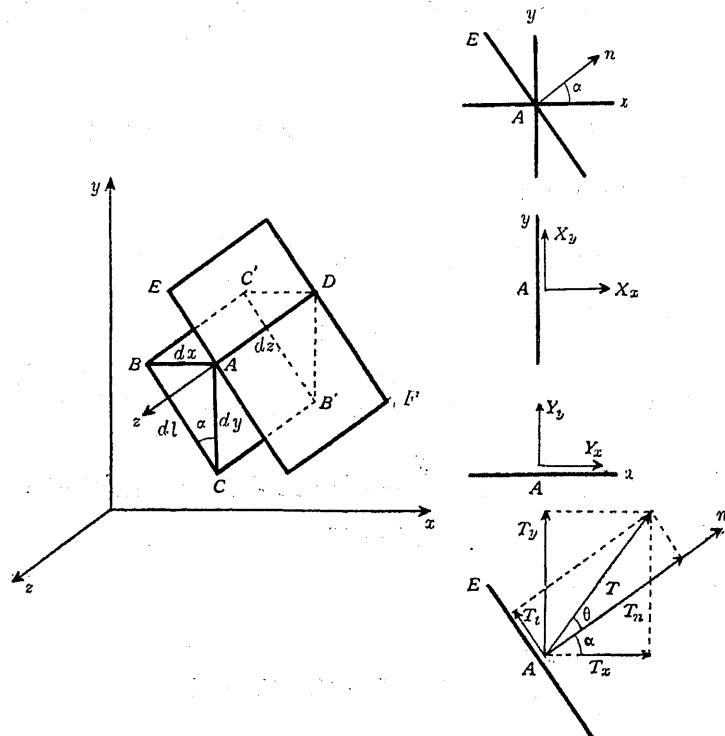


キ値ヲ有スル應力強度ハ次節以下第 151 節ニ至ル總テノ場合ニ於テ之ヲ考フルノ要ナシ。

144. 問題 1. z 軸ニ平行セル一線ヲ通過シ互ニ垂直ナル面ニ於ケル應力強度ヲ與ヘラレタルモノトシ該線ヲ通過セル任意ノ他ノ面ニ於ケル應力強度ヲ求ム。

第 172 圖ニ於テ z 軸ニ平行セル一線 Az ヲ通過シ互ニ垂直ナル

第 172 圖



面 AB', AC'ニ於ケル應力強度  $X_x, X_y; Y_x, Y_y$  ヲ與ヘラレタルモノトシ, Az ヲ通過セル任意ノ他ノ面 EFニ於ケル應力強度  $T_x, T_y$  ヲ求メントス。

EFニ平行セル面 BCB'C'ヲ取り此面ニ於ケル應力強度ヲ  $T'_x, T'_y$  トスルトキハ塊體 ABCB'C'Dニ於テ

$$\mathfrak{R}_x = X_x dy dz + Y_x dz dx - T'_x dz dl = 0$$

$$\mathfrak{R}_y = X_y dy dz + Y_y dz dx - T'_y dz dl = 0$$

ヲ得. 然ルニ

$$dx = dl \sin \alpha, \quad dy = dl \cos \alpha$$

ナルガ故ニ

$$X_x \cos \alpha + Y_x \sin \alpha = T'_x$$

$$X_y \cos \alpha + Y_y \sin \alpha = T'_y,$$

ヲ得. 今面 BCB'C'ヲ EFニ平行セル儘漸次ニ EFニ近カシムルトキハ其極限ニ於テ

$$T'_x = T_x, \quad T'_y = T_y$$

ナルガ故ニ

$$235) \quad \begin{cases} T_x = X_x \cos \alpha + Y_x \sin \alpha \\ T_y = X_y \cos \alpha + Y_y \sin \alpha \end{cases} \quad X_y = Y_x$$

ヲ得.

又 Tノ面 EFニ垂直及平行ナル分應力強度ヲソレソレニ  $T_n, T_t$  トスルトキハ

$$236) \quad \begin{cases} T_n = T \cos \theta = T_x \cos \alpha + T_y \sin \alpha \\ \quad = X_x \cos^2 \alpha + Y_y \sin^2 \alpha + 2 X_y \sin \alpha \cos \alpha \\ T_t = T \sin \theta = T_y \cos \alpha - T_x \sin \alpha \\ \quad = (Y_y - X_x) \sin \alpha \cos \alpha + X_y (\cos^2 \alpha - \sin^2 \alpha) \end{cases}$$

ヲ得ベシ.  $\theta$ ナル角ヲ傾斜角ト謂フ.

145. 主應力強度.

237)  $T_i = 0$  従テ  $\tan 2\alpha = \frac{2X_y}{X_x - Y_y}$

ナル如キ  $T$ ヲ 主應力強度ト謂フ。第二式ニヨリ此ノ如キ應力強度及其面  $EF$ ハ常ニ二個アリテ互ニ垂直ナリ。此二面ヲ 主面ト謂フ。

146. 定理 2. 主應力強度ノ數値ハ最大又ハ最小ナリ。

何トナレバ 235)式ニヨリ

$$T = \sqrt{T_x^2 + T_y^2} = \sqrt{X_x^2 \cos^2 \alpha + Y_y^2 \sin^2 \alpha + 2(X_x + Y_y)X_y \sin \alpha \cos \alpha + X_y^2}$$

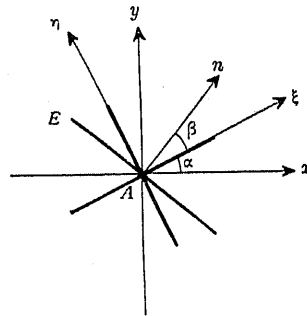
ニシテ

$$\frac{dT}{d\alpha} = \frac{X_x + Y_y}{T} T_i$$

ナレバナリ。

147. 第一應力強度楕圓・第二應力強度圓錐曲線・共軛應力強度。坐標面  $\eta z, \xi z$ ヲシテ主面タラシムベキ矩坐標軸  $A\xi, A\eta, Az$ ヲ取

第 173 圖



リ(第 173 圖)主應力強度ヲ  $\bar{X}_x, \bar{Y}_y$ トスルトキハ 235), 236)式ニヨリ

238

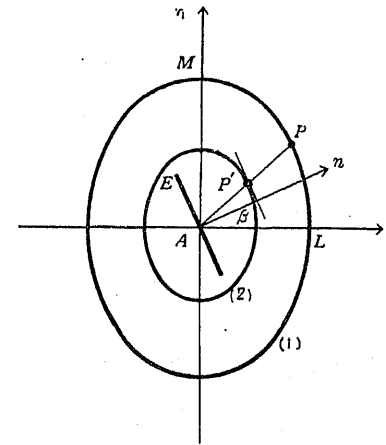
$$\begin{cases} T_x = \bar{X}_x \cos \beta \\ T_y = \bar{Y}_y \sin \beta \end{cases}$$

239) 
$$\begin{cases} T_n = T \cos \theta = \bar{X}_x \cos^2 \beta + \bar{Y}_y \sin^2 \beta \\ T_t = T \sin \theta = (\bar{Y}_y - \bar{X}_x) \sin \beta \cos \beta \end{cases}$$

ヲ得。

今第 174 圖ニ於テ  $\bar{X}_x = AL = a, \bar{Y}_y = AM = b, T_x = \xi, T_y = \eta$ トスル

第 174 圖



トキハ

$$\xi = a \cos \beta, \quad \eta = b \sin \beta$$

ナルガ故ニ  $AP = T$ ニシテ

240) 
$$\frac{\xi^2}{a^2} + \frac{\eta^2}{b^2} = 1 \quad \text{即} \quad \frac{T_x^2}{\bar{X}_x^2} + \frac{T_y^2}{\bar{Y}_y^2} = 1$$

ヲ得。故ニ  $\beta$ ヲ變數トシ  $AP$ ヲ種々ニ變化セシムルトキハ  $T$ ヲ示セル  $AP$ ノ端  $P$ ノ軌跡ハ 240)式ノ楕圓ヲナスベシ之ヲ 第一應力強度楕圓ト謂フ。

更ニ

241) 
$$\frac{\xi^2}{a} + \frac{\eta^2}{b} = \pm 1$$

ナル圓錐曲線 ( $a, b$ 同號ナルトキハ楕圓, 異號ナルトキハ雙曲線ニシテ右邊ノ複號ハ該圓錐曲線ヲシテ虛線ナラザラシムル如ク撰

定スルモノトスヲ取ルトキハ  $P'(\xi', \eta')$ ニ於ケル切面ハ

$$\frac{X\xi'}{a} + \frac{Y\eta'}{b} = \pm 1$$

ナルガ故ニ

$$\frac{\xi}{\xi'} = \frac{\eta}{\eta'} = k$$

トスルトキハ該切面ハ

$$\frac{X\xi}{a} + \frac{Y\eta}{b} = \pm k$$

$$\text{即} \quad X \cos \beta + Y \sin \beta = \pm k$$

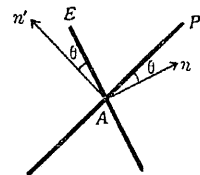
トナリ面  $EF$  即

$$X \cos \beta + Y \sin \beta = 0$$

ト相平行スベシ。此ノ如キ圓錐曲線ヲ 第二應力強度圓錐曲線ト稱シ、第一應力強度楕圓ト併用スルトキハ上記ノ性質ニヨリ與ヘラレタル面  $EF$ ニ對スル應力強度  $T = AP$ 、又ハ與ヘラレタル應力強度  $T = AP$ ニ對スル面  $EF$ ヲ求ムルコトヲ得ベシ。

圓錐曲線ノ理論ニヨリ  $AE, AP'$ ハ第二應力強度圓錐曲線ノ共軛軸ヲナセルガ故ニ第 175 圖ノ如ク面  $AE$ ニ於ケル應力ハ  $AP'$ ノ

第 175 圖



方向ニアリ、又面  $AP'$ ニ於ケル應力ハ  $AE$ ノ方向ニアルベシ。此ノ如キ二個ノ應力ノ強度ヲ 共軛應力強度ト謂ヒ、其傾斜角  $\theta$ ハ互ニ相等シ。

148. 問題 2. 切面分應力強度ノ最大ナル面及其最大値又ハ最大數値ヲ求ム。

239) 式ニヨリ

$$T_i = (\bar{Y}_y - \bar{X}_x) \sin \beta \cos \beta = \frac{1}{2} (\bar{Y}_y - \bar{X}_x) \sin 2\beta$$

ナルガ故ニ切面分應力強度ノ最大ナルベキ面ハ二個アリテ其  $\beta$ ハ

$$\beta = \frac{\pi}{4} \quad \text{及} \quad \frac{3\pi}{4}$$

ナル値ヲ有シ、 $T_i$ ノ最大値又ハ最大數値ヲ  $T'_i$ トスレバ

$$242) \quad T' = \pm \frac{1}{2} (\bar{Y}_y - \bar{X}_x)$$

ナリ。

149. 問題 3. 傾斜角ノ最大ナル面及之ニ對スル應力強度ヲ求ム。

238), 239) 式ニヨリ

$$\sin \theta = \frac{T_i}{T} = \frac{(\bar{Y}_y - \bar{X}_x) \sin \beta \cos \beta}{\sqrt{\bar{X}_x^2 \cos^2 \beta + \bar{Y}_y^2 \sin^2 \beta}} = \frac{\bar{Y}_y - \bar{X}_x}{\sqrt{\bar{X}_x^2 \operatorname{cosec}^2 \beta + \bar{Y}_y^2 \sec^2 \beta}}$$

ナルガ故ニ  $\theta$  最大ナルトキハ最後ノ式ノ分母ハ最小ナルベシ。

故ニ此分母ヲ微分シテ

$$- \bar{X}_x^2 \operatorname{cosec}^2 \beta \cot \beta + \bar{Y}_y^2 \sec^2 \beta \tan \beta = 0$$

$$\text{從テ} \quad \tan^2 \beta = \pm \frac{\bar{X}_x}{\bar{Y}_y}$$

ヲ得。

第一.  $\bar{X}_x, \bar{Y}_y$  共ニ應張力強度又ハ應壓力強度ナルトキ。 此場合ニ於テハ

$$\tan^2 \beta = + \frac{\bar{X}_x}{\bar{Y}_y}$$

ナルガ故 = 最大  $\theta$  ヲ  $\theta_0$  トスルトキハ

$$243) \quad \begin{cases} \sin \theta_0 = \frac{\bar{Y}_y - \bar{X}_x}{\bar{Y}_y + \bar{X}_x} = \cos 2\beta = \sin\left(\frac{\pi}{2} - 2\beta\right) \\ \beta = \frac{\pi}{4} - \frac{\theta_0}{2} \\ T = \sqrt{\bar{X}_x \bar{Y}_y} \end{cases}$$

ヲ得.

第二.  $\bar{X}_x, \bar{Y}_y$  ノ一ハ 應張力強度ニシテ他ハ 應壓力強度ナルトキ. 此場合ニ於テハ

$$\tan^2 \beta = - \frac{\bar{X}_x}{\bar{Y}_y}$$

ナルガ故 =

$$244) \quad \begin{cases} \theta_0 = \frac{\pi}{2} \text{ 及 } \frac{3\pi}{2} \\ T = \sqrt{-\bar{X}_x \bar{Y}_y} \end{cases}$$

ニシテ應力ハ全ク其面ニ切觸シ垂面分應力強度ハ零ナリ.

150. 問題 4. z 軸ニ平行セル一線ヲ通過セル任意ノ二面ニ於ケル應力強度及傾斜角ヲ與ヘラレタルモノトシ主應力強度及主面ヲ求ム.

$T_1, \theta_1; T_2, \theta_2$  ヲ與ヘラレタル應力強度及傾斜角トシ主應力強度  $\bar{X}_x, \bar{Y}_y$  及主面ヲ定ムベキ  $\beta_1$  又ハ  $\beta_2$  ヲ求メントス.

238), 239, 式 = ヨリ

$$T_1^2 = \bar{X}_x \cos^2 \beta_1 + \bar{Y}_y \sin^2 \beta_1 \quad T_1 \cos \theta_1 = \bar{X}_x \cos^2 \beta_1 + \bar{Y}_y \sin^2 \beta_1$$

$$T_2^2 = \bar{X}_x \cos^2 \beta_2 + \bar{Y}_y \sin^2 \beta_2 \quad T_2 \cos \theta_2 = \bar{X}_x \cos^2 \beta_2 + \bar{Y}_y \sin^2 \beta_2$$

ナルガ故 =

$$T_1^2 - T_2^2 = \bar{X}_x (\cos^2 \beta_1 - \cos^2 \beta_2) + \bar{Y}_y (\sin^2 \beta_1 - \sin^2 \beta_2)$$

$$T_1 \cos \theta_1 - T_2 \cos \theta_2 = \bar{X}_x (\cos^2 \beta_1 - \cos^2 \beta_2) + \bar{Y}_y (\sin^2 \beta_1 - \sin^2 \beta_2)$$

$$T_1^2 + T_2^2 = \bar{X}_x (\cos^2 \beta_1 + \cos^2 \beta_2) + \bar{Y}_y (\sin^2 \beta_1 + \sin^2 \beta_2)$$

$$T_1 \cos \theta_1 + T_2 \cos \theta_2 = \bar{X}_x (\cos^2 \beta_1 + \cos^2 \beta_2) + \bar{Y}_y (\sin^2 \beta_1 + \sin^2 \beta_2)$$

從テ

$$\frac{T_1^2 - T_2^2}{T_1 \cos \theta_1 - T_2 \cos \theta_2} = \bar{X}_x + \bar{Y}_y$$

$$(T_1 \cos \theta_1 + T_2 \cos \theta_2)(\bar{X}_x + \bar{Y}_y) - (T_1^2 + T_2^2) = 2 \bar{X}_x \bar{Y}_y$$

ヲ得. 之 = ヨリ

$$246) \quad \begin{cases} \frac{\bar{Y}_y + \bar{X}_x}{2} = \frac{T_1^2 - T_2^2}{2(T_1 \cos \theta_1 - T_2 \cos \theta_2)} \\ \frac{\bar{Y}_y - \bar{X}_x}{2} = \sqrt{\left(\frac{\bar{Y}_y + \bar{X}_x}{2}\right)^2 - \frac{1}{2}(T_1 \cos \theta_1 + T_2 \cos \theta_2)(\bar{Y}_y + \bar{X}_x) + \frac{1}{2}(T_1^2 + T_2^2)} \end{cases}$$

ヲ得  $\bar{X}_x, \bar{Y}_y$  ヲ求ムルコトヲ得. 又

$$\bar{Y}_y + \bar{X}_x - 2T_1 \cos \theta_1 = \bar{Y}_y (1 - 2 \sin^2 \beta_1) + \bar{X}_x (1 - 2 \cos^2 \beta_1) = (\bar{Y}_y - \bar{X}_x) \cos 2\beta_1$$

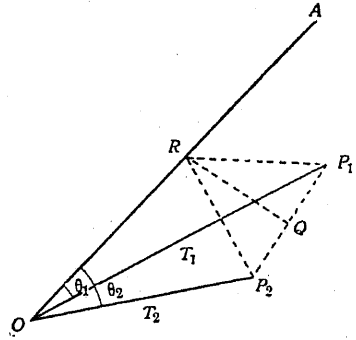
$$\bar{Y}_y + \bar{X}_x - 2T_2 \cos \theta_2 = \bar{Y}_y (1 - 2 \sin^2 \beta_2) + \bar{X}_x (1 - 2 \cos^2 \beta_2) = (\bar{Y}_y - \bar{X}_x) \cos 2\beta_2$$

ヨリ

$$246) \quad \begin{cases} \cos 2\beta_1 = \frac{\bar{Y}_y + \bar{X}_x - 2T_1 \cos \theta_1}{\bar{Y}_y - \bar{X}_x} \\ \cos 2\beta_2 = \frac{\bar{Y}_y + \bar{X}_x - 2T_2 \cos \theta_2}{\bar{Y}_y - \bar{X}_x} \end{cases}$$

ヲ得  $\beta_1, \beta_2$  ヲ求ムルコトヲ得.

上記ノ結果ハ又第 176 圖ノ如キ極メテ簡單ナル圖法ニヨリテ  
第 176 圖



求ムルコトヲ得ベシ。任意ノ一線  $OA$  ヲ取リ、 $T_1, T_2$  共ニ應張力  
強度又ハ應壓力強度ナルトキハ圖ノ如ク  $P_1, P_2$  ヲ求メ  $P_1P_2$  ノ中點  
 $Q$  = 於テ  $QR$  ヲ  $P_1P_2$  = 垂直ナラシムルトキハ

$$RP_1^2 = OR^2 + T_1^2 - 2OR \cdot T_1 \cos \theta_1$$

$$= RP_2^2 = OR^2 + T_2^2 - 2OR \cdot T_2 \cos \theta_2$$

ナルガ故ニ 178), 179) 式ニヨリ

$$OR = \frac{\bar{Y}_y + \bar{X}_x}{2}, \quad RP_1 = \frac{\bar{Y}_y - \bar{X}_x}{2}$$

$$\text{角 } ORP_1 = 2\beta_1, \quad \text{角 } ORP_2 = 2\beta_2$$

ナリ。

例 1. 與ヘラレタル應力強度共軛ナルトキ。此場合ニ於テハ  $\theta_1 = \theta_2$  ナルガ  
故ニ之ヲ 0 トスレバ 245) 246) 式ニヨリ

$$247) \quad \left\{ \begin{aligned} \frac{\bar{X}_y + \bar{Y}_x}{2} &= \frac{T_1 + T_2}{2 \cos \theta} \\ \frac{\bar{Y}_y - \bar{X}_x}{2} &= \sqrt{\left(\frac{T_1 + T_2}{2 \cos \theta}\right)^2 - T_1 T_2} \\ \cos 2\beta_1 &= \frac{\bar{Y}_y + \bar{X}_x - 2T_1 \cos \theta}{\bar{Y}_y - \bar{X}_x} \\ \cos 2\beta_2 &= \frac{\bar{Y}_y + \bar{X}_x - 2T_2 \cos \theta}{\bar{Y}_y - \bar{X}_x} \end{aligned} \right.$$

ヲ得

例 2. 與ヘラレタル應力強度ノ面互ニ垂直ナルトキ。此場合ニ於テハ

$$\beta_2 = \beta_1 + \frac{\pi}{2}$$

ナルガ故ニ

$$X_x = T_1 \cos \theta_1$$

$$Y_y = T_2 \cos \theta_2$$

$$X_y = T_1 \sin \theta_1 = Y_x = T_2 \sin \theta_2$$

トスルトキハ

$$248) \quad \left\{ \begin{aligned} \frac{\bar{Y}_y + \bar{X}_x}{2} &= \frac{Y_y + X_x}{2} \\ \frac{\bar{Y}_y - \bar{X}_x}{2} &= \sqrt{\left(\frac{Y_y - X_x}{2}\right)^2 + X_y^2} \\ \cos 2\beta_1 &= -\cos 2\beta_2 = \frac{Y_y - X_x}{\bar{Y}_y - \bar{X}_x} \\ \text{即 } \tan 2\beta_1 &= \tan 2\beta_2 = \frac{2X_y}{Y_y - X_x} \\ \beta_2 &= \beta_1 + \frac{\pi}{2} \end{aligned} \right.$$

ヲ得。第四式ハ 237) 式ト同一ノモノナリ。

例 3. 例 2 ノ單桁ニ於ケル應用。第 98 節ニ於ケルガ如キ矩坐標軸ヲ取ルト  
キハ本章ニ於ケル  $x, y$  ニ關セルモノハソレソレニ  $y, z$  ニ變換セザルベカラス而  
シテ該節ニ於ケル  $p_x, p_z = p_y$  ハ此場合ノ  $Z_x, Y_x = Z_y$  ニ外ナラザルガ故ニ 248) 式ニ  
ヨリ

$$\frac{\bar{Z}_z + \bar{Y}_y}{2} = \frac{p_z}{2}$$

$$\frac{\bar{Z}_z - \bar{Y}_y}{2} = \sqrt{\frac{p_z^2}{4} + p_t^2}$$

$$\tan 2\beta_1 = \tan 2\beta_2 = \frac{2p_t}{p_z} \quad \text{即 } \tan \beta_1 = \frac{1}{p_t} \left( \mp \frac{p_z}{2} + \sqrt{\frac{p_z^2}{4} + p_t^2} \right)$$

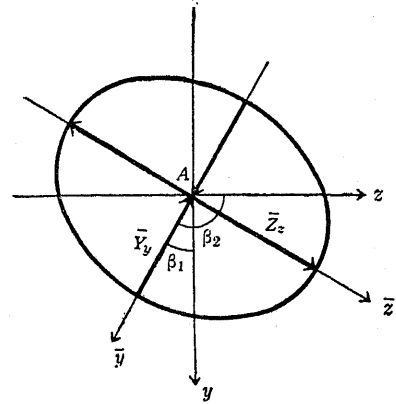
從テ

$$249) \quad \left\{ \begin{aligned} \bar{Z}_z &= \frac{p_z}{2} + \sqrt{\frac{p_z^2}{4} + p_t^2} \\ \bar{Y}_y &= \frac{p_z}{2} - \sqrt{\frac{p_z^2}{4} + p_t^2} \end{aligned} \right.$$

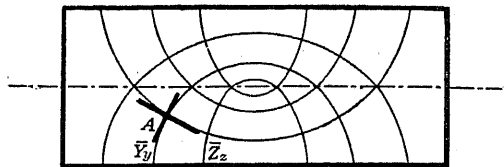
$$\begin{cases} \tan \beta_1 = -\frac{\bar{Y}_y}{p_z} \\ \tan \beta_2 = \frac{\bar{Z}_z}{p_z} \end{cases}$$

ヲ得。此式ニヨリ  $y > 0$  ナルトキハ  $\bar{Z}_z$  ハ應張力強度、 $\bar{Y}_y$  ハ應壓力強度ニシテ角  $yAz > \text{角 } yAy$  ナルベク第一應力強度楕圓ハ第 177 圖ノ如キモノタルベシ。  $yz$  坐標

第 177 圖



第 178 圖



面ニ平行セル桁ノ任意ノ断面ニ於テ第 178 圖ノ如キ曲線ヲ引キ例ヘバ A 點ニ於ケル此等ノ曲線ヘノ切線ハ主應力ノ働線ト相一致スルトキハ此ノ如キ曲線ヲ稱シテ主應力強度線ト謂フ

151. 問題 5. 各方向ニ於ケル應力強度常ニ同號ヲ有セルトキ最大傾斜角ヲ與ヘラレタルモノトシ、與ヘラレタル共通傾斜角ヲ有スル共軛應力強度ノ比ヲ求ム。

與ヘラレタル最大傾斜角ヲ  $\theta_0$  トシ、 $T_1, T_2$  ヲ  $\theta$  ナル共通傾斜角ヲ有スル共軛應力強度トスルトキハ

$$\sin^2 \theta_0 = \left( \frac{\bar{Y}_y - \bar{X}_z}{\bar{Y}_y + \bar{X}_z} \right)^2 \quad 243) \text{ 式ニヨリ}$$

$$= 1 - \frac{4 T_1 T_2 \cos^2 \theta}{(T_1 + T_2)^2} \quad 247) \text{ 式ニヨリ}$$

ナルガ故ニ

$$\frac{(T_1 + T_2)^2}{4 T_1 T_2} = \frac{\cos^2 \theta}{\cos^2 \theta_0}$$

從テ

$$250) \begin{cases} \frac{T_1}{T_2} = \frac{\cos \theta - \sqrt{\cos^2 \theta - \cos^2 \theta_0}}{\cos \theta + \sqrt{\cos^2 \theta - \cos^2 \theta_0}} & T_1 < T_2 \text{ ナルトキ} \\ \frac{T_1}{T_2} = \frac{1 - \sin \theta_0}{1 + \sin \theta_0} & T_1 < T_2, \theta = 0 \text{ ナルトキ} \\ \frac{T_1}{T_2} = 1 & \theta = \theta_0 \text{ ナルトキ} \end{cases}$$

ヲ得。